

官報號外

大正十年三月一日 水曜日

水曜日

印 刷 局

第四十四回 衆議院議事速記録第二十一號

帝國議會 大正十年三月一日午後一時十七分開議

議事日程 第二十號 大正十年三月一日

午後一時開議

質問

- 一 阿片販賣及取締ニ關スル質問(本田恆之君外一名提出)
- 二 南滿洲鐵道株式會社ニ關スル質問(早速整爾君外四名提出)
- 三 取引所政策ニ關スル質問(奥村千太郎君提出)
- 四 年金制度實施ニ關スル質問(佐々木千秀君外三名提出)
- 五 朝鮮統治ニ關スル質問(清瀬一郎君提出)
- 六 南部支那ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
- 七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 八 公有水面埋立法案(政府提出) 第一讀會
- 九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 十 明治三十八年法律第十七號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 十一 地方鐵道法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 十三 大正九年法律第五十三號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 十五 明治三十二年法律第四十號中改正法律案(上畠益三郎君提出) 第一讀會
- 十六 刑事訴訟法中改正法律案(福苗代君提出) 第一讀會

第十七	刑法中改正法律案(福苗代君提出)	第一讀會	第三十五	(特別報告第五十七號) 上磯町二區 裁判所出張所新設ノ請願
第十八	刑法中改正法律案(宮古啓三郎君外七名提出)	第一讀會	三十六	(特別報告第五十八號) 愛別村二區 (委員長報告)
十九	未成年者飲酒禁止法案(根本正君外五名提出)	第一讀會	三十七	(特別報告第五十九號) 稲垣村二登記 (委員長報告)
二十	非役壯丁稅法案(荒川五郎君外六名提出)	第一讀會	三十八	(特別報告第六十號) 吹田町二登記 (委員長報告)
二十一	辯護士法改正法律案(鶴澤總明君外九名提出)	第一讀會	三十九	(特別報告第六十一號) 御嵩區裁判 (委員長報告)
二十二	徵兵令事務施行細則改正ニ關スル建議案(植原悅二郎君提出)	第一讀會	四十	(特別報告第六十二號) 吉田村二登記 (委員長報告)
二十三	產業組合法及重要物產同業組合法改正並同組合振興ニ關スル建議案(土井權大君提出)	第一讀會	四十一	(特別報告第六十三號) 川邊町二登記 (委員長報告)
二十四	成年調查ニ關スル建議案(奥村安太郎君外一名提出)	第一讀會	四十二	(特別報告第六十四號) 宇ノ氣村二登記 (委員長報告)
二十五	石油政策三對スル燃料調査會設立ニ關スル建議案(高野毅君提出)	第一讀會	四十三	(特別報告第六十八號) 廣野阿彌陀如來堂修理ノ請願 (委員長報告)
二十六	特別市制促進ニ關スル建議案(作間耕遠君外五名提出)	第一讀會	四十四	(特別報告第七十號) 淡路縱貫鐵道敷設ノ請願外一件 (委員長報告)
二十七	多摩川改修費及水源涵養費國庫支出ニ關スル建議案(秋本喜七君外二名提出)	第一讀會	四十五	(特別報告第七十一號) 山陰縱貫鐵道折居停車場設置ノ請願 (委員長報告)
二十八	多摩川改修費及水源涵養費國庫支出ニ關スル建議案(高木正年君外六名提出)	第一讀會	四十六	(特別報告第七十二號) 三保村字古港二停車場設置ノ請願 (委員長報告)
二十九	免囚差別待遇撤廢ニ關スル建議案(鮎川盛貞君提出)	第一讀會	四十七	(特別報告第七十三號) 山陰縱貫鐵道停車場設置ニ關スル請願 (委員長報告)
三十	救世軍補助ニ關スル建議案(横山勝太郎君提出)	第一讀會	四十八	(特別報告第七十五號) 音威子府、稚内間(天鹽線)輕便鐵道工事竣工期 一箇年短縮ノ請願 (委員長報告)
三十一	科學知識普及ニ關スル建議案(鈴木鉢藏君提出)	第一讀會	四十九	(特別報告第五十六號) 比布村二區 (特別報告第七十六號) 都城、志布志間輕便鐵道ヲ福島迄延長ノ請願 (委員長報告)
三十二	遠美鐵道速成ニ關スル建議案(松浦五兵衛君外五名提出)	第一讀會		
三十三	大垣、大野、金澤間鐵道速成ニ關スル建議案(西村正則君外八名提出)	第一讀會		
三十四	(特別報告第五十六號) 比布村二區 (特別報告第五十七號) 都城、志布志間輕便鐵道ヲ福島迄延長ノ請願 (委員長報告)	第一讀會		

第五十 (特別報告第七十七號) 八王子、高崎間(飯能、越生町、寄居經由) 鐵道敷設ノ請願

(特別報告第七十九號) 網走、釧路間線變更ノ請願 (委員長報告)

第五十一 鐵道(釧網線) 海岸線變更ノ請願 (委員長報告)

第五十二 (特別報告第八十號) 酒田町、觀音寺村間輕便鐵道敷設ノ請願

(特別報告第八十三號) 山陽線通津停車場新設ノ請願 (委員長報告)

第五十四 (特別報告第八十二號) 山陽鐵道複線工事速成ノ請願 (委員長報告)

第五十五 (特別報告第八十四號) 松前鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第五十六 (特別報告第八十五號) 篠生村字御堂原二停車場設置ノ請願 (委員長報告)

第五十七 (特別報告第八十六號) 萩、小郡間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第五十八 (特別報告第八十七號) 山陰縱貫鐵道萩、小串間及萩、益田間線敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第五十九 (特別報告第八十八號) 三戶驛、花輪町間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第六十 (特別報告第八十九號) 日原驛、岩國驛間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第六十一 (特別報告第九十號) 濱松驛、辰野驛間(遠信鐵道) 鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第六十三 (特別報告第九十二號) 川内、宇佐間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第六十四 (特別報告第九十三號) 所子村二停車場新設ノ請願 (委員長報告)

○議長(奥繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(原田書記官朗讀)

一政府ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

地方鐵道法中改法正法律案

地方鐵道補助法中改正法律案

大正九年法律第五十三號中改正法律案

(以上二月二十八日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル建議案左ノ如シ

陸軍給與令改正ニ關スル建議案

提出者 仙波太郎君 三善清之君

提出者 松田三徳君 佐々木平次郎君

東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案

提出者 有馬秀雄君 安原仁兵衛君

提出者 高木第四郎君 天春文衛君

提出者 岩崎勳君 池田猪三次君

米穀貯藏方法調査研究ニ關スル建議案

提出者 山口嘉藏君 鈴木錠藏君

提出者 志村鐵之助君 蓮井藤吉君

提出者 山崎猛君 指田義雄君

境飯能間鐵道敷設速成ニ關スル建議案

提出者 柏谷義三君 秦豐助君

提出者 龍野周一郎君 高田良平君

提出者 長谷川宗治君 高柳淳之助君

提出者 植竹龍三郎君 田村順之助君

日本大博覽會開設ニ關スル建議案

提出者 竹澤太一君

境飯能間鐵道敷設速成ニ關スル建議案

提出者 山崎猛君 指田義雄君

提出者 柏谷義三君 秦豐助君

提出者 龍野周一郎君 高田良平君

提出者 長谷川宗治君 高柳淳之助君

江戸崎境間及佐貫佐野間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 市村貞造君 小久保喜七君

提出者 宮古啓三郎君 根本正君

提出者 高野毅君 高柳淳之助君

提出者 鈴木鉢藏君 石井三郎君

提出者 谷津新八郎君 小山田信藏君

提出者 田村順之助君 山崎猛君

第五回極東競技大會派遣手援助ニ關スル建議案

提出者 嬉山一郎君 (以上三月一日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

官吏ト政黨員トカ權力ヲ濫用シ官規ヲ紊り民心ヲ害ヒ自治ヲ破壊シタル事實ニ關スル質問主意書

提出者 山道襄一君 (以上二月二十八日提出)

司法權ノ威信ニ關スル再質問書

提出者 橫山勝太郎君 (以上三月一日提出)

一今一日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員本田恒之君外一名提出阿片販賣及取締ニ關スル質問二對スル答辯書

衆議院議員早速整爾君外四名提出南滿洲鐵道株式會社ニ關スル質問二對スル答辯書

衆議院議員佐々木千秀君外三氏提出年金制度實施ニ關スル質問二對スル答辯書

衆議院議員早速整爾君外四名提出年金制度實施ニ關スル質問二對スル答辯書

阿片販賣及取締ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十年二月十二日

提出者 本田恆之

贊成者 早川龍介

外二十九人

阿片販賣及取締ニ關スル質問主意書

一阿片吸食八人體衛生上ノ大問題ニシテ今ヤ國際的衛生ノ見地ヨリ其ノ取締ニ關スル條規ハ講和條約ニ規定スル處ナリ關東廳ニ於テモ此ノ趣旨ニ鑑ミ從來阿片販賣ニ付テハ嚴重ナル規定ヲ設ケ關東州ニ居住スル支那人ニシテ阿片癪者ニ限り一定ノ制限ノ下ニ小賣人ヲシテ之カ賣捌キヲ爲サシメ來リシモ漸次其ノ數ヲ減少セシム手段ヲ執ルヘキ方針ナルハ林前關東長官ノ聲明セシ處ナリトス然ルニ關東廳阿片局ハ大正八年四月ニ至リ從前ノ小賣人ノ外更ニ特賣人ノ制度ヲ設ケ多數ノ特賣人ヲ特許シ無制限ニ販賣セシメツ、アル理由奈何

一關東廳カ公認セシ阿片小賣人ハ約八百名ニシテ内大連居住者二百人ナリ此等小賣人ノ賣捌高ハ大正八年ニ於テ大連市内ハ一人一日平均四十枚其ノ他ハ十枚ナル趣之ヲ積算スレハ一箇年五千百十販賣金テ其ノ賣捌代金約六百十二万二千圓ナリ之ヨリ三

井物産會社納入原價二百五十五万五千圓並小賣人手數料六十一萬三千二百圓ヲ控除セシ残金二百八十六万三千八百圓ハ實ニ其ノ純益ナリトス又特賣人五十餘名中主ナル者ノ毎月販賣數量ハ概忠國ヘルシヤ品約百二十貫外沒收品十二貫、安承生六十貫外沒收品二十貫、朱春山二十貫外沒收品十貫、魏長德三十貫、廣太號三十貫、藤井三郎二十貫、林某十五貫、王某十五貫ニシテ之等既ニ明ナル特賣人ノ販賣高ヲ積算ルモヘルシヤ品ノミニ一箇年三千七百二十貫此ノ拂下價格三百七十二万圓ヨリ三井物產會社納入元價百八十六万圓ヲ控除セシ残額ハ利益金ニシテ即チ百八十六万圓ナリトス此ノ外不明ノ分ヲ合算スレハ恐ラクハ倍額以上ニ達スヘシ又大正八年度下半期ニ於ケル密輸入沒收品ハ百十九件ニシテ數量二百三十三貫五百匁ナリトス從來ノ競賣價格平均十匁七圓トシテ十六万三千四百五十圓ナリ其ノ競賣代金ハ三分ノ一ヲ密債ノ報酬ニ與ヘ他ノ三分ノ二ハ國庫雜收入並阿片局收入ニ折半セラルヘキモノナルヲ以テ大正八年度ニ於ケル國庫收入ハ十万八千九百餘圓ナリトス以上三口ノ合計四百八十三万一千七百餘圓ハ大正八年度ニ於ケル阿片販賣ノ利益ナリトス然ルニ本月四日山縣關東長官カ豫算分科會ニ於ケル言明ニ依ラハ其ノ差額三百餘万圓ノ行衛ハ奈何一大正四年四月阿片局ヲ設ケシ以來五箇年半ニ瓦ル沒收品ハ渺クトモ二千貫以上ニ達スヘキ勘定ナリ其ノ處分ハ如何ニ爲シタルヤ一大正八年十月沒收阿片ノ内約一千貫ヲ朱春山ニ特賣セシ趣ナルカ其ノ代金ハ阿片收入ニ加算セサルモノノ如シ事實奈何一特賣人幡忠國其ノ他ト日本人某トノ間ニ契約ニ依レハ其ノ特賣利益金ノ三分ノ二ハ日本人某ノ收得ニ歸シツアリ政府ハ其ノ間ニ不正行為ナシト認ムルカ一阿片局主事小畠庄二郎ハ古賀拓殖局長官ノ推薦ニ依リ任用セラレタル人物ナル趣ナルカ同人ハ盛ニ特賣人又ハ一般支那人ニ對シ阿片ヲ密賣シ巨額ノ利益奈何ヲ舉ケ之ヲ棍井某ニ託シ屢内地ニ送付セリトノ風評アリ事實果シテ奈何一大正六年以降最近ニ至ルマテ宏濟善堂職員カ天津其ノ他ニ於ケル阿片ヲ密賣シタル事實ヲ認メスラレタル際中野民政署長ノ命ニ依リ天津ニ送ルヘキ品ナリト辯解セシモ同巡査ハ假令中野署長ノ命ナリト雖密輸出ヲ許セスト叱責セラレ小畠ハ只管謝罪シテ輸送ヲ中止セシコトアリヤ奈何

右及質問候也
一大正九年十二月四日小畠庄二郎ハ當時在天津平岡定太郎ニ送付スヘク阿片約二十貫ヲ特賣人安承生方ヨリ搬出スルヲ巡查吉岡某ニ發見セラレ取押ヘラレタル際中野民政署長ノ命ニ依リ天津ニ送ルヘキ品ナリト辯解セシモ同巡査ハ假令中野署長ノ命ナリト雖密輸出ヲ許セスト叱責セラレ小畠ハ只管謝罪シテ輸送ヲ中止セシコトアリヤ奈何

右及質問候也
一大正十年三月一日
内閣總理大臣 原 敬
衆議院議長奥繁三郎殿
ラハ其ノ差額三百餘万圓ノ行衛ハ奈何
一大正四年四月阿片局ヲ設ケシ以來五箇年半ニ瓦ル沒收品ハ渺クトモ二千貫以上ニ達スヘキ勘定ナリ其ノ處分ハ如何ニ爲シタルヤ
一大正八年十月沒收阿片ノ内約一千貫ヲ朱春山ニ特賣セシ趣ナルカ其ノ代金ハ阿片收入ニ加算セサルモノノ如シ事實奈何
一特賣人幡忠國其ノ他ト日本人某トノ間ニ契約ニ依レハ其ノ特賣利益金ノ三分ノ二ハ日本人某ノ收得ニ歸シツアリ政府ハ其ノ間ニ不正行為ナシト認ムルカ
一阿片局主事小畠庄二郎ハ古賀拓殖局長官ノ推薦ニ依リ任用セラレタル人物ナル趣ナルカ同人ハ盛ニ特賣人又ハ一般支那人ニ對シ阿片ヲ密賣シ巨額ノ利益奈何ヲ舉ケ之ヲ棍井某ニ託シ屢内地ニ送付セリトノ風評アリ事實果シテ奈何
一大正六年以降最近ニ至ルマテ宏濟善堂職員カ天津其ノ他ニ於ケル阿片ヲ密賣シタル事實ヲ認メスラレタル際中野民政署長ノ命ニ依リ天津ニ送ルヘキ品ナリト辯解セシモ同巡査ハ假令中野署長ノ命ナリト雖密輸出ヲ許セスト叱責セラレ小畠ハ只管謝罪シテ輸送ヲ中止セシコトアリヤ奈何

右及質問候也
一大正十年三月一日
内閣總理大臣 原 敬
衆議院議員本田恆之君外一名提出阿片販賣及取締
ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員本田恆之君外一名提出
阿片販賣及取締ニ關スル質問ニ對スル答辯書
ノ如シ事實奈何
一大正四年四月阿片局ヲ設ケシ以來五箇年半ニ瓦ル沒收品ハ渺クトモ二千貫以上ニ達スヘキ勘定ナリ其ノ處分ハ如何ニ爲シタルヤ
一大正八年十月沒收阿片ノ内約一千貫ヲ朱春山ニ特賣セシ趣ナルカ其ノ代金ハ阿片收入ニ加算セサルモノノ如シ事實奈何
一特賣人幡忠國其ノ他ト日本人某トノ間ニ契約ニ依レハ其ノ特賣利益金ノ三分ノ二ハ日本人某ノ收得ニ歸シツアリ政府ハ其ノ間ニ不正行為ナシト認ムルカ
一阿片局主事小畠庄二郎ハ古賀拓殖局長官ノ推薦ニ依リ任用セラレタル人物ナル趣ナルカ同人ハ盛ニ特賣人又ハ一般支那人ニ對シ阿片ヲ密賣シ巨額ノ利益奈何ヲ舉ケ之ヲ棍井某ニ託シ屢内地ニ送付セリトノ風評アリ事實果シテ奈何
一大正六年以降最近ニ至ルマテ宏濟善堂職員カ天津其ノ他ニ於ケル阿片ヲ密賣シタル事實ヲ認メスラレタル際中野民政署長ノ命ニ依リ天津ニ送ルヘキ品ナリト辯解セシモ同巡査ハ假令中野署長ノ命ナリト雖密輸出ヲ許セスト叱責セラレ小畠ハ只管謝罪シテ輸送ヲ中止セシコトアリヤ奈何
右及質問候也
一大正十年三月一日
内閣總理大臣 原 敬
衆議院議長奥繁三郎殿
ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員早速整爾君外四名提出南滿洲鐵道株式會社ニ關スル質問主意書
一大正九年四月頃南滿洲鐵道株式會社取締役ハ不當高價ヲ以テ塔蓮炭礦及汽船滿洲丸ヲ買收シ任務ニ背キテ株主ニ多大ノ損害ヲ與ヘタリト謂フ政府ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ取ラムトスルカ當局ノ答辯ヲ求ム
一大正九年四月頃南滿洲鐵道株式會社ニ關スル質問主意書記載ノ
右及質問候也
一大正十年三月一日
内閣總理大臣 原 敬
衆議院議長奥繁三郎殿
ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

(別紙)

衆議院議員早速整爾君外四名提出南滿洲鐵道株式會社ニ關スル質問ニ對スル答辯書
南滿洲鐵道株式會社重役ハ不當ノ高價ヲ以テ塔蓮炭礦及汽船滿洲丸ヲ買收シ任務ニ背キテ株主ニ損害ヲ與ヘタル事實ナシ抑、南滿洲鐵道株式會社カ塔蓮炭礦ヲ買收シタル所以ノモノハ主トシテ其經營ニ係ル鞍山製鐵所ノ製鐵用骸炭ノ供給ヲ確保シ併セテ撫順ニ於ケル炭坑經營ノ統一ヲ圖ラムトスニアリ元來滿鐵ハ撫順並煙臺炭坑ヲ經營シ巨額ノ石炭ヲ採掘セリト雖モ其骸炭製造ニ適スルハ纔ニ撫順ニ於ケル龍鳳坑アルノミ従テ今日一臺ノ熔鋼爐ニ消費スル一年三十万噸内外ノ骸炭用炭スラ大部分ノ供給ヲ本溪湖炭坑ニ仰ケル實況ナルヲ以テ將來製鐵所設備ノ完成ニ伴フ巨額ノ骸炭需要ニ對シテハ豫メ相當自給ノ方策ヲ講シ由ヲ以テ製鐵事業ノ基礎ヲ安固ナラシムルハ滿鐵當事者ノ夙ニ苦慮シタル所ニシテ塔蓮炭坑ニ著眼スルニ至リタル所以モ亦茲ニ存スルハ言フ迄モナシ偶々塔蓮炭坑ハ炭質最モ骸炭原料タルニ適シ鑄量亦相當ノ額ニ達スルノミナラズ其位置龍鳳坑ニ隣接シ地勢上此レト一體ノナセルヲ以テ此經營ヲ統一スルコト頗ル有利ナリ即チ塔蓮斜坑ニ依リ採掘スルヲ利トス加フルニ塔連炭坑經營ノ現状又龍鳳坑區ノ上層炭ノ一部ハ斷層ノ關係上之ヲ塔蓮斜坑ハ姑息ニシテ盜掘ノ嫌アリ爲ニ時々落盤ヲ見ルカ如キト出資會社ニシテ同時ニ該炭坑ノ採掘運輸其ノ他一切アリテ鑄利保存上望マシカラサル狀態ニアリ滿鐵當事者ハ此等諸般ノ事情ヲ考慮シ速ニ之ヲ買收スルヲ得策トナシ塔蓮炭坑ノ經營者タル曰支合辦大興煤有限公司ノ締結シタリ契約ノ骨子ハ金二百二十萬圓ヲ以テ東洋炭礦株式會社ノ株式並同會社ニ屬スル重要ナル權利及財產ヲ買收セントスルニ在ルモ未タ其ノ代金全額ノ交附ヲ了スルニ至ラス即チ假契約締結ノ際内金トシテ金三十万圓ヲ交附シ同時ニ會社ノ債務金八十萬圓ヲ引受ケ残金一百十萬圓ハ之ヲ他日ニ保留セシカ本契約ニ於テハ滿鐵ノ繼承スル債務ヲ金六十一萬圓トシ別ニ金三十万圓ヲ貸付シ一時借入金ノ辨済其他ノ整理費用ニ充當セシメ残代金一百十萬圓(内金十一萬圓)前記金參十万圓ノ貸金ト差引計算スハ東洋炭礦株式會社ニ於テ一切ノ契約條件ヲ完成履行シタル後之ヲ

支拂フコトハセリ而シテ万一大契約條件カ所定ノ期間内ニ充タサレサルトキハ其效方ヲ失フモノトス是ニ由テ觀レハ契約ニハ將來ニ於テ完成スヘキ條件附帶セリト雖代金一部ノ保留、契約ノ失效等ノ方法ニ依リ豫メ之ニ備フル所アリ會社ハ條件ノ成否如何ニ依リ不利益ヲ蒙ラサラムカ爲相當ノ注意ヲ加ヘタルモノト認ム尚炭坑其ノ他ノ評價ニ至リテハ専門家ノ根據アル計算ニ基キタルモノニシテ設備其他固定財産ノ評價額約三十万圓埋藏鑄量ニ對スル評價額約一百九十万圓ナリ同炭坑ノ炭量ハ概算一千七百二十萬噸ナルヲ以テ一噸平均價格拾一錢強ニ當レリ之ヲ營業收支ノ方面ヨリ見ルモ毎年十二万噸ヲ採掘シテ一割五分以上ノ益金ヲ見ルヘキ計算ニシテ一般炭坑取引ノ狀況ニ照シ如上ノ評價ハ決シテ不當ノ高價ニ非スト認ム
次ニ大連汽船株式會社カ汽船滿洲丸ヲ買收ノ爲支撑ヒタル代價ハ是亦決シテ不當ニ高價ナルモノニ非ス大連汽船株式會社ハ豫テ汽船隆昌丸ノ(重量噸三千五百噸)及泰昌丸(重量噸三千七百五十五噸)ノ二隻ヲ南洋方面ノ航路ニ配シ貨物ノ輸送ニ從事セシメ居タルモ共ニ老朽船ニシテ永ク使用ニ堪ハサルヲ以テ大正九年一月隆昌丸ヲ金七十萬圓、泰昌丸ヲ金五十萬圓ニ賣却シ其代金並戰時中贏得シタル益金ヲ以テ新ニ相當ノ汽船ヲ建造シ以テ南洋航路ニ充當セシムト欲シ大正九年二月十日田中商事株式會社ニ對シ重量噸六千三百噸級ノ汽船ノ新造ヲ注文シタリ而シテ該汽船ノ代價ハ重量一噸ニ付金三百二十五圓トシ三菱造船所ニ於テ建造セラレ大正十年一月末日迄ニ工事竣工ノ上引渡ヲ爲スヘキ條件ニシテ引渡ノ時期ニ付テハ尚五十日間ノ無償猶豫期間ヲ認メタリ然ルニ未タ該汽船ノ工事ハ重手セサルニ當リ株式會社内田造船所ヨリ重量噸八千五百噸ノ汽船ノ注文ヲ受ケタキ旨ノ交渉ニ接シタルヲ以テ滿鐵並大連汽船兩會社ノ重役ハ兩者ノ得失ヲ比較研究シタル後營業上寧大型船ヲ有利ナリト認メ大正十年二月十七日

提出者	佐々木千秀	造船所	浦賀船渠	噸數	六、四〇〇	船價	三二五	當
年金制度實施ニ關スル質問主意書								
右成規ニ據リ提出候也								
大正十年三月一日								
日本郵船								
四月十二日								
大連汽船	内田造船	八、五〇〇	三二一五	一				
四月三十日								
大阪商船	内田造船	八、五〇〇	三〇〇	一				

右契約當事者ノ變更ニ關シテハ右述タル事由ノ外何等特殊ノ事情ヲ存セス又右ニ關シ大連汽船株式會社ヨリ田中汽船株式會社ニ對シ解約金又ハ違約金ノ類ヲ交付シタルコトナク唯既ニ支拂ヒタル割拂金四十五万圓中十五万圓ヲ即時現金ニテ返還セシメ殘額三十万圓ニ對シ年六分利三箇年賦ヲ以テ返戻スルコトヲ許諾シタルニ止マル尙内田造船所注文船ノ價格一噸當リ三百二十五圓ハ同月中ニ取結ハレタル他ニ遠洋汽船新造契約ニ對照シ何等破格ノ點ナク又不當ト認ムヘキ廉ナシ四月末大阪商船株式會社注文ノ同型船ニ比シ二十五圓ノ價開アルモ當時ニ於ケル經濟界急變ノ狀況ニ想到セハ已ヲ得サルノ現象タルコト自ラ明白ナルヘシ参考ノ爲大正九年四月中ニ於ケル遠洋汽船造船契約ノ主ナル事例ヲ示セハ左ノ如シ

契約月日
注文者
四年一月
日本郵船
大連汽船
内田造船
八、五〇〇
三〇〇
一
四月十二日
大連汽船
内田造船
八、五〇〇
三二一五
一
四月三十日
大阪商船
内田造船
八、五〇〇
三〇〇
一
大正十年三月一日
内閣總理大臣 原
敬
右成規ニ據リ提出候也
大正十年二月十七日
大正十年三月一日
内閣總理大臣 原
敬
賛成者 早速 整爾
外二十九人
年金制度實施ニ關スル質問主意書
政府ハ大正十年度豫算海軍省所管中ニ新ニ海軍職工ニ對スル年金制度實施ニ要スル給付金百十餘万圓ヲ計上セラレタリ
特種的終身の作業タル軍器ノ製作ニ從事スル職工ニ對スル年金制度實施ニ要スル給付金百十餘万圓ヲ計上セラレタリ
政府ハ大正十年度豫算海軍省所管中ニ新ニ海軍職工ニ對スル年金制度實施ニ要スル給付金百十餘万圓ヲ計上セラレタリ
シテハ成ルヘク保護優遇ノ道ヲ講セラルコトハ當ニ必須ノ業タルコトヲ信スルモノ此ノ制度實施上方法ノ適否ハ因テ以テ或ハ優遇恩恵ノ道トモナルヘク或ハ之ニ反シ有害無益却テ苦痛ヲ生セシムルコトモナルヘシ深ク考慮セサルヘカラス

如聞ハ新ニ年金制度實施ニ伴フ共濟組合規則改正案
 ナルモノニ依レハ
 一 一箇年以上十箇年迄ノ退職者ニ對シテハ自己ノ積立元金タケニ相當スル金額ノ拂戻シヲ受クルニ過キ
 バシテ何等ノ恩恵ナク却テ積立元金ニ對スル利子ヲ損失スルコトトナルヘシ所見如何
 二 十年以上二十一年迄及二十一年以上ヲ超ユルモ年齡五十歳ニ達セサル場合ニ於ケル退職者ニハ自己ノ積立元金ニ利殖上最低率ナリトセル郵便貯金利率ヲ加算シタル額ニ相當スル金額ノ拂戻シヲ受クルニ過キ所見如何
 三 二十年以上勤続者ニシテ年齡五十歳以上ニ達シ退職シタル場合始ア年金ノ恩恵ニ浴スルカ如キモ年七箇年分ノ金額ハ前項ト同シ積立元金ニ郵便貯金利率ノ利子ヲ加算シタル金額ニ同シ何等年金制度ニ依ル惠澤ト認ムヘキ點毫末タニ無シ却テ利潤ノ損害ヲ被ルコトナラサルカ所見如何
 ヤ
 四 政府ハ如上ノ強制的損傷的制度ニ代ユル職工ノ積立歩合ヲ減少又ハ全廢シ一般社界ニ慣用セラル
 一時金制度トシ十箇年以上ノ勤続者ニ對シ相當ノ退職給與金ヲ給付スルノ制度ニ改ムルノ意思ナキヤ所見如何
 右及質問候也

大正十年三月一日

内閣總理大臣 原敬

衆議院議員佐々木千秀君外三名提出年金制度實施二
 關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
 (別紙)
 衆議院議員佐々木千秀君外三郎殿
 實施ニ關スル質問ニ對スル答辯書
 海軍職工在職中豫算ノ許ス範圍ニ於テ常ニ生活ノ安定ヲ保タシムルニ取メ規定ノ給料ノ外年二回ノ定期賞與ヲ支給シ猶三年以上ノ勤續者ニ對シテハ毎年一回勤續加給ヲ支給ス故ニ在職中ハ何等生活上ノ苦痛ヲ感スルコトナシト雖モ一旦退職セハ特ニ蓄財アル者ノ外ハ衣食ニ窮スル者ナキヲ保セス國防作業ニ終生ノ努力ヲ竭シタル海軍職工ノ功績ヲ顧慮シ其老後ノ不安ヲ出來得ル範圍ニ於テ除去スル事ハ現在並ニ將來ニ於ケル海軍造船造兵事業ノ完成上効果少カラサルモノト認ム
 共濟組合規則改正案ニ對スル所見
 一 従來ノ規則ニ依レハ加入五年以内ノ退職者ハ微兵其ノ他官ノ都合ニ依リ退職スル者ノ外ハ何等救濟金ヲ支給セス今回ノ改正案ニ於テハ脱退救濟金ノ範圍ヲ五年以内ニ短期加入者ニモ及ホサントス而シテ脱退救濟金ハ積立元金額ノ支給ニ止リ利子ヲ計入セサルモ在職中左記ノ利得ヲ享クルヲ以テ遙カニ利子ヲ超過スル報償ヲ受クルコト、ナルヘシ
 二 海軍職工ノ生存年數ノ統計ヲ得能ハサルヲ以テ最下限ノ七年分ノ年金額ニセモ加入者ハ遙ニ有利ナリ七年以上ノ長命者ニ至リテハ利潤更ニ大ナリ
 三 生存年限ハ從來ノ一般統計ヲ基礎トセリ現今ニ於テハ海軍職工ノ生存年數ノ統計ヲ得能ハサルヲ以テ一般國民ノ死亡率ヲ標準トスルノ外無シ普通生命保険ニ於ケル保險年齢ヲ参照シタルニアラス組合員ノ給料ニ比例シ給料總額ノ千分ノ二十四(四)組合資金ニ給與セラル、モノニシテ將來支出ヲ要スル救濟金其ノ他組合病院補助金等ノ財源ニ充ツルコトナルヘシ
 四 其ノ充當スヘキ支出計算書ハ別表ノ通り
 五 職工ニ對スル老後ノ救濟方法トシテハ一時金制度ヨリハ年金制度ヲ以テ一層有效ナルモノト認ム
 六 職工ニ對スル老後ノ救濟方法トシテハ一時金制度各救濟金總支出率(給料總額ヲ一トシテ之ニ對スル比ナリ)右答辯ニ及ヒ候也
 大正十年三月一日

(別表)	海軍大臣 男爵加藤友三郎
一、傷病救濟及療疾年金	○〇三六
二、療養救濟金	○〇一七
三、死亡救濟金	○〇二四
四、特症救濟金	○〇一三
五、脱退救濟金	○〇一一
六、勤續救濟金	○〇九八
七、退職年金及扶助金	○四五六
八、從來組合員用補填金	○一五〇
九、病院其ノ他補助金並雜費	○〇六五
計	○九七〇
組合員掛金	○五三〇
明治四十五年勅令第十八號ニ依ル給與金	○二四〇
利息(年複利)ヲ加算シタル金額ヨリ遙ニ高額ナリ	○九七〇
年金制度施行後ニアラサレハ實例ヲ得カタキモ從來ノ	○二四〇
一去二十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ	○一〇〇

大正八年度豫備金支出ノ件外七件（承諾ヲ求ムル件）

渡邊 修君

松岡 俊三君

鈴木 隆君

鈴木 義隆君

下出 民義君

安原仁兵衛君

櫻内 幸雄君

有馬 秀雄君

池田 泰親君

中島 鵬六君

熊谷 直太君

野田文一郎君

古屋 超隆君

植原悅二郎君

小橋藻三衛君

貯蓄銀行法案外一件

横山寅一郎君

秋本 喜七君

白井 博之君

原田藤次郎君

赤田 瑞一君

高見 之通君

田中 定吉君

金田平兵衛君

磯貝 浩君

紫安新九郎君

倉石 知藏君

上田彌兵衛君

一去二十六日身元保證ニ關スル法律案委員八並武治君

辭任ニ付其ノ補闕トシテ森山儀文治君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一昨二十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

一今一日米穀法案外二件委員横山寅一郎君

君辭任ニ付其ノ補闕トシテ阿由葉勝作君古賀三千人

君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

一昨二十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

貯蓄銀行法案外一件委員横山寅一郎君道襄一
委員長 渡邊 修君 理事（磯貝 浩君）
委員長 渡邊 修君 理事（中島 鵬六君）
委員長 渡邊 修君 理事（木村權右衛門君）
大正八年度豫備金支出ノ件外七件（承諾ヲ求ムル件）
委員

○議長（奥繁三郎君）會議ヲ開キマス、質問ノ第一、第二
第四ハ政府ヨリ答辯ガアリマシタカラ日程ヨリ省キマス、右
答辯ニ對シテ何レモ意見陳述ノ申出ガアリマスカラ、例ニ依
○議長（奥繁三郎君）米穀法案ノ委員長ヨリ、委員會ヲ
開キタイトノ請求ガアリマス、之ヲ許スニ御異議アリマセヌ
カ

〔「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君）御異議ナイト認メマス、直チニ許ス
コトニ致シマシタ
○山本悌二郎君 委員諸君ハ委員室ニ參集ヲ望ミマス
○議長（奥繁三郎君）取引所政策ニ關スル質問、奥村千
太郎君

右成規ニ據リ提出候也
大正十年二月十五日
取引所政策ニ關スル質問主意書
提出者 奥村千太郎
贊成者 守屋松之助
外二十九人

一 政府ハ昨年ノ特別議會ニ於テ取引所法改正調査
費一萬一千餘圓ヲ要求シ爾來調查委員會ヲ設ケテ
諮詢ヲ行ヒ且政府當局ニ於テモ調査研究ヲ累ネラレ
タルカ如シ然ルニ該改正案ハ尙未タ今期議會ニ提案
ヲ見ス右ハ如何ナル事情ニ基クカ

二 時代ノ變遷ニ伴ヒ取引所法ノ改正ヲ要スヘキ箇條
現物市場問題ノ解決はレナリ各種商品並有價證券
ニ關シ定期ト對立スヘキ現物市場ノ設置ハ時代ノ要
求ニシテ且現物取引ノ革新又ハ統一ニ關スル取引所
法ノ改正ハ政府當局ニヨリテ公約ヲ爲セルニ等シキモノ
ノアリ從テ若今期議會ニ該改正案ヲ提出セラレサル
ニ於テハ啻ニ如上ノ要求ト公約ニ背クノミナラス從來
識者ト事情通ニヨリテ指摘サレシツアル取引所法違
反又ハ定期類似ノ疑アル變體的現物取引ハ益盛ニ
行ハルニ至ルヘシ現行法規ノ威力ヲモ疑ハレムトス
ル此ノ種ノ取引ニ對シ取締又ハ監督ノ地位ニ在ル政
府當局ハ依然トシテ之ヲ看過セムトスルカ

三 繊絲及綿布ノ長期先約取引ニヨル決済難ニ依リ
延テ一般財界ニ幾多ノ惡影響ヲ及ホシタルハ周知ノ
事實ニシテ現ニ今日ニ於テモ尙其ノ懸念ハ全然一掃
セラルノ點ニ達セサルナリ而シテ斯ル放漫ナル長期
先約ニ對シテハ或程度ノ制限又ハ禁遏ヲ行フノ必要
ヲ認メサルヤト云ヘル前期議會中ニ於ケル本員ノ質
問ニ對シ政府亦同感ノ意思ヲ表示セラレ同時ニ今後
之ニ對シテ如何ナル對策ヲ施スヘキヤニ就テハ銳意考
究中ニ屬スル旨ノ答辯ヲ與ヘラレタリ爾來考究ノ結
果如何

四 綿絲布ノ長期先約取引ノ弊害ハ遂ニ市中に於ケ
ル綿絲布取引ノ機能ヲ破壊セルニ等シク其ノ取引圓
滑ナラスシテ全國ノ紡績會社並綿絲布業者等ニ對シ
甚大ナル苦痛ヲ與ヘシアルノミナラス綿絲布カ我力
能ノ破壊ニ依ル輸出不振ニ依リテ國家ハ非常ナル不
利益ヲ招致シツツアリ而シテ現在綿絲ノ定期市場ハ
事實上單ニ左撫二十手ノ取引ヲ行フモノニ過キサル
カ故ニ其ノ設備ヲ擴張シテ取引方法ノ缺陷ヲ補フカ
又ハ綿絲ノ各番手ヲ通スル大量取引ノ行ハレ得ヘキ
別個ノ現物市場ヲ設置セサル限り右ノ不利不便ヲ救
フ能ハサルナリ一日モ緩ニスヘカラサル此ノ種ノ實際
問題ニ對シ政府ハ果シテ如何ナル方策ニ出テムトスル

五 我カ國ニ於ケル食糧中ノ首位ニアル米穀ノ根本調
節ハ價格ヨリモ數量ノ點ニ重キヲ置カサルヘカラサルト
同時ニ恆久的調節策トシテハ常平倉ノ如キ制度ヲ採
用スルノ外ナカルヘシ而モ近時ノ如ク諸物價ニ比シ獨
リ米價ノ暴落顯著ナルハ多數農家ノ一大苦痛タリ從
テ此ノ焦眉ノ苦痛ヲ救ハムトスルニ當リテハ價格ノ調
節ヲモ行ハサルヘカラス現ニ蠶絲業者ノ救濟ニ任シ生
絲相場ノ低落ヲ阻止スヘク直接及間接ニ努力セル政
府トシテハ米價ノ暴落ニ對シテモ亦何等カノ價格調
節策ヲ講スルソリ以テ公平且至當トセム此ノ點ニ關シ
曩ニ米價ノ騰貴時代ニ於テ期米市場ニ對シ受渡米
格附範圍ノ擴張實施ヲ内命シ之ニ依リテ米價ノ暴
騰ヲ抑壓シタル政府ハ今日ノ暴落時代ニ處シテ單ニ
外米代用制ノ撤廢ヲ以テ足レリトセス更ニ各期米市
場ニ於ケル受渡米ノ格附範圍ヲ縮小セシム思惑賣ラ
助長セシメサルカ如キ方法ヲ執ルコト確ニ米價調節ハ
一策ナリト信ス政府カ漫ニ取引所ノ賣買其ノ他ニ干渉
スルノ不可ナルハ勿論ナリト雖非常ノ秋ニ際シテハ非
常ノ政策ナカルヘカラス從テ政府ニシテ眞ニ農民救濟
ニ意テラハ今日ハ實ニ此ノ種ノ方策ヲ採用スヘキ時ナ
ラム況ヤ今日ノ期米市場ナルモノハ朝鮮米ヲ受渡二供
セラル爲所謂鮮米相場ヲ實現シテ肝腎ノ内地米相
場ヲ代表セス爲ニ定期ト正米相場トハ大大ノ懸隔ヲ
示シ將又内地米相場ニ惡影響ヲ及ホシツツアルニ於テ
ヲヤ政府ハ此ノ實狀ニ鑑ニ速ニ朝鮮米ヲ受渡格附ヨ
リ除キ更ニ進ムテ格附範圍ヲ縮小スルノ意思ナキヤ

六 商品取引タルト證券取引タルトノ區別ナク現在ノ
定期市場ト對立スヘキ現物市場ノ特設ヲ必要トスル

ハ當業者ハ勿論今ヤ一般ノ輿論トナレリ特ニ有價證券ノ取引ニ關シテハ直及延取引ノ制度々今日行ハルル實際ノ取引狀態ト合致セサル點多ク之カ爲動モスレハ違法ノ取引ニ陥リ易キ虞アルノミナラス所謂場外取引ニ於テハ其ノ傾向更ニ甚シキモノ在リ各地ノ證券交換所又ハ何々信託會社等ノ下ニ一團トナリテ行ハレツツアル現物取引ナルモノニ就テハ政府ニ於テモ夫レ夫レ調査研究ヲ遼ケラレタルヤニ聞ク從テ此處ニ々其ノ實情ヲ指摘セサルモ想フニ斯ル現物取引ノ不統一ト無節制トヲ永ク放任セラルニ於テハ遂ニハ收拾スヘカラサル弊害ヲ生スヘキカ故ニ今ニシテ根本方外ヲ策立シ現物取引ノ統一ヲ圓ルコト最緊要ナリ近時現物市場問題ニ關スル道聽途說ノ紛々タルハ畢竟此ノ根本方針ノ明示セラレサルカ爲ニシテ之ヲ強弱ノ材料トナシ株式賣買ヲ驅引ニ供スルカ如キ固ヨリ思惑家ノ常套手段ニシテ政府當局ノ關知スル所ニ非スト或ハ云ヒ得ヘキモ現物市場設置ノ特權ヲ攫得スルカ如キ豫想ト假定ノ下ニ幼稚ナル小資本家ヲ驅果テ其ノ會社株ニ放資セシメ是等ノ小資本家ニ絶大ノ利害關係ヲ生セシムルカ如キ又一ハ政府方針所ニ政策ニ關シ果斷ニシテ明快ナル方針ヲ指示セサル結果ニ歸セサルヲ得ス是レ本員カ此ノ際切ニ政府ノ對取引所政策ニ就テ明確ナル答辯ヲ希望スル所以ナリ歴代内閣ニ一貫セル取引所政策ナキハ彼ノ小口落シ問題ニ對シ前内閣ハ之ヲ非ナリトシテ禁止シ現行ハ之ヲ是ナリトシテ復活ヲ許シタルニ依リテモ知ルヘシ而シテ一ノ小口落シ問題ニ對シテスラ世論ノ轟々タタリシコト彼カ如シ從テ若今回ノ取引所法改正ニシテ一步ヲ過ラムカ啻ニ世論ノ轟々タルニ止マラス延テハ一般財界ニ少カラサル惡影響ヲ及ホスヘキヤ亦測リ知ルヘカラス此ノ故ニ該問題ニ關シテハ理論ト實際ノ調和ニ就キテ甚大ノ注意ヲ拂ヒ穩健適切ナル解決ヲ行ハサルヘカラス蓋是レ政府當局ノ當ニ執ルヘキ態度ト方針ナルコトヲ信シテ疑ハサルト同時ニ此ノ點ニ關シテ政府ハ該改正案ヲ議會ニ提出スルニ先チ廣く其ノ利害得失ニ關シ取引所關係者並民間實業家ノ意見ヲ徵スルノ意思ナキヤ

八 日露戰後ニ於テスラ額面以上ノ市價ヲ保チシコトアル公債カ國富増進ノ今日ニ於テ其ノ相場ノ比較的低位ニ在ルハ短期ノ國庫證券カ濫發セラルコト即チ放漫ナル公債政策ノ祟リヲ主因トシ尙其ノ他ニモ幾多ノ原因アルヘシ而シテ幾多ノ諸原因中ニ於テ見

逃シ難キハ國債取引ノ圓滑ニ行ハレサル一事トス政府ノ振出セル約束手形トモニ云フヘキ國庫證券カ有利二發行セラレス若クハ市價ノ低位ニアルコトカ國債取引ノ不圓滑之カ因ヲ爲セリトセハ政府ハ之ニ對シテ努メテ該取引ノ圓滑ヲ圓ルノ方法ト手段ヲ講セサルヘカラス全國ノ郵便局ヲシテ公債ノ賣出ヲ取扱ハシムルコト又ハ各種保證金ノ代用トシテ各種公債ニ重キヲ置クカ如キ公債放資ノ民衆化ト公債市價ノ釣上げニ多少ノ效果ハ之アルヘシト雖年々歲々分量增加ノ傾向アル各種公債ニシテ何時ニテモ公正ナル値段ヲ以テ賣買ノ行ハレ得ヘキ市場ノ存在セサル限り本邦公債ノ内外市場ニ於ケル信用ト價格ヲ現在ヨリ以上ニ維持スル能ハサルヘシ政府ハ現在ノ如キ國債仲買人ト市中現物商ノ手ニ公債取引ヲ放任シテ足レリトナスカ或ハ又完全ナル現株市場ノ特設ト共ニ公債取引ノ發達ヲ助長スヘキ計畫アリヤ

九 生絲相場ノ大反落ニヨリ横濱市場ニ於ケル生絲ノ定期取引ハ連日空回りヲ行ヒ事實賣買ヲ停止シツツ起リ關東關西ニ兩派ニ分レ關西派ハ從來本邦唯一ノ生絲市場タル横濱ニ對抗シ別ニ關西ニ於テ生絲ノ集散市場ヲ設置スヘキ決議ヲ行ヘリ事ハ今回生絲相場ノ反動ト之カ救濟策ニ關スル利害ノ衝突ニ其ノ端ヲ發セリト雖此ハ單ニ一時の現象下シテ輕々ニ看過シ去ルヘキ事情ニ非サルカ如シ即チ今日我カ國ノ收穫額ニ徵スレハ關東ニ關西ニ比シ約二割強ノ優勢ヲ示セルモ其ノ府縣別數ニ於テハ寧口關西ハ關東ヨリ便多キコト(二)横濱市場カ本邦唯一ノ生絲市場タル對立スヘキ生絲市場ノ設置ヲ必要トスルノ根本的理由ヲ有セリ此ノ意味ニ於テ神戶又ハ大阪ニ生絲市場ヲ設置セハ(一)關西ノ製絲業者ニトリテ輸送上ノ利便多キコト(二)横濱市場カ本邦唯一ノ生絲市場タル為動モスレハ生絲問屋ノ横暴ニ依リテ利益ヲ壘断セラルノ弊アリ然ルニ之カ競爭市場ヲ設置スレハ右ノ弊害ヲ除却シ得ヘキコト(三)生絲產額ノ増加ニ伴フ生絲資金ノ需要増加ハ必至ノ理勢ナルカ此ノ必要ニ應スヘキ商業資金ニ就テハ關東ヨリモ關西ノ資力優越セルコト(四)大阪及神戶方面ニ於テモ近年ハ生絲業ヲ營ム者増加セルモ特設市場ナキ爲餘儀ナク横濱ニ支店出張所ヲ設ケ若クハ同方面へ出資シツツアリアル

○ 奥村千太郎君 私ノ質問ハ取引所政策ニ關スル件デゴザイマシテ、主トシテ農商務大臣ノ御答辯ヲ煩シタイトトアリ此ノ關西方面ニ生絲ノ定期市場ヲ設置セムトスル者アルモ之ヲ認可セサル方針ヲ執リ來レルハ何故ナルカ右及質問候也

〔奥村千太郎君登壇、拍手起ル〕

○ 奥村千太郎君 私ノ質問ハ取引所政策ニ關スル件デゴザイマシテ、主トシテ農商務大臣ノ御答辯ヲ煩シタイトトアリ此ノ關西方面ニ生絲ノ定期市場ヲ設置セムトスル者アルモ之ヲ認可セサル方針ヲ執リ來レルハ何故ナルカ右及質問候也

貿易ノ大宗タル生絲ノ如キ大量商品ノ取引ヲ一地方ニノミ集中セシムルハ利弊相償ハス殊ニ目下ノ如キ場合ニ際シテ東西兩地ニ生絲ノ二大市場對立セハノ市場カ取引ノ機能ヲ失フトモ他ノ市場ニ於テ支障ナク取引ノ行ハレ得ヘキ等ノ益利アリ然ルニ政府ハ從來關西方面ニ生絲ノ定期市場ヲ設置セムトスル者アルモ之ヲ認可セサル方針ヲ執リ來レルハ何故ナルカ

認メテ、之ヲ取締リ、又ハ制限セラル、御方針デアリカ、今日ハ就レカ其一ヲ擇フベキ時代ニ到達シテ居ルト存ジマス、今回政府ガ取引所法ノ改正ニ着手サレマシタノモ、恐ラク此點ニ在ルト信ジマス、而モ從來政府ガ執リ來タ所ノ取引所ノ政策ヲ見マスルト、私共ノ考ヘテ居ル所ノ見解トハ大變ナ相違ガゴザイマシテ、違法ノ取引モ之ヲ取締ラズ、或ハ定期類似等ノ商行為モ之ヲ輕々ニ看過サレマシタノモ、恐ラク此點ニ在ルト信ジマス、而モ從來政府ガ執リ來タ所ノ取引所ノ過去及現在ニシテ既ニ斯様デアリトシマスレバ、或ハ取引所法ノ一部改正ガ行ハレマシテモ、政府ハ私共ノ違法ナリト認メテ居ル所ノ取引若ハ定期類似ノ取引ニ對シ、制限ガ盛ニ行ハレテ、今回ノ改正サルベキ主眼デアル所ノ現物市場ノ解決ヲシテ、益、困難ナラシメハセヌカト懸念サレルノテ、私ハ其點ニ關シテ先づ綿絲ト有價證券トノ現物市場問題、並ニ之ニ關連スル所ノ取引所政策ニ就テ、政府當局ニ御尋致シタイト思ヒマス、先づ綿絲ノ取引カラ申上ダマスト、昨年以來財界ノ反動的景氣ニ襲ハレタモノ、中ニ於キマシテ、綿絲ハ最モ打撃ヲ受ケマシタ一ツアリマス之ガ爲メ當時ノ綿絲及綿布市場ハ、恰モ財界混亂ノ中心點ヲ成セルヤウノ觀呈シ、今尙ホ決済未了デ、困難ナル問題ニ逢著シテ居ル向ガ少ナクナインデアリマス、隨テ前ノ好景氣時代ニ於キマシテハ、綿絲及綿布ト云フモノハ非常ニ國民ノ生活ヲ脅威シ、一轉シテ反動時期ニ入ルヤ、一般經濟界ニ非常ナ迷惑ヲ及ボシ、且ツ商業道德ヲ破壊致シマシタカラ、物質的ト精神的ト一ツナガラ、大ナル損害ヲ我ガ經験ナキ事實デアリマス、近年ハ此綿絲ニ限ラズ、大量取引ノ行ハレル商品ニ就テ、盛ニ先約取引ガ行ハレマシタ、併ナガラ其先約ノ最モ大袈裟ニ、最モ組織的ニ行ハレテ居ルモノハト申スト、先づ第一ニ指ヲ綿絲ニ届セナケレバナリマセヌ、同時ニ定期ヲモ凌グ所ノ先約取引ノ大部分ハ、定期ガ單リ左燃二十手ノミヲ賣買スルニ過キザルニ、現物市場ニ於テハ銘柄ノ區別ナク自由ニ選擇シテ賣買ガ出來マス上ニ、信用一ツデ如何ナル長期ノ先約モ行ハレ、而モ定期ノ如キ高キ手數料ヲ要セシム、定期同様ノ先物取引ヲ行フ平生カラ先約取引ガ行ハレ易イ、綿絲ハ戰時中ヨリ戰後ニ

瓦ツテ、異常ナル商品ノ思惑熱ト共ニ更ニ其勢力助長サレマシテ、綿絲問屋ト紡績會社トノ先約取引ハ十八箇月、即チ一年半カラ二十一箇月即ニ二年近クノ先物マテ行ハレタノデアリマス、而シテ此先約ノ内容ヲ窺ヒマスト、中間ノ引合フト云フ考カラ原料ヲ持タズシハ、禁過スベキコトガ當然アルト思フ所ノ取引ヲモ、政府ハ今日ノ儘ニ放任セラル、カドウカ、斯様ニ幾多ノ懸念ガゴザイマスカラ、若シモ今期議會ニ此案が提出サレヌト云フコトデゴザイマスト、其間ニ處シテ又モ變態的ノ現物取引ガ盛ニ行ハレテ、今回ノ改正サルベキ主眼デアル所ノ現物市場ノ解決ヲシテ、益、困難ナラシメハセヌカト懸念サレルノテ、私ハ其點ニ關シテ先づ綿絲ト有價證券トノ現物市場問題、並ニ之ニ關連スル所ノ取引所政策ニ就テ、政府當局ニ御尋致シタイト思ヒマス、先づ綿絲ノ取引カラ申上ダマスト、昨年以來財界ノ反動的景氣ニ襲ハレタモノ、中ニ於キマシテ、綿絲ハ最モ打撃ヲ受ケマシタ一ツアリマス之ガ爲メ當時ノ綿絲及綿布市場ハ、恰モ財界混亂ノ中心點ヲ成セルヤウノ觀呈シ、今尙ホ決済未了デ、困難ナル問題ニ逢著シテ居ル向ガ少ナクナインデアリマス、隨テ前ノ好景氣時代ニ於キマシテハ、綿絲及綿布ト云フモノハ非常ニ國民ノ生活ヲ脅威シ、一轉シテ反動時期ニ入ルヤ、一般經濟界ニ非常ナ迷惑ヲ及ボシ、且ツ商業道德ヲ破壊致シマシタカラ、物質的ト精神的ト一ツナガラ、大ナル損害ヲ我ガ經験ナキ事實デアリマス、近年ハ此綿絲ニ限ラズ、大量取引ノ行ハレル商品ニ就テ、盛ニ先約取引ガ行ハレマシタ、併ナガラ其先約ノ最モ大袈裟ニ、最モ組織的ニ行ハレテ居ルモノハト申スト、先づ第一ニ指ヲ綿絲ニ届セナケレバナリマセヌ、同時ニ定期ヲモ凌グ所ノ先約取引ノ大部分ハ、定期ガ單リ左燃二十手ノミヲ賣買スルニ過キザルニ、現物市場ニ於テハ銘柄ノ區別ナク自由ニ選擇シテ賣買ガ出來マス上ニ、信用一ツデ如何ナル長期ノ先約モ行ハレ、而モ定期ノ如キ高キ手數料ヲ要セシム、定期同様ノ先物取引ヲ行フ平生カラ先約取引ガ行ハレ易イ、綿絲ハ戰時中ヨリ戰後ニ

瓦ツテ、異常ナル商品ノ思惑熱ト共ニ更ニ其勢力助長サレマシテ、綿絲問屋ト紡績會社トノ先約取引ハ十八箇月、即チ一年半カラ二十一箇月即ニ二年近クノ先物マテ行ハレタノデアリマス、而シテ此先約ノ内容ヲ窺ヒマスト、中間ノ引合フト云フ考カラ原料ヲ持タズシハ、禁過スベキコトガ當然アルト思フ所ノ取引ヲモ、政府ハ今日ノ儘ニ放任セラル、カドウカ、斯様ニ幾多ノ懸念ガゴザイマスカラ、若シモ今期議會ニ此案が提出サレヌト云フコトデゴザイマスト、其間ニ處シテ又モ變態的ノ現物取引ガ盛ニ行ハレテ、今回ノ改正サルベキ主眼デアル所ノ現物市場ノ解決ヲシテ、益、困難ナラシメハセヌカト懸念サレルノテ、私ハ其點ニ關シテ先づ綿絲ト有價證券トノ現物市場問題、並ニ之ニ關連スル所ノ取引所政策ニ就テ、政府當局ニ御尋致シタイト思ヒマス、先づ綿絲ノ取引カラ申上ダマスト、昨年以來財界ノ反動的景氣ニ襲ハレタモノ、中ニ於キマシテ、綿絲ハ最モ打撃ヲ受ケマシタ一ツアリマス之ガ爲メ當時ノ綿絲及綿布市場ハ、恰モ財界混亂ノ中心點ヲ成セルヤウノ觀呈シ、今尙ホ決済未了デ、困難ナル問題ニ逢著シテ居ル向ガ少ナクナインデアリマス、隨テ前ノ好景氣時代ニ於キマシテハ、綿絲及綿布ト云フモノハ非常ニ國民ノ生活ヲ脅威シ、一轉シテ反動時期ニ入ルヤ、一般經濟界ニ非常ナ迷惑ヲ及ボシ、且ツ商業道德ヲ破壊致シマシタカラ、物質的ト精神的ト一ツナガラ、大ナル損害ヲ我ガ經験ナキ事實デアリマス、近年ハ此綿絲ニ限ラズ、大量取引ノ行ハレル商品ニ就テ、盛ニ先約取引ガ行ハレマシタ、併ナガラ其先約ノ最モ大袈裟ニ、最モ組織的ニ行ハレテ居ルモノハト申スト、先づ第一ニ指ヲ綿絲ニ届セナケレバナリマセヌ、同時ニ定期ヲモ凌グ所ノ先約取引ノ大部分ハ、定期ガ單リ左燃二十手ノミヲ賣買スルニ過キザルニ、現物市場ニ於テハ銘柄ノ區別ナク自由ニ選擇シテ賣買ガ出來マス上ニ、信用一ツデ如何ナル長期ノ先約モ行ハレ、而モ定期ノ如キ高キ手數料ヲ要セシム、定期同様ノ先物取引ヲ行フ平生カラ先約取引ガ行ハレ易イ、綿絲ハ戰時中ヨリ戰後ニ

瓦ツテ、異常ナル商品ノ思惑熱ト共ニ更ニ其勢力助長サレマシテ、綿絲問屋ト紡績會社トノ先約取引ハ十八箇月、即チ一年半カラ二十一箇月即ニ二年近クノ先物マテ行ハレタノデアリマス、而シテ此先約ノ内容ヲ窺ヒマスト、中間ノ引合フト云フ考カラ原料ヲ持タズシハ、禁過スベキコトガ當然アルト思フ所ノ取引ヲモ、政府ハ今日ノ儘ニ放任セラル、カドウカ、斯様ニ幾多ノ懸念ガゴザイマスカラ、若シモ今期議會ニ此案が提出サレヌト云フコトデゴザイマスト、其間ニ處シテ又モ變態的ノ現物取引ガ盛ニ行ハレテ、今回ノ改正サルベキ主眼デアル所ノ現物市場ノ解決ヲシテ、益、困難ナラシメハセヌカト懸念サレルノテ、私ハ其點ニ關シテ先づ綿絲ト有價證券トノ現物市場問題、並ニ之ニ關連スル所ノ取引所政策ニ就テ、政府當局ニ御尋致シタイト思ヒマス、先づ綿絲ノ取引カラ申上ダマスト、昨年以來財界ノ反動的景氣ニ襲ハレタモノ、中ニ於キマシテ、綿絲ハ最モ打撃ヲ受ケマシタ一ツアリマス之ガ爲メ當時ノ綿絲及綿布市場ハ、恰モ財界混亂ノ中心點ヲ成セルヤウノ觀呈シ、今尙ホ決済未了デ、困難ナル問題ニ逢著シテ居ル向ガ少ナクナインデアリマス、隨テ前ノ好景氣時代ニ於キマシテハ、綿絲及綿布ト云フモノハ非常ニ國民ノ生活ヲ脅威シ、一轉シテ反動時期ニ入ルヤ、一般經濟界ニ非常ナ迷惑ヲ及ボシ、且ツ商業道德ヲ破壊致シマシタカラ、物質的ト精神的ト一ツナガラ、大ナル損害ヲ我ガ經験ナキ事實デアリマス、近年ハ此綿絲ニ限ラズ、大量取引ノ行ハレル商品ニ就テ、盛ニ先約取引ガ行ハレマシタ、併ナガラ其先約ノ最モ大袈裟ニ、最モ組織的ニ行ハレテ居ルモノハト申スト、先づ第一ニ指ヲ綿絲ニ届セナケレバナリマセヌ、同時ニ定期ヲモ凌グ所ノ先約取引ノ大部分ハ、定期ガ單リ左燃二十手ノミヲ賣買スルニ過キザルニ、現物市場ニ於テハ銘柄ノ區別ナク自由ニ選擇シテ賣買ガ出來マス上ニ、信用一ツデ如何ナル長期ノ先約モ行ハレ、而モ定期ノ如キ高キ手數料ヲ要セシム、定期同様ノ先物取引ヲ行フ平生カラ先約取引ガ行ハレ易イ、綿絲ハ戰時中ヨリ戰後ニ

ト云フコトハ、恰モ一定ノ市場ヲ構成シテ居ルノト同様アルトニ云フ見解カラ、此議達ヲ發セラレタモノニアリマス、併シ此以外ニ在ツテハ、此取引ニ對シテ政府當局ガ如何ニ掣肘ヲ加ヘ、如何ナル方法ヲ執ラレタカト申シマスト云フト、ソレハ何モ無イノニアリマス、全然放任主義ニ進ンデ來ラレタノデアリマス、而シテ綿絲相場ガ天井知ラズデ七百圓臺ニ暴騰シマシタ節、太番手綿絲ノ輸出制限ガ行ハレマシタ、ソレハ價格調節ノ上ニ多少ノ效果ハゴザイマシタケレドモ、綿絲取引ノ最大弊害デアル所ノ先約取引トハ何等ノ關係ナク放漫ナル思惑買賣ヲ抑制スル根本主義ニハ、毫末モ觸レナカダノニアリマス、尤モ一昨年ノ秋頃ト記憶致シマスガ、物價調節問題ノ喧囂ヲ極メマシタ際ニ、山本農相ハ東京、大阪、名古屋ノ有力ナル綿絲商ヲ東京へ招致セラヒ、懇談會ナルモノヲ催サレマシタ結果、其當時ハ綿絲ノ先約ハ一箇年ニ止メテ置カウ、斯ウ當業者ガ申合ヲシタコトガアリマス、然ルニ此申合モ思惑熱ニ次第ニ高調ニ達スルト共ニ、何時シカ立消ノ姿トナシノアリマス、是ハ政府當局カラ言ハシメマスレバ、綿絲商ノ如キ一流ノ商人ハ、彼等ノ自制心ニ訴ヘテ此長期先約取引ヲ爲サシムル積リデアルノデゴザイマセウ、併ナガラ世人ハ之ニ對シテ、ドウ云フ評判ヲ爲シテ居ルカト申シマスト、若モ斯ル長期先約ヲ他ノ商人ガ行フタナラバ、必然政府カラ直様取締ヲ受ケルノデアル、然ルニ其長期先約ニ對シテ無干渉主義ヲ執ッテ居ラル、ト云フコトハ、彼等ハ有効ナル商人デアルノト、其背後ニハ全國ノ紡績會社ガ控エテ居ルカラ、取締ルベキ事ヲモ取締ラナイデ居ルノアル、斯ウ申シテ居リマス、私ハ從來綿絲及ビ綿布ノ長期間先約ニ對シマシテ、政府ノ執リ來ダ所ノ極メテ微溫的ナ警告ヲ眺メマシテ、世人ガ斯ノ如キ言解ヲ下シテモ、之ヲ辯解スルノ辭ハナイト考ヘマス、何故ナラバ元來我國ニ於ケル所ノ取引政策ナルモノハ、矛盾撞着ダラケデアリマス、是ハ獨り現内閣バカリデハゴザイマセ、歷代ノ内閣ガサウデアッテ、現ニ綿絲ノ取引ニ就テ申シマシテモ、所謂商慣習ノ美名ノ下ニ隠レテ、定期以上ノ長期先約ト先取引ガ行ハレテ、少シモ怪シム所ガナイ、綿絲ノ定期取引ノ限月延長ヲ熱望スル聲ガ聞エ、或ハ綿布ヲ定期ノ取引ニ掛ケヤウト致シマシテモ、ソレヲ許サナイ、然ルニ市中ニ於ケル先約ハ、斯ル放漫ナル取引ヲモ許シテ居ルノデアリマスカラ、斯ク申セバトテ私ハ定期取引ヲ一定期取引デハアリマセヌ、先約取引ヲ絶対ニ禁止セヨト申スノデハアリマセヌ、紡績會社ハ原料棉花ヲ買付ケマスルニ當テ、長期ノ先約ガ行ハレル限り、是ガ製品ノ賣捌ニ對シテ居モ、亦相當ノ長期ノ先約ヲ行フト云フコトハ、其必要ハ申

スマデモゴザイマセヌガ、ソレハ畢竟程度問題ニアリマス、ソレハ此長期ノ先約ニ對シテ、今度政府ハ如何ナル程度ノ制限ヲ加ヘラル、御考アルカ、將タ法ノ制裁力ニ依テ之ヲ取締ラル、御考アルカ、左様ナ御考ハ全然御持二十ラヌノデアルカ、之ヲ第一ニ承リタイノニアリマス、實ハ斯様ナ質問ヲ致シマスノハ、此長期先約ニ制限ヲ加ヘマスルコトガ目下ノヤウニ此長期先約ガ最モ下火トナシタ時コソ、之ヲ實行スル絶好ノ機會ト信ズルカラデゴザイマス、若シスル機會ヲ逸シマシタナラバ、是ガ斷行ノ機會ハ再ビ來ラズシテ、又と將來ニ大ナル禍根ヲ貽シハシナイカヲ懸念スル結果デアリマス、以上申シマシタ所ハ、主トシテ綿絲及綿布ノ長期先約ニ對シテデゴザイマシタ、隨テ私ハ對シテ、矢張綿絲綿布同様ノ長期先約ガ行ハレテ、一日ノ取引高ガ一箇月ノ生産高以上ノ空賣買ヲ行フヤウナ實例ガ、戰時及戰後ニ掛ケテ隨分澤山ゴザイマシタ、隨テ私ハ出來得ルナラバ、獨リ綿絲綿布ト云フノミニ止マラズ、總テ此重要商品ニ對シテ、同ジヤウナ長期ノ先約ノ行ハル、事ヲモ併セテ取締リタイ、或ハ制限シタイ、斯ノ如クシテ我國ノ商業取引ハ、始メテ健全デアルトスウ信ジマスルカラ、之ニ對シテモ政府ノ御所見ハドウデアルカ、綿絲綿布以外ニ御尋致シタインニアリマス、次ノ質問ハ矢張綿絲ノ先約ニ關シテマリマスルガ、此絲ノ先約ハ前ニ申ス如キ弊害ハゴザイマス、サスレバトテ此先約ヲ全然中止致シテハ、紡績會社ト綿絲問屋ノ苦痛ハ一方ナラヌノデゴザイマスルカラ、之ヲ如何ニ適度ニ發達セシムルカト云フコトモ、一ソノ問題ニアリマス、然ルニ今日ニ於テハ長期先約ノ弊が極マル結果トシテ、市ニ於ケル綿絲布ト取引ノ機能ヲ全然破壊セルト同様デアリマシテ、ソレガ爲メニ當業者ハ勿論非常ナル苦痛ヲ被テ居ルノミナラズ、正取引機能ノ破壊ニ依ル結果、重要商品タル綿絲トカ綿布トカ云フ物ハ海外ニ輸出セラレマセヌ、乃至輸出ガ不振ニ陥テ居リマス、尤モ此重要商品ガ輸出ノ不振ニ陥テ居ルニ就キマシテハ、或ハ爲替關係トカ、其他ノ關係モ種々デゴザイマセウガ、要スルニ取引機能ノ破壊ト云フコトガ、一ツノ大ナル障害ヲ爲シテ居ルノデゴザイマスカラ、此障害ヲ排除スル爲メニハ、是非共此破壊セス、然ルニ現在ノ綿絲定期ト現物ノ關係ヲ見マスルト、定期取引ト對立スル所ノ完全ナル現物市場ノ設置ヲ必要トスルコトハ言ヲ要シマセヌ、隨テ時代ノ要求デアリ、且ツ輿論トナシテ居ル所ノ此現物市場問題ハ、今日迄ニ解決スベキ所ノモノニアリマシタルニモ拘ラズ(「高聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)是ガ解決サレテ居ラナイト云フコトハ、私ノ遺憾トスル所ニアリマス(「大聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 岩本君著席ナサイ
○奥村千太郎君(續) ソレデ若シ此現物市場問題ガ解決セラレマセヌデハ、今日行ハレマス定期類似ノ變態取引ハ益々流行致シテ、遂ニ收拾スルコトノ出來ナイヤウナ結果ニ陥リハセヌカト云フコトヲ危ムノニアリマス、取引所政策ノ不統一不徹底ハ今日ニ始ラヌノアリマス、若シモ歷代ノ政府ニ取引政策ガアリスレバ、此不徹底ト不統一カアルベカリデアリマスガ、私ハ單ニ私一個ノ議論トシテ之ヲ申上

立テ、居リマス、現ニ定期市場ニ於テ行ハレテ居ル直及延取引ハ、之ニ關スル制度ト今日行ハレテ居ル實際取引トハ、甚ダ合致シナイ點ガアルノデアリマス、免モスレバ犯則ノ嫌ガアルノデアリマス、現ニ資産アリ信用アル仲買、或ハ用心深キ仲買ガ此延或ハ直取引ヲ利用シナインノハ、即チ其半面ニ於テ犯則ノ虞ガアルカラデアリマス、ソレデ定期市場ニ特ニ許サレテ居ル直及延取引スラス様ナ有様デアリマスカラ、所謂場外取引ニ至ラテハ、其傾向更ニ甚シイノデアリマス、此所ニ御在テノ諸君中ニモ、證券交換所等ニ關係ノアル方ガ少クナイト同時ニ、私ヨリ以上ニ御精通ノ方ガアラウト存ジマスガ、私ノ知テ居ル範囲デ申シマシテモ、東京及大阪ニハ證券交換所ガアリマス、名古屋ニハ名古屋證券信託會社ガアリマス、此名古屋證券信託會社ハ、同地ノ定期仲買人及現物商ガ、團トナシテヤナテ居リマスガ、名古屋ノ取引所トハ全然何ノ關係ハ無ク、且ソ取引所トハ別個ノ所デ商ヲ行シテ居ルコトハ、丁度東京及大阪ニ於ケル交換所ト同様デアリマス、之ニ反シテ京都及神戸ニ於ケル信託會社ハ、雙方トモ定期仲買人ガヤナテ居リマスガ、同時ニ定期仲買人ガ株主トナシテ現在取引所ノ中デ商ヲ行ヒ、取引所ニ手數料ヲ納メテ、サウシテ取引所ニ於ケル賣買が結了シテ後ニ、其受渡ニ要スル株式トカ資金トカ融通スルニ過ギナシ組織ニナシテ居リマス、是ニ於テ私ハ大ナル疑問ヲ生ズルノデアリマス、ト云フ次第ハ京都及神戸ノ如キ取引所ノ清算機關トモ謂フベキ役目ヲ務メテ居ル信託會社ノ營業振ハ、格別違法トハ思ヒマセヌノミナラズ、寧ロ取引所内ニ於ケル今後ノ現物取引ナルモノハ、斯様ナル組織ト方法ノ下ニ發達スルモノアラウト考ヘマスガ、之ニ反シテ取引所ト何等ノ關係ナキ證券交換所ニ於ケル現在ノ營業振

期仲買人ガ株主トナシテ現在取引所ノ中デ商ヲ行ヒ、取引所ニ手數料ヲ納メテ、サウシテ取引所ニ於ケル賣買が結了シテ後ニ、其受渡ニ要スル株式トカ資金トカ融通スルニ過ギナシ組織ニナシテ居リマス、是ニ於テ私ハ大ナル疑問ヲ生ズルノデアリマス、ト云フ次第ハ京都及神戸ノ如キ取引所ノ清算機關トモ謂フベキ役目ヲ務メテ居ル信託會社ノ營業振ハ、格別違法トハ思ヒマセヌノミナラズ、寧ロ取引所内ニ於ケル今後ノ現物取引ナルモノハ、斯様ナル組織ト方法ノ下ニ發達スルモノアラウト考ヘマスガ、之ニ反シテ取引所ト何等ノ關係ナキ證券交換所ニ於ケル現在ノ營業振

期仲買人ガ株主トナシテ現在取引所ノ中デ商ヲ行ヒ、取引所ニ手數料ヲ納メテ、サウシテ取引所ニ於ケル賣買が結了シテ後ニ、其受渡ニ要スル株式トカ資金トカ融通スルニ過ギナシ組織ニナシテ居リマス、是ニ於テ私ハ大ナル疑問ヲ生ズルノデアリマス、ト云フ次第ハ京都及神戸ノ如キ取引所ノ清算機關トモ謂フベキ役目ヲ務メテ居ル信託會社ノ營業振ハ、格別違法トハ思ヒマセヌノミナラズ、寧ロ取引所内ニ於ケル今後ノ現物取引ナルモノハ、斯様ナル組織ト方法ノ下ニ發達スルモノアラウト考ヘマスガ、之ニ反シテ取引所ト何等ノ關係ナキ證券交換所ニ於ケル現在ノ營業振

期仲買人ガ株主トナシテ現在取引所ノ中デ商ヲ行ヒ、取引所ニ手數料ヲ納メテ、サウシテ取引所ニ於ケル賣買が結了シテ後ニ、其受渡ニ要スル株式トカ資金トカ融通スルニ過ギナシ組織ニナシテ居リマス、是ニ於テ私ハ大ナル疑問ヲ生ズルノデアリマス、ト云フ次第ハ京都及神戸ノ如キ取引所ノ清算機關トモ謂フベキ役目ヲ務メテ居ル信託會社ノ營業振ハ、格別違法トハ思ヒマセヌノミナラズ、寧ロ取引所内ニ於ケル今後ノ現物取引ナルモノハ、斯様ナル組織ト方法ノ下ニ發達スルモノアラウト考ヘマスガ、之ニ反シテ取引所ト何等ノ關係ナキ證券交換所ニ於ケル現在ノ營業振

濱市場ニ對シテ、關西方面カラ資本家ガ出テ參リマシテモ、之シテ店ヲ開キ、又出資ヲシテ居ル人ガ澤山アルノアリマス、(簡單)ト呼フ者アリ、然ルニ政府ハ從來神戸其他ニ於キマシテ、生絲市場ヲ設置スルコトヲ出願致シマシテモ、之ヲ許サナイ御方針アリマシタ、是ハ如何ナル事情ゴザイマセウカ、私共生絲ノ產額が段々増加シタ今日ニ於テハ斯様ナ方針ヲ何時マデモ維持サレルト云フコトハ、ドウデアラウカトスウ考ヘマスカラ、今後之ニ對スル政府ノ御方針ハドウカモ伺ヒタインアリマス、最後ニ一言致シタインハ斯取引所法ノ改正ハ彼ノ米穀法案等ト相俟ナマシテ、其局ニ當ラル、農商務大臣トシテハ、殆ド進退ヲ賭シテモ争ハルベキ問題アラウト存ジマス、然ルニ未だ本議會ニ提案セラレナイハドウニ云フ事情ガゴザイマスカ存ジマセスガ、是ハ改正案ノ内容其モノヨリモ、私共之ヲ政府ガ斷行セラル、ノ勇氣ガアルカドウカト云フコトカ、當面ノ問題トナシテ居ルヤウデアリマス(ヒヤー)、然ルニ此問題ノ解決ニ就テハ、或ハ交換所ガ運動スルトカ、或ハ取引所ガ運動シテ居ルトカ、種々奇怪ナル風話ガ傳テ居ル際デゴザイマスカラ、一種ミノ疑惑團ガ一般ニアル際デゴザイマスカラ、斯ル疑團ヲ解カル、爲メニモ、私共ノ此質問ニ對シマシテ、十分詳細ニ且ツ御明確ナル御答辯ヲ希望致シマスル次第デゴザイマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 清瀬一郎君

五 朝鮮統治ニ關スル質問(清瀬一郎君)

提出

朝鮮統治ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也
大正十年二月十七日

提出者 清瀬一郎
賛成者 鈴木梅四郎
外二十九人

○清瀬一郎君 諸君、本員ハ朝鮮ノ統治ニ關シ、陸軍大臣並ニ外務大臣ニ向テ、二箇條ノ質問ヲ持テ居ルノアリマス、由來事朝鮮ニ關スルヤ、政府ハ全クノ祕密主義アリ、昨年ノ此頃迄ハ帝國ノ新聞ニモ雑誌ニモ、朝鮮ニ關スル事ハ絶対ニ禁止シタ事實ガアル、朝鮮ト云フ文字サヘモ抹殺セシメタ時期ガアルノアリマス、隨テ諸外國ノ吾ニノ

(清瀬一郎君登壇、拍手起ル)

朝鮮統治ニ關スル質問主意書
ノ所在如何敢テ政府ノ説明ヲ求ム
右及質問候也

友人が知ツテ居ル事實アベコベニ内地ノ人民ガ知ラザル事ガ甚ダ多イナル、又甚ダ重大ナル問題ニシテ殊ニ然リマセウカ、私共生絲ノ產額が段々増加シタ今日ニ於テハ斯様ナ方針ヲ何時マデモ維持サレルト云フコトハ、ドウデアラウカトスウ考ヘマスカラ、今後之ニ對スル政府ノ御方針ハドウカモ伺ヒタインアリマス、最後ニ一言致シタインハ斯取引所法ノ改正ハ彼ノ米穀法案等ト相俟ナマシテ、其局ニ當ラル、農商務大臣トシテハ、殆ド進退ヲ賭シテモ争ハルベキ問題アラウト存ジマス、然ルニ未だ本議會ニ提案セラレナイハドウニ云フ事情ガゴザイマスカ存ジマセスガ、是ハ改正案ノ内容其モノヨリモ、私共之ヲ政府ガ断行セラル、ノ勇氣ガアルカドウカト云フコトカ、當面ノ問題トナシテ居ルヤウデアリマス(ヒヤー)、然ルニ此問題ノ解決ニ就テハ、或ハ交換所ガ運動スルトカ、或ハ取引所ガ運動シテ居ルトカ、種々奇怪難御答辯ヲ希望致シマスル次第デゴザイマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 清瀬一郎君

五 朝鮮統治ニ關スル質問(清瀬一郎君)

提出

朝鮮統治ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也
大正十年二月十七日

提出者 清瀬一郎
賛成者 鈴木梅四郎
外二十九人

○清瀬一郎君 諸君、本員ハ朝鮮ノ統治ニ關シ、陸軍大臣並ニ外務大臣ニ向テ、二箇條ノ質問ヲ持テ居ルノアリマス、由來事朝鮮ニ關スルヤ、政府ハ全クノ祕密主義アリ、昨年ノ此頃迄ハ帝國ノ新聞ニモ雑誌ニモ、朝鮮ニ關スル事ハ絶対ニ禁止シタ事實ガアル、朝鮮ト云フ文字サヘモ抹殺セシメタ時期ガアルノアリマス、隨テ諸外國ノ吾ニノ

(清瀬一郎君登壇、拍手起ル)

朝鮮統治ニ關スル質問主意書
ノ所在如何敢テ政府ノ説明ヲ求ム
右及質問候也

友人が知ツテ居ル事實アベコベニ内地ノ人民ガ知ラザル事ガ甚ダ多イナル、又甚ダ重大ナル問題ニシテ殊ニ然リマセウカ、私共生絲ノ產額が段々増加シタ今日ニ於テハ斯様ナ方針ヲ何時マデモ維持サレルト云フコトハ、ドウデアラウカトスウ考ヘマスカラ、今後之ニ對スル政府ノ御方針ハドウカモ伺ヒタインアリマス、最後ニ一言致シタインハ斯取引所法ノ改正ハ彼ノ米穀法案等ト相俟ナマシテ、其局ニ當ラル、農商務大臣トシテハ、殆ド進退ヲ賭シテモ争ハルベキ問題アラウト存ジマス、然ルニ未だ本議會ニ提案セラレナイハドウニ云フ事情ガゴザイマスカ存ジマセスガ、是ハ改正案ノ内容其モノヨリモ、私共之ヲ政府ガ断行セラル、ノ勇氣ガアルカドウカト云フコトカ、當面ノ問題トナシテ居ルヤウデアリマス(ヒヤー)、然ルニ此問題ノ解決ニ就テハ、或ハ交換所ガ運動スルトカ、或ハ取引所ガ運動シテ居ルトカ、種々奇怪難御答辯ヲ希望致シマスル次第デゴザイマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 清瀬一郎君

五 朝鮮統治ニ關スル質問(清瀬一郎君)

提出

朝鮮統治ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也
大正十年二月十七日

提出者 清瀬一郎
賛成者 鈴木梅四郎
外二十九人

○清瀬一郎君 諸君、本員ハ朝鮮ノ統治ニ關シ、陸軍大臣並ニ外務大臣ニ向テ、二箇條ノ質問ヲ持テ居ルノアリマス、由來事朝鮮ニ關スルヤ、政府ハ全クノ祕密主義アリ、昨年ノ此頃迄ハ帝國ノ新聞ニモ雑誌ニモ、朝鮮ニ關スル事ハ絶対ニ禁止シタ事實ガアル、朝鮮ト云フ文字サヘモ抹殺セシメタ時期ガアルノアリマス、隨テ諸外國ノ吾ニノ

(清瀬一郎君登壇、拍手起ル)

朝鮮統治ニ關スル質問主意書
ノ所在如何敢テ政府ノ説明ヲ求ム
右及質問候也

友人が知ツテ居ル事實アベコベニ内地ノ人民ガ知ラザル事ガ甚ダ多イナル、又甚ダ重大ナル問題ニシテ殊ニ然リマセウカ、私共生絲ノ產額が段々増加シタ今日ニ於テハ斯様ナ方針ヲ何時マデモ維持サレルト云フコトハ、ドウデアラウカトスウ考ヘマスカラ、今後之ニ對スル政府ノ御方針ハドウカモ伺ヒタインアリマス、最後ニ一言致シタインハ斯取引所法ノ改正ハ彼ノ米穀法案等ト相俟ナマシテ、其局ニ當ラル、農商務大臣トシテハ、殆ド進退ヲ賭シテモ争ハルベキ問題アラウト存ジマス、然ルニ未だ本議會ニ提案セラレナイハドウニ云フ事情ガゴザイマスカ存ジマセスガ、是ハ改正案ノ内容其モノヨリモ、私共之ヲ政府ガ断行セラル、ノ勇氣ガアルカドウカト云フコトカ、當面ノ問題トナシテ居ルヤウデアリマス(ヒヤー)、然ルニ此問題ノ解決ニ就テハ、或ハ交換所ガ運動スルトカ、或ハ取引所ガ運動シテ居ルトカ、種々奇怪難御答辯ヲ希望致シマスル次第デゴザイマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 清瀬一郎君

五 朝鮮統治ニ關スル質問(清瀬一郎君)

提出

朝鮮統治ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也
大正十年二月十七日

提出者 清瀬一郎
賛成者 鈴木梅四郎
外二十九人

○清瀬一郎君 諸君、本員ハ朝鮮ノ統治ニ關シ、陸軍大臣並ニ外務大臣ニ向テ、二箇條ノ質問ヲ持テ居ルノアリマス、由來事朝鮮ニ關スルヤ、政府ハ全クノ祕密主義アリ、昨年ノ此頃迄ハ帝國ノ新聞ニモ雑誌ニモ、朝鮮ニ關スル事ハ絶対ニ禁止シタ事實ガアル、朝鮮ト云フ文字サヘモ抹殺セシメタ時期ガアルノアリマス、隨テ諸外國ノ吾ニノ

(清瀬一郎君登壇、拍手起ル)

朝鮮統治ニ關スル質問主意書
ノ所在如何敢テ政府ノ説明ヲ求ム
右及質問候也

友人が知ツテ居ル事實アベコベニ内地ノ人民ガ知ラザル事ガ甚ダ多イナル、又甚ダ重大ナル問題ニシテ殊ニ然リマセウカ、私共生絲ノ產額が段々増加シタ今日ニ於テハ斯様ナ方針ヲ何時マデモ維持サレルト云フコトハ、ドウデアラウカトスウ考ヘマスカラ、今後之ニ對スル政府ノ御方針ハドウカモ伺ヒタインアリマス、最後ニ一言致シタインハ斯取引所法ノ改正ハ彼ノ米穀法案等ト相俟ナマシテ、其局ニ當ラル、農商務大臣トシテハ、殆ド進退ヲ賭シテモ争ハルベキ問題アラウト存ジマス、然ルニ未だ本議會ニ提案セラレナイハドウニ云フ事情ガゴザイマスカ存ジマセスガ、是ハ改正案ノ内容其モノヨリモ、私共之ヲ政府ガ断行セラル、ノ勇氣ガアルカドウカト云フコトカ、當面ノ問題トナシテ居ルヤウデアリマス(ヒヤー)、然ルニ此問題ノ解決ニ就テハ、或ハ交換所ガ運動スルトカ、或ハ取引所ガ運動シテ居ルトカ、種々奇怪難御答辯ヲ希望致シマスル次第デゴザイマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 清瀬一郎君

五 朝鮮統治ニ關スル質問(清瀬一郎君)

提出

朝鮮統治ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也
大正十年二月十七日

提出者 清瀬一郎
賛成者 鈴木梅四郎
外二十九人

○清瀬一郎君 諸君、本員ハ朝鮮ノ統治ニ關シ、陸軍大臣並ニ外務大臣ニ向テ、二箇條ノ質問ヲ持テ居ルノアリマス、由來事朝鮮ニ關スルヤ、政府ハ全クノ祕密主義アリ、昨年ノ此頃迄ハ帝國ノ新聞ニモ雑誌ニモ、朝鮮ニ關スル事ハ絶対ニ禁止シタ事實ガアル、朝鮮ト云フ文字サヘモ抹殺セシメタ時期ガアルノアリマス、隨テ諸外國ノ吾ニノ

(清瀬一郎君登壇、拍手起ル)

朝鮮統治ニ關スル質問主意書
ノ所在如何敢テ政府ノ説明ヲ求ム
右及質問候也

ガ出來ナイミナラズ、甚ダ不都合。ナル答辯デアルト考ヘマス、私ハ質問ノ趣旨ニ對スル答辯ニ對シテ、更ニ意見ヲ申上ゲタイト考ヘマス、一體此阿片ノ問題ニ就キマシテハ、先般モ當議場ニ於テ、國民黨ノ小橋君ヨリ決議案ガ提出ニナ。テ議場デ討論サレクト云フコトデ、大部分ハ之ニ盡シテ居リマスカラ、私ハ小橋君ノ演説、及其時ニ討論サレタル議論ハ再ビ爰ニ繰返ス。ト云フコトヲ避ケマス、避ケマスか、更ニ私ノ議論ニ確ムベキ順序ト致シマシテ、阿片ガ如何ニ取扱ヲシテ居ラレタカト云フコトノ事實ヲ、一應申上げナケレバナリマセヌ、御承知ノ通リ關東州ニ於ケル阿片ノ賣捌法ハ、支那人ニシテ阿片癒者ト稱スル、詰リ最早阿片中毒ニ罹リテ、阿片ヲ呪マナケレバ健康ヲ維持スルコトガ出來ナイマデニ達シテ居リマス癒者ニ對シテノミ、一定ノ量ヲ給與スル、一定ノ量ヲ賣捌クトニ云フノガ、關東州ニ於ケル阿片ノ賣捌方法アリマス、其賣捌ヲ致シマスル機関ト致シマシテ、宏濟善堂ト稱スル表向ハ支那人ノ名ニ依テ出來テ居リマス所ノ慈善團體、其内實ノ事務ヲ執リマスル者ハ總テ日本人アリマス、唯ダ支那人ノ名儀ニ依テ出來テ居ル團體アリマスガ、實際ノ事務ヲ取扱テ居ル者ノハ日本人、殊ニ其中ノ主トシテ賣捌クトニ云フ方法ヲシテ居リマスルハ、小畠貞二郎ト稱シマスル日本人アリマス、此者ニ取扱ヲサセマシテ、從來ハ百有餘人ノ小賣人ニ阿片ヲ少々、渡シマシテ、サウシテ阿片癒者ニ對シテ、一日一人一外乃至七夕ノ範囲ニ於テ、之ヲ賣捌クトニ云フ方法ニ專任致シテ居リマス、此時代ニ於キマジハ大シタ弊害ハ無カタ、小賣捌人ニ對シテ一定ノ量ヲ渡シ、小賣捌人ガ阿片癒者ニ限テ少量ノ阿片ヲ分配スルト云フコトニナ。テ居リマスノデスカラ、大シタ著シキ弊害ハ認メルコトガ出來ナカタノアリマスルガ、昨年ニ至リマシテ、阿片特賣人ト云フ制度ヲ新タニ設ケタノアリマス、其阿片特賣人ト云フ者ニ對シテハ數量ノ制限モ無イ、阿片局ニ於キマシテ、無制限ニ阿片賣捌ヲセシメルト云フコトノ取扱ヲサシタノアリマス、阿片特賣人ノ制度ヲ設ケタ云フコトコトガ、一ツノ種々ナル罪惡、不正ノ行ハレタ所ノ機關デアリマス、私ハ一體阿片ヲ阿片癒者ニ供給スルニ就キマシテ、小賣捌人ト云フモノガ百有餘人モ設ケテアルノアリマシテ、何等差支ナイ、況ヤ政府ノ方針ト云フモノ、及關東長官ガ聲明致シマシタ所ニ依リマスカラ、私ハ至極相當ナル聲明デアルト考ヘテ居ルニ拘ラズ、最近ニ至リマシテ——即チ大正

八年ニ至リマシテ、此小賣人ノ外ニ特賣人ト云フ制度ヲ設ケテ、之ニ對シテ無制限ニ阿片ヲ賣捌ク仕組ヲシタノガ、幾多此間ニ惡事ニ行ハレタ原因デアリマス、ソレハドウニ云フ方法ヲ賣捌ヲスルカト申シマスレバ、特賣人ニ對シテ、一定方法ヲ賣捌ヲスルカト申シマスレバ、特賣人ニ對シテ、一定ノ價格ヲ以テ三井カラ納付シタ所ノ波斯ノ阿片、或ハ西伯スカラ、私ハ小橋君ノ演説、及其時ニ討論サレタル議論ハ再ビ爰ニ繰返ス。ト云フコトヲ避ケマス、避ケマスか、更ニ私ノ議論ニ確ムベキ順序ト致シマシテ、阿片ガ如何ニ取扱ヲシテ居ラレタカト云フコトノ事實ヲ、一應申上げナケレバナリマセヌ、御承知ノ通リ關東州ニ於ケル阿片ノ賣捌法ハ、支那人ニシテ阿片癒者ト稱スル、詰リ最早阿片中毒ニ罹リテ、阿片ヲ呪マナケレバ健康ヲ維持スルコトガ出來ナイマデニ達シテ居リマス癒者ニ對シテノミ、一定ノ量ヲ給與スル、一定ノ量ヲ賣捌クトニ云フノガ、關東州ニ於ケル阿片ノ賣捌方法アリマス、其賣捌ヲ致シマスル機関ト致シマシテ、宏濟善堂ト稱スル表向ハ支那人ノ名ニ依テ出來テ居リマス所ノ慈善團體、其内實ノ事務ヲ執リマスル者ハ總テ日本人アリマス、唯ダ支那人ノ名儀ニ依テ出來テ居ル團體アリマスガ、實際ノ事務ヲ取扱テ居ル者ノハ日本人、殊ニ其中ノ主トシテ賣捌クトニ云フ方法ヲシテ居リマスルハ、小畠貞二郎ト稱シマスル日本人アリマス、此者ニ取扱ヲサセマシテ、從來ハ百有餘人ノ小賣人ニ阿片ヲ少々、渡シマシテ、サウシテ阿片癒者ニ對シテ、一日一人一外乃至七夕ノ範囲ニ於テ、之ヲ賣捌クトニ云フ方法ニ專任致シテ居リマス、此時代ニ於キマジハ大シタ弊害ハ無カタ、小賣捌人ニ對シテ一定ノ量ヲ渡シ、小賣捌人ガ阿片癒者ニ限テ少量ノ阿片ヲ分配スルト云フコトニナ。テ居リマスノデスカラ、大正八年十二月三十一日ニ、只今ノ小畠貞二郎ト申ス男ガ奉天ニ阿片ヲ渡ヲスルガ、其賣捌ヲシタ後ニ、其阿片ガ多々ハ密輸出サレテ居ルト云フ事實ガ在リマス、是ニ於テ其事實ヲ確ムベキ爰ニノ面白イ事實ガ在ルノアリマス、大正八年十二月三十一日ニ、只今ノ小畠貞二郎ト申ス男ガ奉天ニ阿片ヲ密輸出スル目的ヲ以テ、一箇ノ「トランク」ノ内ニ十數貫ノ阿片ヲ籠メテ、之ヲ密輸出ヲシヤウト試ミタノデアリマスルガ、御承知ノ通り大連ニハ海關及大連驛ニハ貨檢所ト云フ總テ輸出スル品物ヲ檢查スル場所ガゴザイマス、其所ニ於テ小畠貞二郎ガ申シマスニハ、此阿片ハ普蘭店ニ持ッテ行クモノアリカラ、檢查ノ必要ハ無イ、即チ中野民政署長ノ命ニ依テ、普蘭店ニ持テ行クノデアルト言ダ、普蘭店ハ御承知ノ通り關東州内アリマシテ、關東州内アリマスカラ、所ガ愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ——普蘭店ニ送於テ之ヲ檢查スル必要ハ無イ、又固ヨリ其持運ヲスル者ガ、小畠貞二郎ト云フ一ノ宏濟善堂ノ役員アリマスカラ、之ヲ認メマシテ、無検査ノ儘テ通過ヲサセタ云フ事實ガ在リマス、所ガ愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ——普蘭店ニ送ルト云フ名儀ヲ以テ持出シタ所ノ阿片ヲ、愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ、大和「ホテル」「ボーリー」ノ某ニ命ジテ、之ヲ奉天ニ送レト云フコトノ手續ヲ致シマシタ、サウシテ丁度其時ニ阿片ヲ奉天ニ送レト云フ手續ヲシ、而シテ其合鍵ヲ平岡定太郎ト云フ男ニ對シテ、小畠貞二郎ガ只今ノ「トランク」ノ合鍵ヲ渡シタノアリマス、所ガ之ヲ巡査が發見シタ、今ノ官ガ聲明致シマシタ所ニ依リマスカラ、斯ノ如キ阿片癒者ニ阿片ヲ渡スケレドモ、是ハ漸次減少セシメテ、終ニハ阿片癒者ニモ、阿片ヲ供給シナイヤウニスル目的デアルト云フコトヲ聲明サレタモノアリマスカラ、私ハ至極相當ナル聲明デアルト考ヘテ居ルニ拘ラズ、最近ニ至リマシテ——即チ大正

八年ニ至リマシテ、其詳細ナル事實ハ私ノ差出シマシタ所ノ質問書ニ悉シフ書イテアリマスカラ、煩ヲ避ケテ之ヲ申上げテ、之ニ對シテ無制限ニ阿片ヲ賣捌ク仕組ヲシタ所ノ波斯ノア片ヲ奉天ニ送レト云フ手續ヲシ、而シテ其合鍵ヲ平岡定太郎ニ渡シタノハ、是ハ密輸出デアルト云フコトヲ發見シテ、太郎ニ渡シタノハ、是ハ密輸出デアルト云フコトヲ發見シテ、價ニ對シ買入ノ原價ヲ以テ減ジ去リ得ル所ノ利益ヲ左ノ持テ順次賣買シ大正十年三月三十一日ニ至リ期ト爲ス、幸ニ要領ダケハ能ク判リマスカラ、一應朗讀致シマス「契約書是ガ分配サレテ居ルカト云フ内容ヲ説明シテ置キタイト思ヒマス」(謹聽)其契約ノ要點ヲ朗讀致シマスガ、勿論支那カラ日本人ノ梶井盛及國枝仁三郎ト云フ、此三人ノ間ニ日本人人某々等ト結託シテ密輸出。シテ、サウシテ莫大ナ利益ヲ得テ居ル、其利益ガ如何ニ分配サレテ居ルカト云フ事實ガ在リマスカラ、貨檢所及海關ニ拂下ゲタ物アリマス、特賣人ノ名儀ヲ以テ阿片ノ拂下ヲ受ケ、之ヲ輸出シテ居ルノアリマス、而シテ特賣人ガ、然ラバ其拂下ガ出來ル、是ガ一ノ證據デアルト考ヘマス、(拍手起ル)一體此密輸出シタ物ハ、勿論只今申上げマル特賣人ニ一旦拂下ゲタ物アリマス、特賣人ノ名儀ヲ拂下ヲシタ物ヲ、密輸出シテ居ルノアリマス、而シテ特賣人ガ、然ラバ其拂下ヲ多數密輸出ヲシタノデアルカト云フコトハ、想像スルコト也。此件ヲ採消シテ、阿片ヲ取戻シタ云フ一ノ事實ガ、此兩阿片ヲ賣捌ヲシタ後ニ、其阿片ガ多々ハ密輸出サレテ居ルト云フ事實ガ在リマス、是ニ於テ其事實ヲ確ムベキアリマス、是ハ偶ニ、此事件一ツガ露レタニ過ギナイ、其露レタニ阿片ヲ賣捌ヲシテ居ルカト申シマスルト、其特約人ハドウニ臨梅ニ契約サレテ居ルカト申シマスルト、其特約人ハ阿片局ヨリ、詰リ阿片總局ヨリ特約人ニ賣渡ストキニ、相當十價格ヲ賣ノ精神及明文ニ反クノミナラズ、日支關係ニ於テ實ニ憂フベキ現象デアルト考ヘル、其特約人ハドウニ「トランク」ノ内ニ十數貫ノ阿片ヲ籠メテ、之ヲ密輸出ヲシヤウト試ミタノデアリマスルガ、御承知ノ通り大連ニハ海關及大連驛ニハ貨檢所ト云フ總テ輸出スル品物ヲ檢查スル場所ガゴザイマス、其所ニ於テ小畠貞二郎ガ申シマスニハ、此阿片ハ普蘭店ニ持ッテ行クモノアリカラ、檢查ノ必要ハ無イ、即チ中野民政署長ノ命ニ依テ、普蘭店ニ持テ行クノデアルト言ダ、普蘭店ハ御承知ノ通り關東州内アリマシテ、關東州内アリマスカラ、所ガ愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ——普蘭店ニ送於テ之ヲ檢查スル必要ハ無イ、又固ヨリ其持運ヲスル者ガ、小畠貞二郎ト云フ一ノ宏濟善堂ノ役員アリマスカラ、之ヲ認メマシテ、無検査ノ儘テ通過ヲサセタ云フ事實ガ在リマス、所ガ愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ——普蘭店ニ送ルト云フ名儀ヲ以テ持出シタ所ノ阿片ヲ、愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ、大和「ホテル」「ボーリー」ノ某ニ命ジテ、之ヲ奉天ニ送レト云フコトノ手續ヲ致シマシタ、サウシテ丁度其時ニ阿片ヲ奉天ニ送レト云フ手續ヲシ、而シテ其合鍵ヲ平岡定太郎ト云フ男ニ對シテ、小畠貞二郎ガ只今ノ「トランク」ノ合鍵ヲ渡シタノアリマス、所ガ之ヲ巡査が發見シタ、今ノ官ガ聲明致シマシタ所ニ依リマスカラ、斯ノ如キ阿片癒者ニ阿片ヲ渡スケレドモ、是ハ漸次減少セシメテ、終ニハ阿片癒者ニモ、阿片ヲ供給シナイヤウニスル目的デアルト云フコトヲ聲明サレタモノアリマスカラ、私ハ至極相當ナル聲明デアルト考ヘテ居ルニ拘ラズ、最近ニ至リマシテ——即チ大正

八年ニ至リマシテ、其詳細ナル事實ハ私ノ差出シマシタ所ノ質問書ニ悉シフ書イテアリマスカラ、煩ヲ避ケテ之ヲ申上げテ、之ニ對シテ無制限ニ阿片ヲ賣捌ク仕組ヲシタ所ノ波斯ノア片ヲ奉天ニ送レト云フ手續ヲシ、而シテ其合鍵ヲ平岡定太郎ニ渡シタノハ、是ハ密輸出デアルト云フコトヲ發見シテ、太郎ニ渡シタノハ、是ハ密輸出デアルト云フコトヲ發見シテ、價ニ對シ買入ノ原價ヲ以テ減ジ去リ得ル所ノ利益ヲ左ノ持テ順次賣買シ大正十年三月三十一日ニ至リ期ト爲ス、幸ニ要領ダケハ能ク判リマスカラ、一應朗讀致シマス「契約書是ガ分配サレテ居ルカト云フ内容ヲ説明シテ置キタイト思ヒマス」(謹聽)其契約ノ要點ヲ朗讀致シマスガ、勿論支那カラ日本人ノ梶井盛及國枝仁三郎ト云フ、此三人ノ間ニ日本人人某々等ト結託シテ密輸出。シテ、サウシテ莫大ナ利益ヲ得テ居ル、其利益ガ如何ニ分配サレテ居ルカト云フ事實ガ在リマスカラ、貨檢所及海關ニ拂下ゲタ物アリマス、特賣人ノ名儀ヲ以テ阿片ノ拂下ヲ受ケ、之ヲ輸出シテ居ルノアリマス、而シテ特賣人ガ、然ラバ其拂下ヲ多數密輸出ヲシタノデアルカト云フコトハ、想像スルコト也。此件ヲ採消シテ、阿片ヲ取戻シタ云フ一ノ事實ガ、此兩阿片ヲ賣捌ヲシタ後ニ、其阿片ガ多々ハ密輸出サレテ居ルト云フ事實ガ在リマス、是ニ於テ其事實ヲ確ムベキアリマス、是ハ偶ニ、此事件一ツガ露レタニ過ギナイ、其露レタニ阿片ヲ賣捌ヲシテ居ルカト申シマスルト、其特約人ハドウニ臨梅ニ契約サレテ居ルカト申シマスルト、其特約人ハ阿片局ヨリ、詰リ阿片總局ヨリ特約人ニ賣渡ストキニ、相當十價格ヲ賣ノ精神及明文ニ反クノミナラズ、日支關係ニ於テ實ニ憂フベキ現象デアルト考ヘル、其特約人ハドウニ「トランク」ノ内ニ十數貫ノ阿片ヲ籠メテ、之ヲ密輸出ヲシヤウト試ミタノデアリマスルガ、御承知ノ通り大連ニハ海關及大連驛ニハ貨檢所ト云フ總テ輸出スル品物ヲ檢查スル場所ガゴザイマス、其所ニ於テ小畠貞二郎ガ申シマスニハ、此阿片ハ普蘭店ニ持ッテ行クモノアリカラ、檢查ノ必要ハ無イ、即チ中野民政署長ノ命ニ依テ、普蘭店ニ持テ行クノデアルト言ダ、普蘭店ハ御承知ノ通り關東州内アリマシテ、關東州内アリマスカラ、所ガ愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ——普蘭店ニ送於テ之ヲ檢查スル必要ハ無イ、又固ヨリ其持運ヲスル者ガ、小畠貞二郎ト云フ一ノ宏濟善堂ノ役員アリマスカラ、之ヲ認メマシテ、無検査ノ儘テ通過ヲサセタ云フ事實ガ在リマス、所ガ愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ——普蘭店ニ送ルト云フ名儀ヲ以テ持出シタ所ノ阿片ヲ、愈々汽車ノ發車スル前ニ方リマシテ、大和「ホテル」「ボーリー」ノ某ニ命ジテ、之ヲ奉天ニ送レト云フコトノ手續ヲ致シマシタ、サウシテ丁度其時ニ阿片ヲ奉天ニ送レト云フ手續ヲシ、而シテ其合鍵ヲ平岡定太郎ト云フ男ニ對シテ、小畠貞二郎ガ只今ノ「トランク」ノ合鍵ヲ渡シタノアリマス、所ガ之ヲ巡査が發見シタ、今ノ官ガ聲明致シマシタ所ニ依リマスカラ、斯ノ如キ阿片癒者ニ阿片ヲ渡スケレドモ、是ハ漸次減少セシメテ、終ニハ阿片癒者ニモ、阿片ヲ供給シナイヤウニスル目的デアルト云フコトヲ聲明サレタモノアリマスカラ、私ハ至極相當ナル聲明デアルト考ヘテ居ルニ拘ラズ、最近ニ至リマシテ——即チ大正

總利益三分ノ一ハ國枝仁三郎魏長徳二人ニ歸ス、各ノ一
半ヲ得ル(即チ三分ノ一)三以上ノ利益金並ニ未賄得ニ
シテ先づ票一万圓ヲ東京棍井盛ニ交ヘ、借用金ヲ作爲シ、
若シ生意得ザルトキハ尙ホ付還ヲ需ム其外色ニ收支決算
ノ時期等ガ書イテアリマスガ、是ハ大正九年九月十六日ニ
棍井盛國枝仁三郎、魏長徳ノ間ニ、阿片販賣ノ利益分
配ニ對スル契約書アリマス、此棍井盛ト云フ人ハドウ云
フ一體人物デアルカト云フコトヲ諸君ニ御紹介シテ置カナ
ケレバナリマセヌガ、棍井盛自身ガ關東州ニ言觸ラシテ居ル
所デハ、自分ハ原總理大臣ノ參謀デアル——原總理大臣ノ
參謀デアルト云フコトヲ自身ハ言觸ラシテ居リマス、併ナカ
テ私ハ棍井盛ガサウ云フ事ヲ言フコトヲ、悉ク信用ハ致シマ
セヌケレドモ、世間デハ此棍井盛ト云フ男ハ、古賀拓殖長
官ノ昵懇ノ人デ、古賀拓殖長官ノ紹介ニ依リテ、此契約ヲ
締結スルニ至タノデアルト云フコトヲ申シテ居リマス、(拍手
起ル)又國枝仁三郎ト云フ人ハ、大連ニ於ケル殆ど公然ノ
祕密トデモ言ハレテ居ル關係ヲ申上げマスレバ、民政廳ノ
中野有光ト云フ人ノ利益ヲ代表シテ、此契約ニ從事シテ
居ルノデアルト云フコトニアリマス、(拍手起ル)此契約ハ特
賣人ノ或ル一人、即チ魏長徳ニ對スル契約デアリマスケレ
ドモ、特賣人ハ五十三名居ル、五十三名居リマシテ、各
斯ノ如キ契約が結バレマシテ、盛ニ密賣ヲ致シテ其利益ノ
少ナクトモ三分ノ一餘——此契約ノ趣旨カラ申シマスト、三
分ノ二ドコロデアリマセヌ、五分ノ四半ト云フモノニナリマス
ガ、少クトモ此棍井ト云フ人ノ收得致シマスル——利益金
ノ三分ノ二ト云フモノハ棍井ガ收得致シマシテ、之ヲ屢々内
地ニ輸送サレ、或ハ棍井自身ガ持來タト云フヤウナコト
ハ、今日デハ裁判所ニ於テ公ケノ事實トナッテ居ルデアラウ
ト考ヘマスガ、私ノ調査シテ居ル所ノ實績ニ依リマシテモ其
事實ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、斯様ニ特賣人ト日本
人トノ間ニ特約ヲ結ンデ盛ニ密賣ヲシ、盛ニ賣弘ヲスルト
云フヤウナ事柄が現レテ居ルト云フノガ一ツノ事實デアリマ
スカラ、大連ノ阿片販賣ニ就テハ、所謂内外ヨリ疑惑ヲ以
テ蔽ハレテ居ルト云フノガ今日ノ事實デアル(拍手起ル)此
點ニ就キマシテハ、私ハ政府ノ答辯ガシ易イヤウニ、私ノ質
問書ニ悉ク事實ヲ擧ゲテ質問ヲシテ居タニ拘ラズ、本日原
總理大臣ノ答辯書ニ依リテ見マスレバ、斯様ニ特賣ノ制
度ト云フモノヲ認ケタコトハ無イ、ト云フ答辯ヲシテ居ル
ノデアリマス、是ハ實ニ怪シカラヌ話デ、今日大連ノ
阿片特賣人、阿片小賣人ト云フ此二ツノ制度ガ設
ケラレテ居ルノハ、顯著ノ事實デアルテ、何人モ争フコ
トノ出來ヌ事柄デアリマスノニ、原總理大臣ガ本日ノ

答辯ニ依リマスレバ、指定小賣人ノ外特賣人ヲ設ケタル
事實ナシト云フコトヲ以テ、此私ノ質問ヲ根柢ヨリ否認シ
テ先づ票一万圓ヲ東京棍井盛ニ交ヘ、借用金ヲ作爲シ、
若シ生意得ザルトキハ尙ホ付還ヲ需ム其外色ニ收支決算
ノ時期等ガ書イテアリマスガ、是ハ大正九年九月十六日ニ
棍井盛國枝仁三郎、魏長徳ノ間ニ、阿片販賣ノ利益分
配ニ對スル契約書アリマス、此棍井盛ト云フ人ハドウ云
フ一體人物デアルカト云フコトヲ諸君ニ御紹介シテ置カナ
ケレバナリマセヌガ、棍井盛自身ガ關東州ニ言觸ラシテ居ル
所デハ、自分ハ原總理大臣ノ參謀デアル——原總理大臣ノ
參謀デアルト云フコトヲ自身ハ言觸ラシテ居リマス、併ナカ
テ私ハ棍井盛ガサウ云フ事ヲ言フコトヲ、悉ク信用ハ致シマ
セヌケレドモ、世間デハ此棍井盛ト云フ男ハ、古賀拓殖長
官ノ昵懇ノ人デ、古賀拓殖長官ノ紹介ニ依リテ、此契約ヲ
締結スルニ至タノデアルト云フコトヲ申シテ居リマス、(拍手
起ル)又國枝仁三郎ト云フ人ハ、大連ニ於ケル殆ど公然ノ
祕密トデモ言ハレテ居ル關係ヲ申上げマスレバ、民政廳ノ
中野有光ト云フ人ノ利益ヲ代表シテ、此契約ニ從事シテ
居ルノデアルト云フコトニアリマス、(拍手起ル)此契約ハ特
賣人ノ或ル一人、即チ魏長徳ニ對スル契約デアリマスケレ
ドモ、特賣人ハ五十三名居ル、五十三名居リマシテ、各
斯ノ如キ契約が結バレマシテ、盛ニ密賣ヲ致シテ其利益ノ
少ナクトモ三分ノ一餘——此契約ノ趣旨カラ申シマスト、三
分ノ二ドコロデアリマセヌ、五分ノ四半ト云フモノニナリマス
ガ、少クトモ此棍井ト云フ人ノ收得致シマスル——利益金
ノ三分ノ二ト云フモノハ棍井ガ收得致シマシテ、之ヲ屢々内
地ニ輸送サレ、或ハ棍井自身ガ持來タト云フヤウナコト
ハ、今日デハ裁判所ニ於テ公ケノ事實トナッテ居ルデアラウ
ト考ヘマスガ、私ノ調査シテ居ル所ノ實績ニ依リマシテモ其
事實ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、斯様ニ特賣人ト日本
人トノ間ニ特約ヲ結ンデ盛ニ密賣ヲシ、盛ニ賣弘ヲスルト
云フヤウナ事柄が現レテ居ルト云フノガ一ツノ事實デアリマ
スカラ、大連ノ阿片販賣ニ就テハ、所謂内外ヨリ疑惑ヲ以
テ蔽ハレテ居ルト云フノガ今日ノ事實デアル(拍手起ル)此
點ニ就キマシテハ、私ハ政府ノ答辯ガシ易イヤウニ、私ノ質
問書ニ悉ク事實ヲ擧ゲテ質問ヲシテ居タニ拘ラズ、本日原
總理大臣ノ答辯書ニ依リテ見マスレバ、斯様ニ特賣ノ制
度ト云フモノヲ認ケタコトハ無イ、ト云フ答辯ヲシテ居ル
ノデアリマス、是ハ實ニ怪シカラヌ話デ、今日大連ノ
阿片特賣人、阿片小賣人ト云フ此二ツノ制度ガ設
ケラレテ居ルノハ、顯著ノ事實デアルテ、何人モ争フコ
トノ出來ヌ事柄デアリマスノニ、原總理大臣ガ本日ノ

答辯ニ依リマスレバ、指定小賣人ノ外特賣人ヲ設ケタル
事實ナシト云フコトヲ以テ、此私ノ質問ヲ根柢ヨリ否認シ
テ先づ票一万圓ヲ東京棍井盛ニ交ヘ、借用金ヲ作爲シ、
若シ生意得ザルトキハ尙ホ付還ヲ需ム其外色ニ收支決算
ノ時期等ガ書イテアリマスガ、是ハ大正九年九月十六日ニ
棍井盛國枝仁三郎、魏長徳ノ間ニ、阿片販賣ノ利益分
配ニ對スル契約書アリマス、此棍井盛ト云フ人ハドウ云
フ一體人物デアルカト云フコトヲ諸君ニ御紹介シテ置カナ
ケレバナリマセヌガ、棍井盛自身ガ關東州ニ言觸ラシテ居ル
所デハ、自分ハ原總理大臣ノ參謀デアル——原總理大臣ノ
參謀デアルト云フコトヲ自身ハ言觸ラシテ居リマス、併ナカ
テ私ハ棍井盛ガサウ云フ事ヲ言フコトヲ、悉ク信用ハ致シマ
セヌケレドモ、世間デハ此棍井盛ト云フ男ハ、古賀拓殖長
官ノ昵懇ノ人デ、古賀拓殖長官ノ紹介ニ依リテ、此契約ヲ
締結スルニ至タノデアルト云フコトヲ申シテ居リマス、(拍手
起ル)又國枝仁三郎ト云フ人ハ、大連ニ於ケル殆ど公然ノ
祕密トデモ言ハレテ居ル關係ヲ申上げマスレバ、民政廳ノ
中野有光ト云フ人ノ利益ヲ代表シテ、此契約ニ從事シテ
居ルノデアルト云フコトニアリマス、(拍手起ル)此契約ハ特
賣人ノ或ル一人、即チ魏長徳ニ對スル契約デアリマスケレ
ドモ、特賣人ハ五十三名居ル、五十三名居リマシテ、各
斯ノ如キ契約が結バレマシテ、盛ニ密賣ヲ致シテ其利益ノ
少ナクトモ三分ノ一餘——此契約ノ趣旨カラ申シマスト、三
分ノ二ドコロデアリマセヌ、五分ノ四半ト云フモノニナリマス
ガ、少クトモ此棍井ト云フ人ノ收得致シマスル——利益金
ノ三分ノ二ト云フモノハ棍井ガ收得致シマシテ、之ヲ屢々内
地ニ輸送サレ、或ハ棍井自身ガ持來タト云フヤウナコト
ハ、今日デハ裁判所ニ於テ公ケノ事實トナッテ居ルデアラウ
ト考ヘマスガ、私ノ調査シテ居ル所ノ實績ニ依リマシテモ其
事實ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、斯様ニ特賣人ト日本
人トノ間ニ特約ヲ結ンデ盛ニ密賣ヲシ、盛ニ賣弘ヲスルト
云フヤウナ事柄が現レテ居ルト云フノガ一ツノ事實デアリマ
スカラ、大連ノ阿片販賣ニ就テハ、所謂内外ヨリ疑惑ヲ以
テ蔽ハレテ居ルト云フノガ今日ノ事實デアル(拍手起ル)此
點ニ就キマシテハ、私ハ政府ノ答辯ガシ易イヤウニ、私ノ質
問書ニ悉ク事實ヲ擧ゲテ質問ヲシテ居タニ拘ラズ、本日原
總理大臣ノ答辯書ニ依リテ見マスレバ、斯様ニ特賣ノ制
度ト云フモノヲ認ケタコトハ無イ、ト云フ答辯ヲシテ居ル
ノデアリマス、是ハ實ニ怪シカラヌ話デ、今日大連ノ
阿片特賣人、阿片小賣人ト云フ此二ツノ制度ガ設
ケラレテ居ルノハ、顯著ノ事實デアルテ、何人モ争フコ
トノ出來ヌ事柄デアリマスノニ、原總理大臣ガ本日ノ

ホ其後各種ノ方面カラ調べテ見マスルノニ、明カニ二回ニ
燒棄テマシタ量ガ六十貫ト云フコトデアル、サウ致シマスルト
十貫ハ現存サレテ居リ、六十貫ハ大正八年ノ秋ト、大正九
五年ノ春トノ二回ニ燒棄シタト云フノニアリマスカラ、前後合
シテ百十貫ト云フモノガ茲ニ始末が分ニテ居リマスガ、跡ノ
二千四百貫ト云フモノハ一體ドウナツテ居ルカ、政府ノ本
日ノ答辯ニ依リマスレバソレハ、宏濟善堂ニ拂下ヲシタト
云フ答辯デアル、本日ノ政府ノ答辯ニ依リマスレバ、密輸
入沒收品ハ、全部宏濟善堂ニ拂下ヲシタト云フコトヲ答
辯ヲシテ居リマス、是ガ亦甚ダ信用スルコトガ出來ナイ、全
部サウシテ居ルノデナイ、此内燒棄シタ物ト現存シテ居ル物
ガアルノデアリマスガ、之ヲ免ニ角政府ハ賣却シタモノニア
ル、拂下ヲシタモノデアルト云フ答辯ニナツテ居リマフ、爾カ
致シマスレバ、今日迄ノ沒收品ノ價格ハドレ位アルカト申
シマスルト、十匁ニ對シテ競賣價格ノ平均ガ約七圓デアリ
マスカラ、一千貫ニ對シテ七十萬圓、二千貫ニ對シテ百四
十万圓ト云フ此沒收品ダケノ代金ガナケレバナラヌ筈デア
ル、然ルニ一面大正八年度ニ於キマスル關東廳ノ雜收入
ガ、僅ニ五万四千圓ト云フ計上ニナツテ居ル、御承知ノ通り
拂下ヲ致シテ所謂波斯品ヲ——當前ニ輸入致シマシタル
波斯品ヲ拂下ダマスノハ、特別會計ニナツテ居リマシテ、關
東廳ノ相當ノ收入ニナツテ居リマスルカ、此密輸入品ハ關
東廳ノ雜收入ニナリマシテ、サウシテ是ガ地方ノ衛生、若クハ
上下ノ水道ノ改良費ナドニ補助ヲシテ居ルト云フコトデア
リマスンレガ大正八年度ノ關東廳ノ雜收入ハ僅ニ五万
四千圓デアル、然ルニ只今申シマスル沒收サレタ密輸入品
ヲ概算致シマシテモ、百四十萬圓ト云フモノガ免ニ角雜收
入ニナケレバナラヌ筈デアル、金高ノ如キハ或ハ相場ガ違ヒ
マスカラ、上ダリ下ダリ致シマシテ多少ハ違ヒマセウケレド
モ、概シテ百万圓以上ト云フモノハ、大正八年度ニ於ケル
處分ヲ致シマシタ時ノ收入ニナケレバナラナイノニ、僅ニ五
万四千圓ト云フコトニナツテ居ル、是ナドニ對シマシテモ、政
府ハ唯ダ數字ヲ示サズニ、其密輸入品ト云フモノハ宏濟善
堂ニ拂下ヲシテ居ルト云フノデアッテ、數字ヲ示シテ居リマ
スカラ、私ノ質問ニ對スル答辯ニナツテ居リマセ、免ニ角モ
斯様ニ密輸入品ニ就キマシテモ、或ハ曖昧ガアルシ、又賣
捌方法ニ就キマシテモ、前申シマスヤウニ關東州以外ニ密
輸出ヲシタラウト云フ、疑ヲ持ツベキ狀態ニナツテ居ルノデア
リマス、是ハ既ニ冒頭ニモ擧ゲマシタ如ク、國際關係ノ信義
ニ於キマシテモ、容易ナラヌ問題ト考ヘマスノニアリマスカ
ラ、政府ノ如キハ、或ハ關東廳長官ガ言ハレルヤウニ、ソレハ
一二ノ不心得ノ役人、或ハ請負人ニ不都合ナ事ガアルカ

ト言シテ居ラレマスケレドモ、此事實ヲ何故詳細ニ答辯シナ
イノデアルカ、茫漠トシテ捕捉スルコトガ出來ナイヤウナ答
辯ヲ與ヘラレタガ、私ハ出來ルダケ事實ニ基イテ、質問ニハ
云フ答辯デアル、本日ノ政府ノ答辯ニ依リマスレバ、密輸
入沒收品ハ、全部宏濟善堂ニ拂下ヲシタト云フコトヲ答
辯ヲシテ居リマス、是ガ亦甚ダ信用スルコトガ出來ナイ、全
部サウシテ居ルノデナイ、此内燒棄シタ物ト現存シテ居ル物
ガアルノデアリマスガ、之ヲ免ニ角政府ハ賣却シタモノニア
ル、拂下ヲシタモノデアルト云フ答辯ニナツテ居リマフ、爾カ
致シマスレバ、今日迄ノ沒收品ノ價格ハドレ位アルカト申
シマスルト、十匁ニ對シテ競賣價格ノ平均ガ約七圓デアリ
マスカラ、一千貫ニ對シテ七十萬圓、二千貫ニ對シテ百四
十万圓ト云フ此沒收品ダケノ代金ガナケレバナラヌ筈デア
ル、然ルニ一面大正八年度ニ於キマスル關東廳ノ雜收入
ガ、僅ニ五万四千圓ト云フ計上ニナツテ居ル、御承知ノ通り
拂下ヲ致シテ所謂波斯品ヲ——當前ニ輸入致シマシタル
波斯品ヲ拂下ダマスノハ、特別會計ニナツテ居リマシテ、關
東廳ノ相當ノ收入ニナツテ居リマスルカ、此密輸入品ハ關
東廳ノ雜收入ニナリマシテ、サウシテ是ガ地方ノ衛生、若クハ
上下ノ水道ノ改良費ナドニ補助ヲシテ居ルト云フコトデア
リマスンレガ大正八年度ノ關東廳ノ雜收入ハ僅ニ五万
四千圓デアル、然ルニ只今申シマスル沒收サレタ密輸入品
ヲ概算致シマシテモ、百四十萬圓ト云フモノガ免ニ角雜收
入ニナケレバナラヌ筈デアル、金高ノ如キハ或ハ相場ガ違ヒ
マスカラ、上ダリ下ダリ致シマシテ多少ハ違ヒマセウケレド
モ、概シテ百万圓以上ト云フモノハ、大正八年度ニ於ケル
處分ヲ致シマシタ時ノ收入ニナケレバナラナイノニ、僅ニ五
万四千圓ト云フコトニナツテ居ル、是ナドニ對シマシテモ、政
府ハ唯ダ數字ヲ示サズニ、其密輸入品ト云フモノハ宏濟善
堂ニ拂下ヲシテ居ルト云フノデアッテ、數字ヲ示シテ居リマ
スカラ、私ノ質問ニ對スル答辯ニナツテ居リマセ、免ニ角モ
斯様ニ密輸入品ニ就キマシテモ、或ハ曖昧ガアルシ、又賣
捌方法ニ就キマシテモ、前申シマスヤウニ關東州以外ニ密
輸出ヲシタラウト云フ、疑ヲ持ツベキ狀態ニナツテ居ルノデア
リマス、是ハ既ニ冒頭ニモ擧ゲマシタ如ク、國際關係ノ信義
ニ於キマシテモ、容易ナラヌ問題ト考ヘマスノニアリマスカ
ラ、政府ノ如キハ、或ハ關東廳長官ガ言ハレルヤウニ、ソレハ
一二ノ不心得ノ役人、或ハ請負人ニ不都合ナ事ガアルカ

ト言シテ居ラレマスケレドモ、此事實ヲ何故詳細ニ答辯シナ
イノデアルカ、茫漠トシテ捕捉スルコトガ出來ナイヤウナ答
辯ヲ與ヘラレタガ、私ハ出來ルダケ事實ニ基イテ、質問ニハ
委シク事實ヲ列舉シテ居ルニ拘ラズ、答辯ハ事實ニ基カザ
ル茫漠トシタ答辯ヲシテ居ラレルノハ、益々世間ノ疑惑ヲ増
ス本ニナルト考ヘマスソレデアリマスカラ、政府ガ是レ以上
答辯スルコトガ、出來マセヌケレバ已ムヲ得マセヌ、出來ルナ
ラバ復夕他ノ機會ニ於テ、政府タルモノハ只今ノ特賣人ノ
關係ナドニ就キマシテ、モット事實ヲ明瞭ニ、且ツ正面ニ答
辯ヲシテ、吾ミヲシテ満足セシメ、及内外ノ信用ヲ維持サレ
ンコトヲ希望スルノデアリマス、如何ニモ今日ノ答辯ヲ以テ、
益々吾ミハ疑惑ヲ増スト云フコトヲ遺憾トシテ、此大體ノ意
見ヲ申上ダテ此演壇ヲ降リマス(拍手起ル)。

○議長(奥繁三郎君) 杉山政府委員

(政府委員杉山四五郎君登壇)

○政府委員(杉山四五郎君) 只今本田君ヨリ、阿片ノ
販賣取締ニ關スル政府ノ答辯書ニ對シマシテ、尙ホ重ねテ
御疑點ノアラセラレル點ヲ御質問ガアリマシタ、私御断リ
致シマスルガ、貴族院ノ豫算總會ニ參テ居リマシタ爲メニ、
本田君ノ御質問ノ全部ヲ寸伺ヒ兼ネマシタ、私が伺ヒマシ
タ點ダケニ就テ、順序ヲ逐次御答ヘ申シマス、本田君ヨリ、
平岡定太郎ナル者ガ阿片ヲ大和「ホテル」カラ取出シテ、之
ニ關シテ小島貞二郎ナル者ガ云々、所謂本田君ハ、事實ト
シテ仰シヤル所ノモヲ提ダテノ御質問デアリマシタガ、是ハ
先程政府カラ出シマシタル答辯書ニ書イテアリマス通り、小
畠貞二郎ナル者ハ、刑事被告事件ニ依リマシテ目下豫審
中デアリマス、故ニ遺憾ナガラ同件ニ關スル事實ハ爰ニ申
上げ兼ネマス、ソレカラ特賣人ノ三人ノ間ニ於テ、契約ガア
リダト云フコトノ書案ヲ御讀ニナツテ、其事實アリヤ否ヤ、是
モ本日ノ答辯書ニ答ヘマシタル通り、政府ニ於テハ其事實
ハ存ジマセヌ、「ノウー」(ト呼フ者アリ)併シ一言申上ダテ
置カケレバナリマセヌ事ハ、梶井某ナル者ハ、現内閣總理大
臣ノ參謀トカ何トカ云フヤウナ御言葉ガゴザイマシタガ、是
ハ其梶井某ナル者ガ、自ラ稱シテ參謀ト言ダカソレハ知リ
マセヌガ、何等現内閣總理大臣ニ、梶井某ナル者ハ關係ヲ
有スル者デナイト云フコトヲ爰ニ言明致シマス(「ノウー」
「其通り」ト呼フ者アリ)ソレカラ其次ニ特賣人、是ハ丁度
爰ニ明カニスルノ機會ヲ得マシタガ、小賣人ト云フ者ハ、公
ニ認メテアル所ノ名前デアリマス、特賣人ト云フノハ、憲政
會内閣——大正四年ノ頃カラサウ云フ名稱ハアルノデス
特賣人ト云フノハ、公ニ認メテアル所ノ小賣人ノ中デ、比

較的ニ大キナ商ヲシテ居ル所ノ者デス、阿片ノ賣下ノ販賣
ヲ手廣クヤツテ居ル者ヲ、坊間名ヅケテ之ヲ過稱シテ特賣人
ト言シテ居ル、是ハ公ノ名前デアリマセヌ、關東長官ガ只
一ノ眼ヲ以テ見マシテ居ラレルヤウデアリマスカ、(勿論)
呼フ者アリ)ゾレハ過日來決議案ノ際ニ於テ關東長官ノ言
明セラルル通り、既ニ「犯罪人ガ出テ居ルデハナイカ」ト呼
フ者アリ)刑事々件ガ發生シテ居リマスカラ、其進行如何ニ
依テ諸君ニ明白白々ニナル機會ガアリマスカラ、十分ニ御
了承アランコトヲ希望致シマス

○議長(奥繁三郎君) 南滿洲鐵道株式會社ニ關スル質問

(橋本喜造君登壇、拍手起ル)

○橋本喜造君 諸君滿鐵會社ノ商行為ニ對スル質問ニ
對シマシテ、原總理大臣ヨリ只今答辯書ガ出タノニアリマ
ス、此答辯書ヲ一覽致シマスレバ、何等本員ノ質問ニ對ス
テ居リマスル南滿鐵道株式會社ノ商行為ニ對シマシテ、貴

衆兩院ニ於テハ、幾度カ質問應答ヲ繰返サレテ居ルノアリマス、併ナガラ政府當局ハ之ニ對シテ、何等ノ根據アル答辯ヲ爲シ得ザルノミナラズ、徒ラニ諭辯ヲ弄シテ益、疑惑ヲ深カラシムルノアリ。斯く(拍手起ル)故ニ遺憾ナカラ再び此問題ニ向シテ質問ヲ致シマス、甚ダ御氣ノ毒デハアリマス、ガ、今日ハ杉山政府委員ノ御答辯ヲ御断り致シマシテ、原總理大臣ノ責任アル答辯ヲ御願スル次第デアリマス。(拍手二杉山ナド役ニ立タヌト呼フ者アリ)昨年ノ一月初メ満鐵ノ副社長兼運輸部長タル所ノ中西清一君ハ、其貧タル大連汽船會社ヲシテ六千五百噸級ノ船舶ヲ三菱造船所ニ注文スルノ好マヌケアリマス、又運輸部ノ次長タル大藏公望君ノ如キハ、故ラニ三菱說主張セラレタ前ヨリ注文カ嵩シデ居リマスガ爲メニ、之ヲ拒絶シタノアリル併ナガラ満鐵ニ於キマシテハ、三菱ヲ除クノ外、他ノ造船所ニ於テ新造スルノ好マヌケアリマス、又運輸部ノ次長タル大藏公望君ノ如キハ、故ラニ三菱說主張セラレタノデアリマス、僕伴ニモ田中末雄ナル者ガ三菱ニ對シテ、六千五百噸級ノ船舶ヲ注文シテ居タコトガ判ジタノアリマス、滿鐵ハ之ニ對シテ其讓渡方ヲ交渉致シマシテ、田中末雄ハ其當時二百八十圓デ、三菱ノ注文シテ居ラノアリマス、故ニ三百二十五圓ト云フ價格ヲ以テ御買入ヲ願ヘルナラバ、讓渡シテモ差支ナイトシテ契約ハ締結サレタノアリマス、然ルニ突如トシテ昨年ノ四月二十一日ニ至シテ、此契約ハ全ク破棄セラレタノアリマス、而シテ滿鐵ハ内田信也ニ向シテ、八千五百噸ノ船舶ヲ三百二十五圓替デ買收ノ契約ヲ致シテ居リマス、サウシテ田中末雄ニ對シテハ解約金ト致シテ三十萬圓ト云フ現金ガ渡セラテ居ル、此三十萬圓ノ現金ナルモノハ、滿鐵が御出しニナフテ居ルノアリカ、或ハ内田信也ガ出シタノアリカ、何レ近キ將來ニ於キマシテ司法官憲ノ手御調ニナシテ、結果ハ明カニナルト本員ハ信ズルノアリマス、而シテ此田中末雄ニ對スル契約ノ解除ガ洵ニ面白イ、此満鐵ハ自ラ田中末雄ト契約シテ置キナガラ、之ヲ解除スルニ方々内田信也ヲシテ爲サシメテ居リマス、内田信也ハ如何ニ厚顏無耻ナリト雖モ、良心ノ呵責ニ堪ヘズシテ、窓ニ神戸ニ於ケル所ノ三上合資會社ノ支配人雜賀繁松ナル者ヲシテ、其衝ニ當ラシメタノアリマス、雜賀繁松ハ自己ノ手數料ト致シマシテ一二万某ヲ控参ラズ、仕方ナク其解約ニ應ジタノアリマス、併ナガラ今日ニ至リマスレバ、船價が暴落致シマシテ、其解約セラレタル船舶一艘ニ付テ、百万圓以上ノ損失ヲ來スノアリマス、

サレバトテ三菱ニ泣付テモ、三菱ハ其解約ヲ承知シテ吳鐵ヲ爲シ得ザルノミナラズ、徒ラニ諭辯ヲ弄シテ益、疑惑ヲ深カラシムルノアリ。斯く(拍手起ル)故ニ遺憾ナカラ再び此問題ニ向シテ質問ヲ致シマス、甚ダ御氣ノ毒デハアリマス、ガ、今日ハ杉山政府委員ノ御答辯ヲ御断り致シマシテ、原總理大臣ノ責任アル答辯ヲ御願スル次第デアリマス。(拍手二杉山ナド役ニ立タヌト呼フ者アリ)昨年ノ一月初メ満鐵ノ副社長兼運輸部長タル所ノ中西清一君ハ、其貧タル大連汽船會社ヲシテ六千五百噸級ノ船舶ヲ三菱造船所ニ注文スルノ好マヌケアリマス、又運輸部ノ次長タル大藏公望君ノ如キハ、故ラニ三菱說主張セラレタノデアリマス、僕伴ニモ田中末雄ナル者ガ三菱ニ對シテ、六千五百噸級ノ船舶ヲ注文シテ居タコトガ判ジタノアリマス、滿鐵ハ之ニ對シテ其讓渡方ヲ交渉致シマシテ、田中末雄ハ其當時二百八十圓デ、三菱ノ注文シテ居ラノアリマス、故ニ三百二十五圓ト云フ價格ヲ以テ御買入ヲ願ヘルナラバ、讓渡シテモ差支ナイトシテ契約ハ締結サレタノアリマス、然ルニ突如トシテ昨年ノ四月二十一日ニ至シテ、此契約ハ全ク破棄セラレタノアリマス、而シテ滿鐵ハ内田信也ニ向シテ、八千五百噸ノ船舶ヲ三百二十五圓替デ買收ノ契約ヲ致シテ居リマス、サウシテ田中末雄ニ對シテハ解約金ト致シテ三十萬圓ト云フ現金ガ渡セラテ居ル、此三十萬圓ノ現金ナルモノハ、滿鐵が御出しニナフテ居ルノアリカ、或ハ内田信也ガ出シタノアリカ、何レ近キ將來ニ於キマシテ司法官憲ノ手御調ニナシテ、結果ハ明カニナルト本員ハ信ズルノアリマス、而シテ此田中末雄ニ對スル契約ノ解除ガ洵ニ面白イ、此満鐵ハ自ラ田中末雄ト契約シテ置キナガラ、之ヲ解除スルニ方々内田信也ヲシテ爲サシメテ居リマス、内田信也ハ如何ニ厚顏無耻ナリト雖モ、良心ノ呵責ニ堪ヘズシテ、窓ニ神戸ニ於ケル所ノ三上合資會社ノ支配人雜賀繁松ナル者ヲシテ、其衝ニ當ラシメタノアリマス、雜賀繁松ハ自己ノ手數料ト致シマシテ一二万某ヲ控参ラズ、仕方ナク其解約ニ應ジタノアリマス、併ナガラ今日ニ至リマスレバ、船價が暴落致シマシテ、其解約セラレタル船舶一艘ニ付テ、百万圓以上ノ損失ヲ來スノアリマス、

サレバトテ三菱ニ泣付テモ、三菱ハ其解約ヲ承知シテ吳鐵ヲ爲シ得ザルノミナラズ、徒ラニ諭辯ヲ弄シテ益、疑惑ヲ深カラシムルノアリ。斯く(拍手起ル)故ニ遺憾ナカラ再び此問題ニ向シテ質問ヲ致シマス、甚ダ御氣ノ毒デハアリマス、ガ、今日ハ杉山政府委員ノ御答辯ヲ御断り致シマシテ、原總理大臣ノ責任アル答辯ヲ御願スル次第デアリマス。(拍手二杉山ナド役ニ立タヌト呼フ者アリ)昨年ノ一月初メ満鐵ノ副社長兼運輸部長タル所ノ中西清一君ハ、其貧タル大連汽船會社ヲシテ六千五百噸級ノ船舶ヲ三菱造船所ニ注文スルノ好マヌケアリマス、又運輸部ノ次長タル大藏公望君ノ如キハ、故ラニ三菱說主張セラレタノデアリマス、僕伴ニモ田中末雄ナル者ガ三菱ニ對シテ、六千五百噸級ノ船舶ヲ注文シテ居タコトガ判ジタノアリマス、滿鐵ハ之ニ對シテ其讓渡方ヲ交渉致シマシテ、田中末雄ハ其當時二百八十圓デ、三菱ノ注文シテ居ラノアリマス、故ニ三百二十五圓ト云フ價格ヲ以テ御買入ヲ願ヘルナラバ、讓渡シテモ差支ナイトシテ契約ハ締結サレタノアリマス、然ルニ突如トシテ昨年ノ四月二十一日ニ至シテ、此契約ハ全ク破棄セラレタノアリマス、而シテ滿鐵ハ内田信也ニ向シテ、八千五百噸ノ船舶ヲ三百二十五圓替デ買收ノ契約ヲ致シテ居リマス、サウシテ田中末雄ニ對シテハ解約金ト致シテ三十萬圓ト云フ現金ガ渡セラテ居ル、此三十萬圓ノ現金ナルモノハ、滿鐵が御出しニナフテ居ルノアリカ、或ハ内田信也ガ出シタノアリカ、何レ近キ將來ニ於キマシテ司法官憲ノ手御調ニナシテ、結果ハ明カニナルト本員ハ信ズルノアリマス、而シテ此田中末雄ニ對スル契約ノ解除ガ洵ニ面白イ、此満鐵ハ自ラ田中末雄ト契約シテ置キナガラ、之ヲ解除スルニ方々内田信也ヲシテ爲サシメテ居リマス、内田信也ハ如何ニ厚顏無耻ナリト雖モ、良心ノ呵責ニ堪ヘズシテ、窓ニ神戸ニ於ケル所ノ三上合資會社ノ支配人雜賀繁松ナル者ヲシテ、其衝ニ當ラシメタノアリマス、雜賀繁松ハ自己ノ手數料ト致シマシテ一二万某ヲ控参ラズ、仕方ナク其解約ニ應ジタノアリマス、併ナガラ今日ニ至リマスレバ、船價が暴落致シマシテ、其解約セラレタル船舶一艘ニ付テ、百万圓以上ノ損失ヲ來スノアリマス、

サレバトテ三菱ニ泣付テモ、三菱ハ其解約ヲ承知シテ吳鐵ヲ爲シ得ザルノミナラズ、徒ラニ諭辯ヲ弄シテ益、疑惑ヲ深カラシムルノアリ。斯く(拍手起ル)故ニ遺憾ナカラ再び此問題ニ向シテ質問ヲ致シマス、甚ダ御氣ノ毒デハアリマス、ガ、今日ハ杉山政府委員ノ御答辯ヲ御断り致シマシテ、原總理大臣ノ責任アル答辯ヲ御願スル次第デアリマス。(拍手二杉山ナド役ニ立タヌト呼フ者アリ)昨年ノ一月初メ満鐵ノ副社長兼運輸部長タル所ノ中西清一君ハ、其貧タル大連汽船會社ヲシテ六千五百噸級ノ船舶ヲ三菱造船所ニ注文スルノ好マヌケアリマス、又運輸部ノ次長タル大藏公望君ノ如キハ、故ラニ三菱說主張セラレタノデアリマス、僕伴ニモ田中末雄ナル者ガ三菱ニ對シテ、六千五百噸級ノ船舶ヲ注文シテ居タコトガ判ジタノアリマス、滿鐵ハ之ニ對シテ其讓渡方ヲ交渉致シマシテ、田中末雄ハ其當時二百八十圓デ、三菱ノ注文シテ居ラノアリマス、故ニ三百二十五圓ト云フ價格ヲ以テ御買入ヲ願ヘルナラバ、讓渡シテモ差支ナイトシテ契約ハ締結サレタノアリマス、然ルニ突如トシテ昨年ノ四月二十一日ニ至シテ、此契約ハ全ク破棄セラレタノアリマス、而シテ滿鐵ハ内田信也ニ向シテ、八千五百噸ノ船舶ヲ三百二十五圓替デ買收ノ契約ヲ致シテ居リマス、サウシテ田中末雄ニ對シテハ解約金ト致シテ三十萬圓ト云フ現金ガ渡セラテ居ル、此三十萬圓ノ現金ナルモノハ、滿鐵が御出しニナフテ居ルノアリカ、或ハ内田信也ガ出シタノアリカ、何レ近キ將來ニ於キマシテ司法官憲ノ手御調ニナシテ、結果ハ明カニナルト本員ハ信ズルノアリマス、而シテ此田中末雄ニ對スル契約ノ解除ガ洵ニ面白イ、此満鐵ハ自ラ田中末雄ト契約シテ置キナガラ、之ヲ解除スルニ方々内田信也ヲシテ爲サシメテ居リマス、内田信也ハ如何ニ厚顏無耻ナリト雖モ、良心ノ呵責ニ堪ヘズシテ、窓ニ神戸ニ於ケル所ノ三上合資會社ノ支配人雜賀繁松ナル者ヲシテ、其衝ニ當ラシメタノアリマス、雜賀繁松ハ自己ノ手數料ト致シマシテ一二万某ヲ控参ラズ、仕方ナク其解約ニ應ジタノアリマス、併ナガラ今日ニ至リマスレバ、船價が暴落致シマシテ、其解約セラレタル船舶一艘ニ付テ、百万圓以上ノ損失ヲ來スノアリマス、

サレバトテ三菱ニ泣付テモ、三菱ハ其解約ヲ承知シテ吳鐵ヲ爲シ得ザルノミナラズ、徒ラニ諭辯ヲ弄シテ益、疑惑ヲ深カラシムルノアリ。斯く(拍手起ル)故ニ遺憾ナカラ再び此問題ニ向シテ質問ヲ致シマス、甚ダ御氣ノ毒デハアリマス、ガ、今日ハ杉山政府委員ノ御答辯ヲ御断り致シマシテ、原總理大臣ノ責任アル答辯ヲ御願スル次第デアリマス。(拍手二杉山ナド役ニ立タヌト呼フ者アリ)昨年ノ一月初メ満鐵ノ副社長兼運輸部長タル所ノ中西清一君ハ、其貧タル大連汽船會社ヲシテ六千五百噸級ノ船舶ヲ三菱造船所ニ注文スルノ好マヌケアリマス、又運輸部ノ次長タル大藏公望君ノ如キハ、故ラニ三菱說主張セラレタノデアリマス、僕伴ニモ田中末雄ナル者ガ三菱ニ對シテ、六千五百噸級ノ船舶ヲ注文シテ居タコトガ判ジタノアリマス、滿鐵ハ之ニ對シテ其讓渡方ヲ交渉致シマシテ、田中末雄ハ其當時二百八十圓デ、三菱ノ注文シテ居ラノアリマス、故ニ三百二十五圓ト云フ價格ヲ以テ御買入ヲ願ヘルナラバ、讓渡シテモ差支ナイトシテ契約ハ締結サレタノアリマス、然ルニ突如トシテ昨年ノ四月二十一日ニ至シテ、此契約ハ全ク破棄セラレタノアリマス、而シテ滿鐵ハ内田信也ニ向シテ、八千五百噸ノ船舶ヲ三百二十五圓替デ買收ノ契約ヲ致シテ居リマス、サウシテ田中末雄ニ對シテハ解約金ト致シテ三十萬圓ト云フ現金ガ渡セラテ居ル、此三十萬圓ノ現金ナルモノハ、滿鐵が御出しニナフテ居ルノアリカ、或ハ内田信也ガ出シタノアリカ、何レ近キ將來ニ於キマシテ司法官憲ノ手御調ニナシテ、結果ハ明カニナルト本員ハ信ズルノアリマス、而シテ此田中末雄ニ對スル契約ノ解除ガ洵ニ面白イ、此満鐵ハ自ラ田中末雄ト契約シテ置キナガラ、之ヲ解除スルニ方々内田信也ヲシテ爲サシメテ居リマス、内田信也ハ如何ニ厚顏無耻ナリト雖モ、良心ノ呵責ニ堪ヘズシテ、窓ニ神戸ニ於ケル所ノ三上合資會社ノ支配人雜賀繁松ナル者ヲシテ、其衝ニ當ラシメタノアリマス、雜賀繁松ハ自己ノ手數料ト致シマシテ一二万某ヲ控参ラズ、仕方ナク其解約ニ應ジタノアリマス、併ナガラ今日ニ至リマスレバ、船價が暴落致シマシテ、其解約セラレタル船舶一艘ニ付テ、百万圓以上ノ損失ヲ來スノアリマス、

本員ハ杉山君ニ向テ、尙ホスノ如キ重大問題ニ對シテハ、豫ハ支那政府ノ承認ヲ求メル必要ガアルデハナイカ、其手續ニ既ニ御濟ニナシタコト云フコトヲ御尋シタノアリマス、其時ニ杉山君ハ、斯ノ如キ重大問題ヲ此公開ノ席デ御詰ニナルト云フコトハ、國家ノ爲メ不利益アルトシテ、本員ノ質問ヲ避ケラレタノアリマス、杉山君ガ此質問ヲ、避ケルノハ寧口當然デアル、先頃マデ満鐵ノ理事ヲ致シテ居リマシタハ、爾事此方ガ滿洲炭坑ナルモノヲ御持ニナッテ居ル、サウシテ満鐵ヲ退イテ其社長ヲシテ居ル、既ニ是ト同様ナ「ケークス」ニ於テ問題ヲ惹起シテ現在中止シテ、居ルノアリマス、ソレヲ杉山君ハ知ラレテ居ル爲メニ、本員ノ質問ヲ避ケラレタコトト思テ居リマス、斯ノ如キ事情アリマスカラ、一朝周文貴ト意思ノ疏通ヲ缺キ、或ハ支那政府ガ是等ノ事情ニ感付イタナラバ、直ニ此炭礦ハ引上グラレルニ間違ナイ、塔蓮炭礦ト同時ニ其隣リノ四十万五千坪ノ炭礦——加之最モ忌ムベキ國際問題ヲ惹起シハセヌカト云フコトハ、満鐵自身ニ於テモ御心配ニナシテ居ルヤウダ、權利デアルカ義務デアルカ全ク判ラザル所ノ炭礦、而モ國際上絶對ニ所有權ヲ獲得スルコトガ出來ナイ炭礦ヲ、殊ニ責任アル特殊會社トシテ満鐵ガ之ヲ買收シタ云フコトハ、實ニ輕率極マル話デアル、斯ノ如キ事ハ大日本帝國ニ於テハ、恐ラク是ハ空前ノ出来事デアラウト本員ハ信ジマス(拍手起ル)又はガ絶後デアルグラウト思テ居ルノアリマス(簡單)下呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 三枝君、御自身ノ席ニ御著キナサイ——三枝君
○橋本喜造君(續) 故ニ本員ハ此總計——塔蓮炭礦ト其隣接礦區ノ四十万五千坪、之ヲ合計致シマシテ五十六万五千坪、此炭礦全體ガ假リニ所有權ヲ獲得シ得ルモノト致シマシテモ、其真價ナルモノハ三十万圓以下デアルト云フコトハ、爰ニ諸君ノ前ニ斷言致シテ置キマス(拍手起ル)又現在滿鐵ニ於テ地質研究所ノ所長ヲシテ居ル所ノ木戸忠太郎君、此方ハ個人ノ物ト致シマシタナラバ十万圓内外、若シ之ヲ満鐵ノ物ト致シテ十分ナル設備ヲ致シマシタナラバ、三四十万圓位ニ値打ハアルグラウト云フコトヲ言ハレテ居ルノテアリマス、是ハ満鐵ノ木戸君ガサウ言シテ居ルノアリ、又満鐵ハ此鞍山ノ製鐵ニ對シマシテ、龍鳳炭礦ヲ持テ居ル、此龍鳳炭又ト云フノ「ヨークス」ヲ製造スルニ最モ適當ナ炭山デアル、之ニ對シテ爰ニ特ニ申上ダケナレバナラヌ、此當ニ御濟ニナシタノアリマス、ソレデ塔蓮炭礦ヲ買フ必要ガ何所ニアルカト云フコトヲ御尋シタ、ソレニ對シテ杉山君

ハ斯ノ如キ事ヲ答ヘテ居ル、只今早速君ハ、龍鳳炭礦ト云フモノヲ既ニ満鐵ガ持テ居ルデハナイカ、サウシテソレヲ掘タルナラバ「ヨークス」ハ出ルニヤナカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、龍鳳炭礦ハ「ヨースク」ニ適スル石炭ハ出ナイノデス、斯ウ云フコトヲ杉山君ハ言、テ居ル、龍鳳炭礦ハ「ヨースク」ニ適スル石炭ハ出ナイノデス、而モ是ハ杉山君ノ手カラ貴シタ調査書類是ニハ満鐵ノ「ヨースク」ヲ產出スルノハ、龍鳳炭礦ノミデアルト云フコトガ明カニ書イテアル(拍手起ル)是ハ杉山君自ラ之ヲ持チナガラ、龍鳳炭礦ハ「ヨースク」ニ適スル石炭ハ出ナイノデス——斯ノ如キ事ヲ言シテ居ル、政友會ノ新聞其他色々ナ雑誌ハ杉山君ニ對シテ、杉山君ハ……

○議長(奥繁三郎君) 三枝君、靜ニ……

○橋本喜造君(續) 嚴格ナ家庭ニ御育ナニナシテ居ル、又富豪ノ家ニ御生レニナシテ居ル、實ニ人格ノ人トシテ、最モ崇敬スル人デアルト云フヤウナコトガ、新聞或ハ雑誌ニ度と書カレテ居リマス、「君ノ人格ハ如何」ト呼フ者アリ)私ハ杉山君ガ若シ人格ノ人ト云ハレルナラバ、斯ノ如キ事ハアルマイト思フ、之ヲ強テ人格ト云フナラバ、是ハ二重人格デアルカ、三重人格デアルカ、本員ハ了解ニ苦シムノアリマス(拍手起ル)三枝彦太郎君「君ハ五重人格ダ」ト呼フ)君ニハ解ラヌ黙クテ聽ケ……

○議長(奥繁三郎君) 三枝君、發言ヲ止マス

○橋本喜造君(續) 又鞍山站ノ附近ニハ、本溪湖炭ガアル、開平炭ハ八幡製鐵所ニ來テ居リマス、ソレデアリマスカニ塔蓮炭礦ヲ買ハナクテモ、此炭礦カラ出ル所ノ石炭ヲ御買ニナレバ宜ノデアル(馬鹿野郎)ト呼フ者アリソレニモ拘ラズ無理ヤリニ此塔蓮炭ヲ買フト云フコトハ、何等ノ爲メカ、必ズ事情ガナケレバナラヌ、又其當時ニハ満鐵ノ資金ニ大缺乏致シテ居リマシテ、昨年ノ春以來社員ハ殆ド東京ニ總出ラシテ居リマス、サウシテ金融ニ四苦八苦ノ苦ミヲ受ケツ、アル、又鞍山製鐵ハドウデアルカト申シマスレバ、鐵ノ價格ガ暴落致シマシテ、前途暗澹トシテ判ラズ、殆ド瀕死ノ狀態デアル、此時期ニ於テ而モ總選舉ヲ目ノ前ニ控エテ居リナカラ此炭礦ヲ買收スルト云フコトハ何事デアリマセウカ(拍手起ル)恐ラクハ狂氣ノ沙汰ト謂ハナケレバナラヌ、塔蓮炭礦採掘ノ下請負ヲ爲セリ而シテ之ヲアリマス(ソンナモノガ何ダ)ト呼フ者アリ)其所カラ見エナカラウ、後ア貸シテ上ゲル(笑聲起ル)之ニ對シマシテ本員ハ箇條ヲ別テ質問致シマスカラ、ドウカ的確ナル答辯ヲ願ヒタク「満鐵ハ塔蓮炭礦採掘ノ下請負ヲ爲セリ而シテ之ヲアリマス(ソンナモノガ何ダ)ト呼フ者アリ)」
ト言ヘ——(ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○橋本喜造君(續) 又内田信也君ノ賣シタ船舶ハ此船アリマス(ソンナモノガ何ダ)ト呼フ者アリ)其所カラ見エナカラウ、後ア貸シテ上ゲル(笑聲起ル)之ニ對シマシテ本員ハ買収ト稱ス其理由如何「塔蓮炭礦ナルモノハ支那民國ノ人人ノ所有デアル、日本人ハ絶対ニ之ヲ持ツコトガ出来ナシ、所有權ヲ得ルコトガ出來ナイノデアル、ソレヲ満鐵ハ買收デアル、之ヲ買収ト言シテ居ル其理由如何「満鐵ハ中華民國ノ所有ニ屬スル炭礦四十万五千坪ノ代金ヲ東洋炭礦掘權ヲ森格君ガ持テ居ル、満鐵ハ其下請負ヲヤシテ居ルノアリハ之ヲ買収ト言シテ居ル其理由如何「満鐵ハ中華民國ノ所有ニ屬スル炭礦四十万五千坪ノ代金ヲ東洋炭礦現金デ提供シタ云フコトニナシテ居リマス(拍手起ル)此會社ニ支拂セリ其理由如何又「是等ノ行為ハ總テ肯任ナ

リト信ズ當局ハ何故ニ之ヲ放任セラル、ヤ此三點ニ就テ誠意アル御答辯ヲ望ミマス、之ヲ以テ本員ノ質問ハ終リ……○前田米藏君 只今ノ橋本君ノ御演説中、私ノ身上ニ關スル事ガアリマスカラ、一言致シタイノデアリマスガ……○議長(奥繁三郎君) 宜シウゴザイマス

〔登壇々々ト呼フ者アリ〕

〔前田米藏君登壇、拍手起ル〕

○前田米藏君 只今橋本君ノ演説ノ中ニ引合ニ出サレマシタ、私ニ關係スル部分ニ就キマシテ、一言致シテ置キタ

イノデアリマス、私ガ内田信也ノ願問デアル、而シテソレガ

故ニ原總理大臣ニ對シテ内田信也ヲ紹令シ、原總理大臣ヨリ中西社長ニ命令ヲシテ、船舶ヲ買ダト云フ事實ガ在ルト云フコトノ只今ノ御演説デアグト私ハ聽取リマシタ、明

カニ左様ナ事實ハ有リマセヌ、爰ニ無イト云フコトヲ斷言致

シマス、又私ハ内田信也ノ法律顧問デアリマス、併ナガラ法

律顧問ト云フガ故ニ疑ニ眼ヲ以テ視ルナラバ、私ヨリモット

以上ニ有力ナル法律顧問ガ、憲政會ノ江木翼君デアリマス

江木翼君ハ、私ガ法律顧問デアルト云フコトハ能ク御存ジ

ノ筈デアル、又江木翼君自身ガ法律顧問デアルト云フコト

モ、御存ジノ筈デアリマス、故ニ法律顧問デアルガ故ニ云々ト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、ソレハ不穩當デアラウト

自分ハ思フノデアリマス、又第一ノ點デアリマスガ、私ハ朝

日海上火災保險ノ重役デアリマス、其株ハ内田ノ株券ヲ

假リニ私ノ名義ニシテ居ルノデアルト云フ、御演説ガアグト

聽取リマシタ、是モ斷ジテ間違デアリマス、朝日海上火災保

險ハ今ヲ距ルコト五年前ニ出來マシタ、私ハ其發起人中ノ

主唱發起人デアリマシテ、後ニ内田信也ナリ、勝田銀次郎

君ナリガ加シテ、重役ニナタヤウナ次第デアリマス、私ハ創立

以來三千株ヲ持テ居リマスガ、今尙ホ其株券ヲ家ニ持シテ

居ルヤウナ次第デアリマシテ、何人ノ金ニ依シテ拂込マシタモノ

デモナケレバ、何人カラ貰受ケタモノデモアリマセヌ、斯様ニ全

ク事實ニ反スル事柄ヲ、橋本君ガ演説スル心事ヲ疑ハザルヲ

得ナイノデアリマス(拍手起ル)若シ橋本君デナクシテ憲政

會ノ中デモ、朝日海上火災保險會社ノ眞體ヲ知ラヌ方ガ

仰シヤルナラバ、私ハ何モ申上ゲル所ガアリマセヌガ、此朝日

海上火災保險ノ本店ハ神戸ニ在リマシテ、サウシテ其重役

ハ辰馬君デアルトカ、貴族院議院ノ勝田銀次郎君デアルト

カ、神戸市有數ノ海運業者ガヤシテ居ラレルノデアリマス、橋

本君ガ此會社ノ創立ノ由來、並ニ重役其他會社ノ營業振

ドウ云フ關係ヲ有シテ居ル、此保險會社ノ株券ヲ初カラ有シ

リト二就テ注意ヲ爲サシテ居ルナラバ、是等ノ事ハ當然知

テ居ラナケレバ、是等ノ事ハ當然知

テ居ラナケレバ、是等ノ事ハ當然知

テ居ラナケレバ、是等ノ事ハ當然知

テ居ラナケレバ、是等ノ事ハ當然知

テ居ラナケレバ、是等ノ事ハ當然知

テ居ル、又私ガ第一回ヨリノ株主デアリ、創立發起人デアルコトハ、御存知デナケレバ、ナラヌ筈デ、アル、注意ヲスルナラバ——然ルニ不注意カ、故意カ、斯様ナル間違ダ事ヲ言ハル、ト云フニ至リマシテハ、橋本君ノ如キ海運業者、而モ神戸ニ於ケル海運業者トシテ、其方面ニ智識ノアル橋本君ノ演説トシテ、私ハ甚ダ受取り惡イ、故意ニ吾ミノ名譽ヲ傷付ケルコトヲ仰シヤルノデハナイカト思フ、デアリマス(拍手起ル)私ノ只今申シマシタル點ノ、即チ汽船會社ノ買入云々ノ事ハ、全ク關知セザル事デアル私共ノマルデ關係ノ無イ事デアリマス、ソレカラ保險會社ノ點ニ於キマシテ、株券云云ノ點ハ明ニ間違ヒデアルト云フ事實ニ就キマシテハ、私ハ此席上ニ於テ責任ヲ以テ斷言ヘルノデアリマスルカラ、若シ此私ノ言ウタ事ニ就テ、橋本君ガ更ニ何カ私ノ爲メニ反對ナラ證據モアルナラバ、喜シテ證據モ受ケ、私ハ此政治家トシテノ生命ハ、非常ニ重大ナルモノデアルト思ヒマスカラ、私ノ言フ點ニ若シ一點ノ誤リデモアルナラバ、私ハ議員ヲ辭シテモ宜イー思フノデアル(拍手起ル)橋本君モ亦、私ノ政治的生涯ヲ捨テモ宜イト思フノデアリマスカラ、貴方モ真ニ證據ガアリ、我輩ノ人格ニ對シテ疑ガアルナラバ、宜シク自分ノ地位ヲ賭シテイラシヤイ(拍手起ル)斯様ナル問題ハ——立憲政治ノ進歩ノ要諦ハ、議員各自ニ於ケル所ノ信用ヲ維持シ各自ニ尊重セヌケレバナラス、如何ニ反對黨デアリマシテモ、如何ナル黨派デアリマシテモ、御互ノ議員間ニ於ケル所ノ人格ハ尊重シナクレバナラヌノデアリマス(拍手起ル)然ルニ根據モ無イ事、誤レル事實ヲ以テ——誤レル所ノ事實ヲ以テ人人ノ人格ニ關シ、人ノ信用ニ關スル如キ言説ヲ爲スニ至リマシテハ、爲サル、私ハ不德デアリ、セウガ、爲ス所ノ橋本君ノ人格ノゼロデアルト云フコトヲ認メテ居リマシテ、明カニ承認ヲ認メテ支那政府ノ下ニナシテ居リマシテ、明カニ支那政府、及之ニ關係スル所ノ官廳ノ承認ヲ得タル權利デアリマス、決シテ支那政府ノ權利デアツテ、絕對ニ外國人ノキモ、明カニ正當ナル支那ノ法律上ノ手續ヲ履ミ、我官憲ノ承認ヲ認メテ支那政府ノ下ニナシテ居リマシテ、明カニ支那政府、及之ニ關係スル所ノ官廳ノ承認ヲ得タル權利デアリマス(拍手起ル)私ノ關係アル點ハ二點デアリマスカ、以上申上ゲタ次第デアリマス(拍手起リ)橋本返事セヨ「返事ノ要ハナイト」(拍手起フ)

○森恪君 橋本君ノ御演説中ニ、私ノ身上ニ係シタ事ガアリマス(拍手起ル)私ノ關係アル點ハ二點デアリマスカ、ヲ申サレマンシタガ、ソレハ誤リデアリマス、明カニ支那政府カ發行致シテ居リマスル許可書ノ中ニ、六十四万坪ト云フコトヲ明言シテ居リマス(「何所ノ坪數カ」「默シテ聽乞ト呼フアリマス(拍手起ル)」又此坪數ガ十七万坪云々ト云フコトアリ)、ソレカラ此炭量ニ就テ彼は御説明ガアリマシタガ、是ハ見解ノ相違デ、如何ヤウトモ論ガ立ッテアリマセウ、併ナガラ吾ミノ信ズル範圍ニ於テハ、是ハ橋本君ノ申サレルガアリ、ソレカラ此炭量ニ就テ彼は御説明ガアリマシタガ、是ハ決シテアリマセヌ(「ヒヤー」)殊ニ云フ觀念デハナカク、アリマスガ、即チ橋本君ガ只今御指定ニナリマシタ位ノ程度ノ炭礦デアルト思ヒマシタカラ、私が此際橋本君ニ申上ゲテ置キマスル事ハ、吾ミハ此炭礦ヲ經營シ始メマスル當初ニ於アハ、決シテ大ナル價值アルトモ之ヲ共同的ニ經營セネバナラスト云フ立場ニ在ルガ爲メニ、吾ミハ其當時ノ満鐵ノ當事者ノ許可ヲ得マシテ、サウシテ満鐵ノ技術者ヲ顧問ニ聘シ、其顧問ノ推舉シタル人物ヲ申上ゲテ置キマス、橋本君ハ此塔蓮炭礦ナル御説明ノ申上ゲテ置キマス、橋本君ノモノデアル、外國人ノ所有權

〔「森恪君登壇、拍手起ル」

〔「默シテ聽乞ト呼フ者リ」

ガ推舉シタル顧問ノ意見ニ依テ、此炭礦ニ對スル評價ヲ爲シ、其方針ニ依テ經營ヲ續ケ、又擴張工事ヲ爲シテ居ルノアリマス、サウシテ吾ニ自身ガ自ラ雇傭シ來タ所ノ技術者ハ一人モ無ノイデアル、ソレデアリマスルカラ、假リニ此炭礦ノ炭量如何ト云フ問題ガ起リマシテモ、私自身ヨリハ、寧口滿鐵自身ノ方ガヨリ能ク知テ居ルト云フ立場ニ在ルノデアリマス、而シテ其満鐵ガ其炭礦ヲ有價値ノモト見、千七百万噸以上ノ炭量ガアルモノトシテ、之ヲ斷定致シテ居リマスノアリマスカラ、之ヲ私が信ジテ何ノ疑ガアリマスカ

「ソレハ臭イ、妥協シテヤダノデハナイカ」ト呼フ者アリ○議長（奥繁三郎君）静ニ：

○森格君（續）又尙木橋本君ノ御詫ノ中ニ、私ノ親友上仲尚明君ガ此事件ヲ恐レテ、歐羅巴ニ逃ゲテ行ダト云フヤウナ口吻ヲ洩サレマシタ、甚ダ誤ダル御觀察アル、現ニ上仲尚明君ハ倫敦ニ居リマスコトハ事實アル、併ナガラ此人ガ倫敦ニ行キマシテ既ニ彼是ニ年ニナル、此取引ガ行ハレマシタルコトハ、只今尙木橋本君ガ言ハレタ通り、昨年ノ半バノ事アリマス、昨年半バニ行ハレタル事件ヲ、何故ニ恐レテ彼是ニ以前ニ於テ倫敦ニ逃ゲテ行キマシタカ、（拍手起ル）由來言論ノ自由ト云フ名ヲ藉り、放縱ナル言論ヲ爲シテ自己ノ威儀ヲ損シテ憚カラヌコトハ、政治家ノ態度ナイト思ヒマスカラ、一言辨明致シテ置キマス

（拍手起ル）「何ガ放纵ダ」「生意氣ナコトヲ言フトブシ歐テシマウ」ト呼フ者アリ○議長（奥繁三郎君）靜肅ニ、一年金制度實施ニ關スル質問ニ對シテ、政府ノ答辯ガアリマシタ、之ニ對シテ佐々木千秀君ミリ意見ノ陳述ガアリマス、佐々木君

レテ居ルノアリマス、社會革新ノ叫ト云フモノハ、今日或ハ時間制限ノ問題トナツテ、就中當面ノ問題ト致シマシテハ即チ勞働問題アリマス、勞働問題ニ關シマシテハ、或ハ今日勞資協調ノ議論トナリ、或ハ利益分配ノ議論トナリ、或ハ時間制限ノ問題トナツテ居ルノアリマス、是等ノ問題ニ就キマシテハ、如何ニシテ適切ナル所ノ歸結ヲ得ラレルデアラウカト云フコトハ、國ヲ憂フル所ノ人士ハ、朝ニ在ル者ヲ問ハズ野ニ在ル者ヲ問ハズ、齊シク日夜研究論議セラレテ居ルノデアリマス、私ハ此機會ニ於テ、多く勞働問題ニハ論及スルコトヲ避ケマスル、併ナガラ免モ角モ此勞働問題ニ胚胎致シマシテ、種々ナル運動若クハ種々ナル所ノ思想ノ變化、此運動此思想ノ極端ニ申セバ惡化デアルガ、此惡化が全國到ル處ニ普ク彌漫サレツ、アルト云フコトハ、何人モ否定スルコトノ出來ナシ事實アル、而シテ今日ニ於キマシテハ、全國ノ私設工場ニ於テ、此思想、此運動、是等ガ出現シツ、アルト云フコトハ、是モ爭ハレスノ事实アル、サリナガラ現在ニ於キマシテハ官設工場、就中兵器武器ヲ製作致シテ居ル所ノ海軍デ申シマスナラバ、即チ海軍工廠、陸軍デ申スナラバ、即チ陸軍工廠、此工廠ニ於テハ未だ是等ノ勞働運動トカ、或ハ思想ノ惡化ト云フモノガ、今日出現致シト迄ニハ申セラヌカモ知レナイ、是ハ頗ル結構アル、結構デアリマスケレドモ、タビ政府ニシテ是等工廠ノ職工、並ニ其他ノ從業員ニ對スル施設宜シキヲ得ナカッタナラバ、

日常爲シツ、アル所ノ仕事ト云フモノハ、御承知ノ如ク兵器若クハ武器、其他總て國防ニ必要ナル所ノ工事ニ著手致シテ居ルノアリマス、是等ノ重要ナル責務ヲ果シツ、アル所ノ職工ハ、何所マデモ勞働運動トカ、或ハ思想ノ惡化トカ云フモノカヲ脱退セシメナケレバナラナイノアリマス、獨立セシメナケレバナラナイノアリマス、デシ職工ヲシテ運動ヨリ脱退セシメ、若クハ思想ノ惡化カラ獨立セシムルト云フコトニ就テハ、勿論種々ナル施設、種々ナル方法モアルデゴザイマセウ、併ナガラ何ト云テモ最モ急ギ、最モ適當ナル施設トシテ爲サナカレバナラヌ所ノモノハ、彼等ノ生活ノ保障ナルノアリマスベ、彼等ノ老後ノ生活ヲシテ安定セシムルト云フコトガ、何物ヨリモ一番先キニ立タナケレバナラナイノアリマス、彼等ヲシテ其職責ノ大切ナルコトヲ自覺セシメ、而シテ此責任ニ對シテ政府ハ彼等ノ老後ノ生活ヲ保障スルト云フコトハ、一面カラ言フナラバ、當然ノ義務デアラニベナラヌト私ハ信ズルノアリマス、殊ニ又海軍ニ於ル所ノ職工ノ日常從事致シテ居ル所ノ仕事ノ性質ヲ顧ミマスト云フト、御承知ノ如ク大砲トカ、或ハ彈藥トカ、或ハ水雷トカ、是等祕密ヲ要スヘキ、頗ル重要な仕事ト云フモノハ、轉職ト云フコトハ出來ナイト云フコトニ相成シテ居ル、他ノ私設工場ニ或ハ將來ニ於テ、如何ナル事が勃發スルコトアルヤモ測ラレヌノアリマス、政府タルモノハ事ノ起ラザル以前ニ於テ、十分ナル施設ヲ施シ、十分ナル方法ヲ講ジ未然ニ事ヲ防グト云フコトニ細心ノ御注意が必要デアラウト思フ、例ヘバ米暴動ノ場合ニ於キマシテ、暴動ガ既ニ起シタ後ニ於テ米價釣下策ナドヲ講ゼラレルト云フコトハ、政治家ト致シテハ業ニ既ニ是ハ手後レデアル、米暴動ノ起ラヌ以前ニ於テ、必要アルナラバ米價ノ調節ト云フ事モサレナイデハナラナイノアリ、事前ニ事ヲ施シテ、始メテ政治ノ本旨ト云フモノハ立ツケル職工並ニ雇員以下ノ從業員ニ對シマシテ、年金制度ヲ實施セラレタト云フ事ニ就キマシテ、其方法ニ對シテ質問ヲ致シタノアリマス、而シテ先刻本員ノ質問ニ對シテ答辯書ニ接シタノアリマス、其答辯書ヲ一讀致シマスト云フト、益本員ノ疑フ厚クシタト云フコトニ相成ルノアリマシテ、爰ニ私ノ所見ヲ述ベマシテ政府ニ質サントスルノアリマス、個性ノ自覺ト云フコトハ、即チ社會革新ノ叫トナシテ現御承知ノ如ク近年ハ世界文化ノ進展ニ伴ヒマシテ、社會民衆ハ各ニ其個性ト云フコトヲ自覺致シ來テ居ルノアリマス、個性ノ自覺ト云フコトハ、即チ社會革新ノ叫トナシテ現

器武器ヲ製作シテ居ル所ノ彼等ノ思想ノ惡化トカ、或ハ運動トカ云フコトガ起ルト致シマシタナラバ、忽チ是ハ國防計画ノ上ニ及ボス所ノ大關係ヲ持ツノアリマス、（拍手）更ニ延テ國家存立ノ上ニ、寢フベキ事柄が出来スルト云フコトニ相成ルノアリ、此點ハ細心ノ御注意ヲ願ヒタイノアリマス、殊ニ海軍ノ工廠ニ於ケル所ノ職工其他ノ從業員ノ

年金制度實施ニ關スル質問ノ答辯ニ對ス

ル佐々木千秀君ノ意見

〔佐々木千秀君登壇、拍手起ル〕

○佐々木千秀君（諸君、本員ハ曩ニ大正十年度ノ豫算ニ屬スル所ノ、海軍省所管ノ中ニ於キマシテ、海軍ノ工廠ニ於ケル職工並ニ雇員以下ノ從業員ニ對シマシテ、年金制度ヲ実施セラレタト云フ事ニ就キマシテ、其方法ニ對シテ質問ヲ致シタノアリマス、而シテ先刻本員ノ質問ニ對シテ答辯書ニ接シタノアリマス、其答辯書ヲ一讀致シマスト云フト、益本員ノ疑フ厚クシタト云フコトニ相成ルノアリマシテ、爰ニ私ノ所見ヲ述ベマシテ政府ニ質サントスルノアリマス、個性ノ自覺ト云フコトハ、即チ社會革新ノ叫トナシテ現御承知ノ如ク近年ハ世界文化ノ進展ニ伴ヒマシテ、社會民衆ハ各ニ其個性ト云フコトヲ自覺致シ來テ居ルノアリマス、個性ノ自覺ト云フコトハ、即チ社會革新ノ叫トナシテ現

器武器ヲ製作シテ居ル所ノ彼等ノ思想ノ惡化トカ、或ハ運動トカ云フコトガ起ルト致シマシタナラバ、忽チ是ハ國防計画ノ上ニ及ボス所ノ大關係ヲ持ツノアリマス、（拍手）更ニ延テ國家存立ノ上ニ、寢フベキ事柄が出来スルト云フコトニ相成ルノアリ、此點ハ細心ノ御注意ヲ願ヒタイノアリマス、殊ニ海軍ノ工廠ニ於ケル所ノ職工其他ノ從業員ノ

ニ参リマシテモ、今日ノ如ク勞働者ガ個性ヲ自覺致シテ、將來ヲ考ヘテ仕事ニ從事致シテ居ル所ノ當時ニ於キマシテハ、年二回ノ賞與金ハ何レノ工場デモ給與サレテ居ル、何モ珍シイ事デハアリマセヌ、而モ私設工場ニ於キマシテハ、年二回受クベキ當然ノ賞與金ノミナラズ、好況時代ニ於ケルガ如キ利益ノ多キ場合ニ於テハ、更ニ又ソレ以上特殊ノ分配ヲ受ケルト云フ所ノ利益ニ浴シテ居ルノデアリマス、而シテ工廠ニ於ケル職工ニハ、其特殊ノ恩典ト云フモノガ無イト云フコトニ相成ツテ居ル、先刻申上ダマシタ如ク、其職務ノ性質ノ特殊のデアル、更ニ又終身的デアル、更ニ又國家ノ重要ナル國防計畫ニ關スル所ノ作業ニ從事致シテ居ル而モ轉業ヲシヤウト思フテモ、轉業スベキ所ノ他ニ工場ノ少キ關係上、殆ド終身的ニナツテ居ルト云フ狭イ範圍ニ於テ仕事ヲ爲シツ、アル、更ニ又只今申シタ如ク、利益ノ特殊ノ分配モナイト云フヤウナ、不便不利不自由ナル所ノ境遇ニ居ルノデアリマス、今日ハ聰悟セラレタル所ノ資本家ニ於キマシテハ、會社ト云ハズ、或ハ商店ト云ハズ、或ハ個々ノ一家庭ト云ハズ、廣キ意味ニ於ケル所ノ恩給ノ制度ト云フモノガ、現在ハ普ク行ハレテ居ルノデアル、更ニ又地方ノ市町村——市町村ノ如キニ至テモ、廣キ意味ニ於ケル恩給ノ制度、即チ老後ノ保障ト云フモノガ爲サレツ、アルノデアル、例ヘバ市杯ニ於キマシテハ、其史員ガ十箇年以上勤メタ場合ニハ、一箇年分ノ給料ヲ退職給與金トシテ與ヘルトカ、更ニ又十箇年以上勤續ノ者ニ對シテハ、一年ヲ増ス毎ニ一箇月分ノ給料ヲ追加シテ、退職給與金トシテ給付スルトカ云フコトハ、殆ド地方自治體市町村ニ至ルマデ悉ク行ハレテ居ルノデアリマス、然ルニ工廠ニ於ケル所ノ職工並ニ其他ノ從業員ニ對シテ、如何ニ抜ハレテ居ルカト云フコトヲ顧ミマスルト、實ニ私ハ政府ノ御心持ノ那邊ニ在ルト云フコトヲ、横須賀、吳、佐世保等ノ軍港所在地ニ於キマシテハ、今回政府ニ於テ民間ノソレヨリモ優遇セラルレ告テ、アルニ拘ラズ、却テ民間ヨリモ寧ロ冷遇セラレテ居リハシナイカ、此事ヲ非常ニ私ハ此際ニ於テ慨クノデアリマス、新聞紙上デ見マスト、横須賀、吳、佐世保等ノ軍港所在地ニ於キマシテハ、今回政府ガ年金制度ヲ實行セラル、ト云フ其方法ノ點ニ就テ、非常ナニナツ居ル、勿論政府トシテモ彼等ニ對シテ優遇ノ途ヲ譁ジ、保護ノ途ヲ講ズルト云フ御趣旨ニアラウト思ハレ、御趣旨ニ對シテハ、私モ満腔ノ同感ヲ有スルモノデアリマスケレドモ、唯ダ遺憾ニ存ジマスルノハ、其實施ノ方法ト云フモノ

ガ、果シテ適切ヲ得テ居ルカドウカト云フ問題デアリマス、先づ此點ニ就テ申述ヘテ見タイト思フ、從來海軍工廠ノ職工ハ、彼等ガ労イテ得タ所ノ收入ノ中カラ、月ニ百分ノ三ト云フモノヲ積立テ、居タノデアリマス、ソレニ對シテ政府ガ若干ノ補助ヲ加ヘ、共濟組合ト云フモノヲ組織致シテ、老病救濟、或ハ疾病救濟、或ハ病院補助トカ、或ハ購買補助トカ、是等ノ金三費シツ、アルノデアリマス、是杯ニ就テ申上ダゲテモ、干ノ補助ヲ加ヘ、共濟組合ト云フモノヲ組織致シテ、老病救濟、或ハ疾病救濟、或ハ病院補助トカ、或ハ購買補助トカ、手當ヲ爲シテ居ルノデアル、然ルニ工廠ニ於テハ自己ガ日々勤メテ得タ所ノ負銀ノ一部ヲ積立テ、若干ノ補助ヲシテ、是等ノ救濟機關ヲ作ラレテ居タノデアリマス、更ニ今年年金制度ヲ實施スルト云フ御趣旨ニ下ニ、從來積立テ來タ所ノ百分ノ三ノ積立金更ニ加ハルニ、新ニ三百分ノ三ノ積立ヲシテ、而シテ七箇年分ノ年金ヲ戴クト云フコトニナリマスレバ、即チ六十二歳アル六十二歳マテ生存致シテ居ル所ノ年金制度ヲ實施シテ見ヤウト云フ御方針ニナツテ居ルノデアリマス、其方法ハ如何ニナサレテ居ルカト云フコトヲ申上テ退職致シタル場合ニハ、ドレダケノ給付金ガアルカト申シマスル——彼等ガ月々自己ノ收入カラ積立所ノ元金ノミヲ給付シテヤルト云フコトニ相成ツテ居リマス、給付ト云フヨリモ、寧ロ拂戻ト言シタ方カ適切デアラウト思フ、是ガ何デ優遇デゴザイマセウカ、今日如何ナル富豪家トテモ、利息ノ付カナイ金ヲ積立テ置クヤウナ愚ヲ爲ス者ガアルマイト思フ、是ハ彼等ニ取テハ優遇ナク、寧ロ損害ヲ被ラシムルモノデハイカト思フ、次ニ十年以上二十一年勤續致シテ者、是ガ退職致シタ場合ニハ、如何ニ爲サレルカト申シマス、彼等ガ月々積立ダ所ノ元金ニ、世間デ利殖上最モ不利益ナリトスル所ノ、低率ノ郵便貯金ノ利子ヲ加ヘタモノヲ拂戻スト云フコトニナツテ居ル、二十年ノ歲月ト云フモノハ、人間一生ノ中ニ於キマシテ初年ノ時代ヲ控除致シマスレバ、殆ド人間一生下言テモ宜イ位デアル、少クトモ人間一生ノ大半ナリト言シテ宜イ位デアル、此二十一年ト云フ年月ヲ勤續致シマシテ、サウシテモ退職スル時ニハ僅ニ自己ノ積立テタ元利金、而モ郵便貯金ト云フモ不平不滿ノ聲が揚ギテ、居ルト云フコトモ承テ居ルノデアリマス、政府ガ年度ニ於テ百十幾万圓ノ金額ヲ計上セラレ、而シテ此金額ヲ年金制度實施ノ爲メニ費サレルト云フコトニナツ居ル、勿論政府トシテモ彼等ニ對シテ優遇ノ途ヲ譁ジ、保護ノ途ヲ講ズルト云フ御趣旨ニアラウト思ハレ、御趣旨ニ對シテハ、私モ満腔ノ同感ヲ有スルモノデアリマスケレドモ、唯ダ遺憾ニ存ジマスルノハ、其實施ノ方法ト云フモノ

ガ、果シテ出来ナイノデアル、若シ必要デアルト云フコトニレバ、高利ノ利息ヲ拂テ借入レナケレバナラズト云フ、寧ロ損害ヲ被テ居ルノデアリマス、更ニ又二十年以上勤續致シテ、アルカ、免モ角モ今日ニ於テハ、彼等職工ハ大部分ト申シテモ宜イ、其點ハ詳細ニハ分リマセヌガ、新聞紙上ニ於テハ非常ニ不平ヲ抱イテ居ルト云フコトデアリカ、特ニ其方法ト法ノ宜シキヲ得ザル結果デアルカ、若クハ徹底セザル結果デテ、新タニ超ダモノトシテ疾病年金ニ對スルモノダケヲ舉ゲテ居ル、此ノ如キ不徹底ナル年金制度ヲ施カレテ居ルト云フコトハ、御主旨ニ於テハ結構デアリマスケレドモ、其方法ノハ、從來テモアタコトデアル、是等ニ多少ノ手加減ヲ加ヘテ、新タニ超ダモノトシテ疾病年金ニ對スルモノダケヲ舉ニハ僅ニ自己ノ積立テタ元利金、而モ郵便貯金ト云フモノハ、從來テモアタコトデアル、是等ニ多少ノ手加減ヲ加ヘテ、新タニ超ダモノトシテ疾病年金ニ對スルモノダケヲ舉ニハ僅ニ自己ノ積立テタ元利金、而モ郵便貯金ト云フモノハ、從來テモアタコトデアル、是等ニ多少ノ手加減ヲ加ヘテ、新タニ超ダモノトシテ疾病年金ニ對スルモノダケヲ舉アルカ、免モ角モ今日ニ於テハ、彼等職工ハ大部分ト申シテモ宜イ、其點ハ詳細ニハ分リマセヌガ、新聞紙上ニ於テハ非常ニ不平ヲ抱イテ居ルト云フコトデアリマス、特ニ其方法ト法ノ宜シキヲ得ザル結果デアルカ、若クハ徹底セザル結果デテ、新タニ超ダモノトシテ疾病年金ニ對スルモノダケヲ舉ゲテ居ル、此ノ如キ不徹底ナル年金制度ヲ施カレテ居ルトデアル、先程モ申上ダマシタヤウニ、彼等ガ兵器武器ノ製造ニ從事致シ、重要ナル任務ニ從事シテ居ル以上ハ、政府ハ之ニ對シテ十分ニ保護ノ途ヲ與ヘ、十分ニ優遇ノ途ヲ講職セザル限りハ拂戻ヲ受ケルコトガ出來ナイ、故ニ融通小云

トガ國家ノ利益ヲハアルマイカト思フ、當時評議會ナルモノガ設ケラレテ、種々研究セラレテ居ルヤウニモ承^シテ居リマ

スケレドモ、出來ルコトデアルナラバ、彼等ノ意中ヲ十分ニ酌^シテ讓歩シ得ラレルダケハ讓歩シテ、圓滿ナル解決ヲ付ケテ戴キタインデアリマス、今日ノ如キ不徹底ナル年金制度ニア

ルナラバ、寧ロ私ノ腹案ニ依リマスレバ、是等ノ積立金ヲ全廢シテ、サウシテ或ハ一時金ノ制度ヲ宜シウゴナイマス、十

年若クハ十五年ノ勤続者ニ對シテ退職ノ場合ニハ、徹底的ニ彼等ニ老後ニ於テ慰安ヲ與ベキ方策ヲ立テラレルコトガ宜クハナイカト思フ、私ガ斯ク申上ダルノハ、答へンガ爲メノ答辯ヲ得タイト云フ目的デアリマセヌ、是等勞働者ニ對シテ同情ヲ有シテ居リマスガ故ニ、此際十分ナル施設ヲ行ハレテ、圓滿ニ國防計畫ノ充實ヲ完^シセラレタイト云フコトヲ切ニ望ミマスルガ故ニ、今日以後ニ於テ十分ニ御熟考^シマス之ヲ以テ擅^フ降リマス(拍手起立)

○議長(奥繁三郎君) 日程ニ入リマス、日程第一、南部支那ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、山川政府委員

第一 南部支那ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案(政府提出)貴族院送付)

第一條 本法ニ於テ南部支那ト稱スルハ支那福建省

廣東省廣西省雲南省ヲ謂フ

第二條 南部支那ニ駐在スル帝國領事官ノ豫審ヲ爲シタル罪ノ公判ハ臺灣總督府臺北地方法院之ヲ管轄ス

第三條 南部支那ニ駐在スル帝國領事官ノ爲シタル裁判ニ對スル控訴及抗告ハ臺灣總督府高等法院覆審部之ヲ管轄ス

第四條 南部支那ニ駐在スル帝國領事官ノ管轄ニ屬

第五條 前條ノ規定ニ依リ被告人ヲ移送スル場合ニ於

ト認ムルトキハ其ノ事件ヲ管轄スヘカラサルコトヲ當該

領事官ニ命シ且被告人ヲ臺灣總督府臺北監獄ニ移

送セシムルコトヲ得

前條ノ規定ニ依リ被告人ヲ移送スル場合ニ於

テハ臺灣總督ハ臺灣總督府高等法院ノ檢察官ヲシテ

裁判管轄指定ノ申請ヲ其ノ法院覆審部ニ爲サシムヘ

シテノ規定ヲ準用ス

前項ノ申請及裁判ニ關シテハ刑事訴訟法第三十三

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行
本法施行前受理シタル訴訟事件及非訟事件ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

(山川政府委員登壇)

○山川政府委員 本案ハ從來南部支那ニ於キマスル、領

事官ノ裁判ニ對スル控訴抗告、及領事官ノ取扱ヒマスル重

罪ニ當ル事件ノ豫審公判ハ、長崎裁判所ノ管轄三ナツテ居^シタノデゴザイマス、之ヲ臺灣ノ裁判所ノ管轄ニ移サウト云フ

ノガ其目的デゴザイマス、本案ニ於キマシテ南部支那ト申シ

マスノハ、福建省、廣東省、江西省、及雲南省ノ四省ヲ指スノ

デゴザイマス、是等ノ地方ト長崎トハ距離ガ餘程隔^チテ居リ

マス、又交通モ必シモ便利デハアリマセヌ、ソレデ從來色^トノ

不便モ感ジテ居^シタノデゴザイマス、今般之ヲ臺灣ニ於ケル

裁判所ニ持^テ行クコトニナリマスレバ、距離モ短縮致シマス

シ、交通モ便利ニナリマス、被告人ノ方カラ云ヒマスト、費用

ノ節約モ出來マスルシ、又裁判ヲ迅速ニスルト云フコトモ出

來ルノデゴザイマス、尙ホ南部支那ニ於キマスル日本人中ニ

ハ、臺灣籍民ガ多數居ルノデゴザイマス、是等ノ事件ハ長崎

ニ於ケル裁判所ヨリモ、寧口臺灣籍民ノ事情法制等ニ精通

致シテ居リマス臺灣ノ裁判所ニ於テ、之ヲ取扱フ方ガ便宜

デモアリマスルシ、又適當デアラウト認メテ居ルノデゴザイマ

ス、是等ノ理由カラ本案ヲ提出スルニ至^ラタノデゴザイマス、現

ニ滿洲地方ニ於ケル領事官ノ同一ノ裁判事件ニ就キマシ

テ、關東州ノ裁判所ノ管轄ヲ直スト云フコトモアリマスシ、

又間島ニ於ケル事件ニ就キマシテハ、朝鮮ノ裁判所ニ管轄

セシメルト云フ先例モアリマスノデ、是等ノ先例ニ依^テ本

案ヲ提出致シマシタノデゴザイマス、何卒御審議ノ上、御協

賛アランコトヲ希望致シマス(拍手起立)

○議長(奥繁三郎君) 日程第一、右議案ノ審查ヲ付託ス

ベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第一條 岩崎勤君 委員ノ數ハ九名トシ、議長ニ於テ指名アラ

ンコトヲ望^シマス

(「贊成」「贊成」ノ聲起立)

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ

カ

(「異議ナシ」「異議ナシ」ノ聲起立)

○議長(奥繁三郎君) 御異議無シト認メマス、仍テ動議

ノ如ク決シマス、日程第三公有水面埋立法案ノ第一讀會ノ開キマス、床次内務大臣

本法施行前受理シタル訴訟事件及非訟事件ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

第三 公有水面埋立法案(政府提出)第一讀會

公有水面埋立法案

公有水面埋立法

第一條 本法ニ於テ公有水面ト稱スルハ河、海、湖、沼

其ノ他ノ公共ノ用ニ供スル水流又ハ水面ニシテ國ノ

所有ニ屬スルモノヲ謂ヒ埋立ト稱スルハ公有水面ノ埋

立ヲ謂フ

公有水面ノ干拓ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ埋立ト看

做ス

本法ハ耕地整理法ニ依ル溝渠又ハ溜池ノ變更ノ爲

必要ナル埋立其ノ他勅令ヲ以テ指定スル埋立ニ付之

ヲ適用セス

第二條 埋立ヲ爲サムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受

クヘシ

第三條 前條ノ免許ハ地方長官期間ヲ、指定シテ地元

市町村會ノ意見ヲ徵シ之ヲ爲スヘシ

第四條 地方長官ハ埋立ニ關スル工事ノ施行區域内

ニ於ケル公有水面ニ關シ權利ヲ有スル者アルトキハ左

ノ各號ノ一二該當スル場合ヲ除クノ外理立ノ免許ヲ

爲スコトヲ得ス

一 其ノ公有水面ニ關シ權利ヲ有スル者埋立ニ同意

タルキ

四

其ノ埋立ニ因リテ生スル利益ノ程度カ損害ノ程

度ヲ著シク超過スルトキ

第五條 前條ニ於テ公有水面ニ關シ權利ヲ有スル者ト

稱スルハ左ノ各號ノ一二該當スル者ヲ謂フ

一 法令ニ依リ公有水面占用ノ許可ヲ受ケタル者

コトヲ得ル事業ノ爲必要ナルトキ

二 潘習ニ依リ公有水面ヨリ引水ヲ爲シ又ハ公有水

面ニ排水ヲ爲ス者

三 法令ニ依リ公有水面ヨリ引水ヲ爲シ又ハ公有水

面ニ排水ヲ爲ス者

四 売立ノ免許ヲ受ケタル者ハ勅令ノ定ムル所ニ

依リ第四條ノ權利ヲ有スル者ニ對シ其ノ損害ノ補償

ヲ爲シ又ハ其ノ損害ノ防止ノ施設ヲ爲スヘシ

漁業權者及八漁權者ノ前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受

クル權利ハ共同シテ之ヲ有スルモノトス

第一項ノ補償又ハ施設ニ關シ協議調ハサルトキ又ハ
協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ裁定ヲ求ム
ヘシ

第七條 前條ノ規定ニ依リ漁業權者ニ對シ損害ノ補償
ヲ爲ズヘキ場合ニ於テ其ノ漁業權力登録シタル先取特
權又ハ抵當權ノ目的タルトキハ埋立ノ免許ヲ受ケタル
者ハ其ノ補償ノ金額ヲ供託スヘシ但シ先取特權者又
ハ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ規定ハ埋立ニ關スル工事ノ施行區域内ニ於ケ
ル公有水面ニ付存スル漁業權又ハ入漁權カ訴訟ノ目
的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準
用ス

第八條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ第六條ノ規定ニ依
リ損害ノ補償ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ其ノ補償ヲ爲
シ又ハ前條ノ規定ニ依ル供託ヲ爲シタル後ニ非サレハ
第四條ノ權利ヲ有スル者ニ損害ヲ生スヘキ工事ニ著
手スルコトヲ得ス但シ其ノ權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得
タルトキ又ハ地方長官ノ裁定シタル補償ノ金額ヲ供託
シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ第六條ノ規定ニ依リ損害
ヲ爲シタル先取特權若ハ抵當權ヲ有スル者又ハ訴訟
當事者ハ前二項ノ規定ニ依ル供託金ニ對シテモ其ノ
權利ヲ行フコトヲ得

第九條 第六條ノ規定ニ依リ損害ヲ生スヘキ漁業權者ノ
同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 公有水面ノ利用ニ關シテ爲シタル施設力埋立
ノ爲其ノ效用ヲ妨ケラルトキハ地方長官ハ勅令ノ定
ム所ニ依リ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ヲシテ其ノ施設
ヲ爲シタル者ニ對シ之ニ代ルヘキ施設若ハ其ノ效用ヲ
保全スル爲必要ナル施設ヲ爲サシメ又ハ損害ノ全部
若ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第十一條 地方長官埋立ノ免許シタルトキハ其ノ免許
ノ日及其ノ事件ノ要領ヲ告示スヘシ
第十二條 地方長官ハ埋立ニ付免許料ヲ徵收スルコト
ヲ得

前項ノ免許料ノ徵收及歸屬ニ關シ必要ナル事項ハ勅
令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ埋立ニ關スル工
事ノ着手及工事ノ竣功ヲ地方長官ノ指定スル期間内
ニ爲スヘシ

地方長官正當ノ事由アリト認ムルトキハ前項ノ期間
ノ仲長ヲ許可スルコトヲ得
第十四條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者埋立ニ關スル測量
又ハ工事ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ受ケ
他人ノ土地ニ立入り又ハ其ノ土地ヲ一時材料置場ト
シテ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル立入又ハ使用ヲ爲サムトスル者ハ
其ノ日時及場所ヲ少クトモ五日前ニ其ノ土地ノ市町
村長ニ通知スヘシ

市町村長前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ其
ノ旨土地ノ占有者ニ通知スヘシ通知スルコト能ハサル
トキハ告示スヘシ

前三項ノ規定ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ニ關シ之
ヲ準用ス

第十五條 前條ノ規定ニ依ル立入又ハ使用ニ因リテ生
シタル損害ハ其ノ立入又ハ使用ヲ爲シタル者之ヲ補償
シタル損害ハ其ノ立入又ハ使用ヲ爲シタル者之ヲ補償
スヘシ

第十六條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ許可
ヲ受ケルニ非サレハ埋立ヲ爲ス權利ヲ他人ニ譲渡スル
コトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ埋立ヲ爲ス權利ヲ譲受ケタル者ハ
埋立ニ關スル法令又ハ之ニ基キテ爲ス處分若ハ其ノ
條件ニ依リ譲渡人ニ生シタル權利義務ヲ承繼ス但シ
第六條第一項、第十條又ハ前條ノ規定ニ依ル義務ハ
譲渡人及譲受人連帶シテ之ヲ負フ

第十七條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ相續人ハ其ノ被
相續人ノ有シタル埋立ヲ爲ス權利ヲ承繼ス
前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十八條 埋立ヲ爲ス會社ノ發起人カ會社成立ノ後
ニ於テ會社ノ爲ス埋立ニ付免許ヲ受ケタル場合ニ於テ
會社成立シタルトキハ埋立ヲ爲ス權利其ノ他ノ埋立
ニ關スル法令又ハ之ニ基キテ爲ス處分若ハ其ノ條件
ニ依リ生シタル權利義務ハ會社之ヲ承繼ス

第十九條 埋立ノ免許ヲ受ケタル會社合併ニ因リテ消
滅シタルトキハ埋立ヲ爲ス權利其ノ他ノ埋立ニ關スル
法令又ハ之ニ基キテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ依リ生
シタル權利義務ハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因
テ成立シタル會社之ヲ承繼ス

第二十條 第十六條乃至第十九條ノ規定ニ依ル權
利義務ノ承繼アリタル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付
テハ其ノ權利義務ヲ承繼シタル者ヲ以テ埋立ノ免許
ヲ受ケタル者トス

第二十一條 第十六條ノ規定ニ依ル權利義務ヲ承繼シタル
者ハ其ノ承繼ノ日ヨリ起算シ十四日内ニ地方長官
ニ届出ツヘシ

第二十二條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ埋立ニ關スル
工事竣功シタルトキハ遲滯ナク地方長官ニ竣功認可
ヲ申請スヘシ

第二十三條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ前條ノ竣功
認可前ニ於テ埋立地ヲ使用スルコトヲ得但シ埋立地
ニ埋立ニ關スル工事用ニ非サル工作物ヲ設置セムトス
ルトキハ命令ヲ以テ指定スル場合ヲ除クノ外地方長
官ノ許可ヲ受クヘシ

第二十四條 第二十二條ノ竣功認可アリタルトキハ埋
立ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ竣功認可ノ日ニ於テ埋
立地ノ所有權ヲ取得ス但シ公用又ハ公共ノ用ニ供ス
ル爲必要ナル埋立地ニシテ埋立ノ免許條件ヲ以テ特
別ノ定ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ埋立地ノ歸屬ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定
ム
第二十五條 公共ノ用ニ供スル國有地ニシテ埋立ニ關
スル工事ノ施行ニ因リ不需ニ歸シタルモノハ勅令ノ定
ム所ニ依リ有償又ハ無償ニテ埋立ノ免許ヲ受ケタ
ル者ニ之ヲ下付スルコトヲ得

第二十六條 前二條ノ規定ハ耕地整理法第十一條ノ
規定ノ適用ヲ妨ケス

第二十七條 埋立地ニ關スル權利ノ設定又ハ譲渡ニ
付テハ埋立ノ免許條件ヲ以テ地方長官ノ許可ヲ受ク
ヘキ旨ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ埋立地ニ關スル處分ノ制限ヲ定メ
タル場合ニ於テハ地方長官ハ第二十二條ノ竣功認
可ヲ爲シタル後遲滯ナク其ノ登記ヲ登記所ニ囑託ス
ヘシ

不動產登記法第百二十九條ノ規定ハ前項ノ登記ニ
付之ヲ準用ス

地方長官登記シタル處分ノ制限ノ全部又ハ一部ヲ
解除シタルトキハ遲滯ナク其ノ登記ノ抹消又ハ變更
ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第二十八條 前條第二項ノ登記ヲ爲シタル埋立地ニ
關スル權利ノ設定又ハ譲渡ニシテ同條第一項ノ許可

御嵩區裁判所内ニ岐阜地方裁判所支部設置ノ請願 岐阜縣
郡上郡當田村長尾喜一郎外二十七名呈出（紹介議員野呂

駿三君外一名）

右請願ノ要旨ハ御嵩區裁判所ハ比較的大ナル管轄區域ヲ有スル所而モ地方裁判所ノ管轄ニ屬スル事件ハ距離遠キ岐阜地方裁判所ニ於テ處理セサルヘカラスシテ不便妙カラス依テ御嵩區裁判所内ニ岐阜地方裁判所支部ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十二號 意見書

請願文書表第五八〇號

吉田村ニ登記所新設ノ請願 静岡縣榛原郡吉田村長太石廉

一外二名呈出（紹介議員松浦五兵衛君）
右請願ノ要旨ハ靜岡縣榛原郡吉田、坂部兩村ノ登記事務ハ掛川區裁判所川崎出張所又同郡初倉村ハ同金谷出張所ノ管轄ニ屬シ孰レモ遠距離ニシテ不便妙カラス依テ前記三箇村ヲ管轄スル登記所ヲ吉田村内ニ新設セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十三號 意見書

請願文書表第七三六號

川邊町ニ登記所新設ノ請願 岐阜縣加茂郡川邊町長西村才

三郎外五名呈出（紹介議員野呂聰三君）
右請願ノ要旨ハ岐阜縣加茂郡川邊町及其ノ隣接下麻生町、上米田、山ノ上、三和ノ各村ハ其ノ所轄御嵩區裁判所太田出張所迄ハ二里乃至五里ノ遠距離ニシテ不便妙カラス依テ前記各町村ヲ管轄スル登記所ヲ川邊町内ニ新設セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十四號 意見書

請願文書表第八四八號

宇ノ氣村ニ登記所新設ノ請願 石川縣河北郡宇ノ氣村長長

右請願ノ要旨ハ石川縣河北郡宇ノ氣、高松、七塚、内灘（内灘村ノ内大字宮坂、黒津船地内、西荒屋、室）村ノ登記事務ハ距離遠キ澤市及津幡町ノ登記所管轄ニ屬シ不便妙カラス依テ前記各村ヲ管轄スル登記所ヲ宇ノ氣村宇ノ氣ニ設置セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十五號 意見書

請願文書表第一五六號 特別報告第六十八號 意見書

廣野阿淵陀如來堂修理ノ請願 福島縣河沼郡堂島村大字廣

野甲八百六十六番地平民農佐藤多藏外三名呈出（紹介議員八田宗吉君）

右請願ノ要旨ハ福島縣河沼郡堂島村大字廣野ニ建設セラレ在ル阿淵陀如來堂ハ明治三十七年二月十八日内務省告示第九號古社寺保存法ニ據リ特別保護建造物ニ指定セラレタルヲ以テ之カ修

理ノ請願書ヲ文部省ニ提出セリ然ルニ未タシタルヲ以テ之カ修理セラルハ遺憾ナリ今ヤ同堂ノ荒廢其ノ極ニ達シタルヲ以テ至急

修繕工事ヲ實施セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十號 意見書

請願文書表第一二號 特別報告第七十三號 意見書

淡路縱貫鐵道敷設ノ請願 明石市東本町百六番地平民會社

員米澤長次郎外七名呈出（紹介議員木下甚三郎君）

同 第四一六號 福良町、岩屋町間（淡路縱貫線）鐵道敷設速成ノ請願 兵庫

縣津名郡岩屋町千六十七番地酒造業千葉宮次郎外千二百

十二名呈出（紹介議員廣岡宇一郎君）

右請願ノ要旨ハ四國、本州間ノ鐵道上ノ聯絡ハ淡路縱貫鐵道ニ

據リテ岩屋町、明石市ニ至リ山陽本線ニ聯絡スルニ於テ始メテ

其ノ目的ヲ達スルモノト謂フヲ得ベシ依テ淡路縱貫鐵道ヲ

數設シ四國循環鐵道ト聯絡セシメラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十一號 意見書

請願文書表第一六號 特別報告第七十五號 意見書

山陰縱貫鐵道停車場設置三關スル請願 島根縣鹿足郡青原

村大字青原百三十五番地農竹内好治外六十八名呈出（紹介議員島田俊雄君）

右請願ノ要旨ハ山陰縱貫鐵道ハ近ク其ノ竣工ヲ見ムトス而シテ開クトコロニ依レハ該鐵道完成ノ暁ハ島根縣鹿足郡内ニ於テハ僅ニ津和野、日原ノ兩驛ニ止メ直ニ美濃郡横田ニ於テ一停車場ヲ設置スルニ遇キスト謂フ若果シテ真ナリトセハ鹿足郡民ノ不便甚大ナリ依テ日原横田間青原ノ附近ニ於テ一停車場ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十五號 意見書

請願文書表第三二號

音威子府、稚内間（天鹽線）輕便鐵道工事竣工期一箇年短縮

ノ請願 北海道天鹽郡延村大字砂流村豊富農嘉納久三郎外五百四十九名呈出（紹介議員東武君）

右請願ノ要旨ハ天鹽線ハ大正五年度敷設工事ニ著手シ同十五年度竣工ノ豫定ナルモ其ノ後同地方ニ於ケル移住民ノ數激増シ之

カ急設速成ノ必要生シタルニ因リ第40回議會ニ工事竣工期ヲ二箇年繰上ケラル様請願シ政府ノ聲明ヲ得タリ然ルニ今尙工事遲延トシテ進捗セサルハ地方産業ノ開發上遺憾甚シ依テ更ニ

一箇年短縮ノ上極力工事ヲ進捗セシメラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十六號 意見書

請願文書表第三八號 特別報告第七十六號 意見書

都城志布志間輕便鐵道ヲ福島迄延長ノ請願 宮崎縣南那珂郡北方村長山口泰三外二十名呈出（紹介議員樺原政一郎君）

右請願ノ要旨ハ宮崎縣南那珂郡ハ主要ナル林產及水產物等天與ノ產地タルニ拘ラス産業ノ萎靡セル所以ハ全ク運輸不備ノ致スコロニシテ地方民ノ不幸甚大ナリ依テ今回政府ノ計畫セラレ

請願文書表第一七號

日原驛、岩國驛間鐵道敷設速成ノ請願 島根縣鹿足郡畠迫
村大字邑輝 七百九十五番地 公吏堀誠道 外三百九名呈出

（紹介議員島田俊雄君）

右請願ノ要旨ハ山陽道ヨリ京阪地方東海道方面ニ到ル捷路ヲ開キ産業發達ニ資スルト同時ニ一面軍車上ノ用ニ供セムカ爲山陰線日原驛ヨリ高津川ノ沿岸ヲ通り柿木、七日市、六日市、萩木ノ各村ヲ經テ山口縣ニ入り岩國町ニ出テ山陽線岩國驛ニ連絡スル鐵道ヲ急設セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第九十號

意見書

請願文書表第四一〇號

濱松驛辰野驛間（遠信鐵道）鐵道敷設速成ノ請願 長野縣野浦上伊那郡小野村長小野三雄外三十名呈出（紹介議員野浦傳一郎君）

右請願ノ要旨ハ交通機關ヲ完備シ地方開發ニ資スル爲東海道線濱松驛ヲ起點トシ天龍沿岸ヲ通り長野縣下伊那郡飯田町、同郡伊那町ヲ經テ中央線辰野驛ニ連絡スル本州中央部横斷鐵道ヲ敷設速成セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第九十一號

意見書

請願文書表第五九一號

太田、於福間鐵道敷設速成ノ請願 山口縣美禰郡共和村大字嘉萬上郷 二千八百八十番地 阿武義一外二十名呈出

（紹介議員渡邊祐策君）

右請願ノ要旨ハ交通機關ヲ完備シ地方ノ福利ヲ増進セシメムカ爲山口縣美禰郡大田、於福間ニ鐵道ヲ速ニ敷設セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第九十二號

意見書

請願文書表第五九四號

川内、宇佐間鐵道敷設速成ノ請願 高知縣高岡郡高岡町長
井上清外九名呈出（紹介議員國澤新兵衛君）

右請願ノ要旨ハ交通機關ヲ完備シ地方ノ福利ヲ増進セシメムカ爲土佐鐵道支線ヲ延長シテ川内、宇佐間ニ鐵道ヲ速ニ敷設セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

請願文書表第五九五號

意見書

所子村ニ停車場新設ノ請願 鳥取縣西伯郡所子村長門勝榮
一外三名呈出（紹介議員清瀬規矩雄君）

右請願ノ要旨ハ地方ノ利便ニ資スル爲山陰線御來屋、淀江兩驛ノ中間鳥取縣西伯郡所子村内ニ停車場ヲ新設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

○岩崎動君 日程第三十四乃至第六十四ニ掲ゲタル請願特別報告ハ、一括シテ請願委員長報告ノ通り採擇セラレンコトヲ望ミマス

（「賛成」ト呼フ者アリ）

○議長（奥繁三郎君） 岩崎君ノ發議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ日程第三十四乃至第六十四ニ至ル請願ハ、

總テ委員長報告ノ通り採擇スルコトニ決シマシタ

○岩崎動君 残餘ノ日程ニ對シテ延期ノ動議ヲ提出致シマス

（「賛成」ト呼フ者アリ）

○議長（奥繁三郎君） 御異議アリマセヌカ

○議長（奥繁三郎君） 御異議ナイト認メマス——一寸御報告致シテ置キマス、明後日ハ本會議ノ日デアリマスガ、皇太子殿下ヲ御奉送申上ケル爲メニ、本會モ委員會モ總テ休ムコトニ致シマス、此段御報告シテ置キマス、本日ハ是ニテ散會

午後五時十四分散會